

事務事業名 市民生涯学習推進講座（家庭教育学級）

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる	開始年度	昭和 41 年度
施策	1	市民の主体的な学習の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	生涯学習活動の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	ライフステージに対応した多様な学習機会の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	幼稚園または小学校に通う幼児や児童を持つ保護者が、子育てに関する教養を深めることにより、家庭における教育力を高めることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 幼稚園または小学校に通う幼児や児童を持つ保護者が行う学習活動を支援する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・4月下旬に幼稚園及び小学校に家庭教育学級の運営依頼を行う。 ・夏と秋に講演会（全体学習会）を行う。 ・11月に活動展を開催する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 幼稚園または小学校に通う幼児や児童を持つ保護者

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		369	290	364	209	364
	合計			369	290	364	209	364

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 幼稚園・小学校、保護者の連携による各学級の学習会のほか、講演会（全体学習会）、活動展を行った。 【学級数】12学級（小学校8学級、幼稚園4学級） 【家庭教育講演会】2回 参加者36人 【活動展】5学級参加 開催場所：登別市民会館						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	学習会開催数	回	46	45	41	41	42	
参加者	人	942	1,291	1,418	1,034	1,200		

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・各学級で行う学習会により多くの保護者が参加できるように、各学級との連携を図る必要がある。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・各学級との連携を図るため、学習会計画・実施状況をより把握できるように計画書等の様式の見直しを行う。	目標 幼稚園または小学校に通う幼児や児童を持つ保護者が行う学習活動を支援する。 計画 ・4月下旬に幼稚園及び小学校に家庭教育学級の運営依頼を行う。 ・夏と秋に講演会（全体学習会）を行う。 ・11月に活動展を開催する。 ・3月に事業に対するアンケートを実施し、計画書等の様式の見直しを行う。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 市民生涯学習推進講座（市民マイプラン講座）

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる	開始年度	平成 3 年度
施策	1	市民の主体的な学習の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	生涯学習活動の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	ライフステージに対応した多様な学習機会の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市内の団体が自主的に行う学習会に対し、講師を派遣することにより、市民の学習意欲を喚起し、生涯学習の推進を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要 Plan	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 学習会等の活動を支援することで、市民の学習意欲を喚起する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・約3か月ごとに広報で事業の周知を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 市民マイプラン講座実施要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民団体、サークル

事業費(財源内訳) Plan↓Do	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	150	100	150	50	150
	合計		150	100	150	50	150

事務事業の成果・改善の状況 Do	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 市民が自主的に企画し、複数人規模で行う学習等の活動に講師を派遣した。 講師料：5,000円 【利用団体】10団体 【講座内容】ハーモニカ練習、絵てがみ教室、パソコン講習会等						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		実施講座数	回	14	26	20	10	30

課題等の状況 Check	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・利用団体が減じているため、更に周知が必要。
-----------------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	改善	・利用団体を増やすため、市内団体が多く集まるイベント等でチラシを配布する。	目標 学習会等の活動を支援することで、市民の学習意欲を喚起する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・利用団体を増やすため、市内団体が多く集まるイベント等でチラシを配布する。 ・約3か月ごとに広報で事業の周知を行う。
改善	【3次評価】	総合	

事務事業名 市民生涯学習推進講座（登別ときめき大学）

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる	開始年度	平成 23 年度
施策	1	市民の主体的な学習の推進	終了年度	平成 一 年度
基本的な方向	1	生涯学習活動の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	ライフステージに対応した多様な学習機会の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	社会、経済、自然、歴史、文化など多分野を学ぶことにより、それぞれの知識の充実を図るとともに、まちづくりを担う人材を育成することを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 地域住民に社会、経済、自然、歴史、文化などの多分野を学ぶ機会を提供する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・ 4月に受講の登録を呼びかける。 ・ 昨年度の講座アンケート結果を参考に4月に今年度講座を決定する。 ・ 5月から月1回程度基礎コース講座を開催する。 ・ 2月頃に年度末講座を開催し、併せて次年度の受講生を募集する。 ・ 5月、8月、1月に市内で行われる講演会等を連携コース講座として団体に登録を呼びかけ、登録した講座を受講生に案内する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別ときめき大学受講者

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金			千円				
道支出金			千円					
地方債			千円					
その他	登別ときめき大学参加負担金		千円	100	85	90	91	90
一般財源			千円	305	319	285	162	285
	合計			405	404	375	253	375

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 登別ときめき大学事務局主催の基礎コース講座と他団体主催の連携コース講座で、それぞれ講座を行った。 【基礎コース講座】「登別の自然～支笏洞爺国立公園の豊かな原始林～」 「地元の視点でJR室蘭本線を見つめ、その将来像を問い直す」 「胆振の気象の特徴と、テレビでは見えない天気予報の裏側」 他 (9講座) 【連携コース講座】 ミズバシヨウ観察会、初心者英会話教室能・狂言公演 他 (117講座)						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		受講者数(基礎コース年間)	人	252	264	482	384	360
	学習回数(基礎コース年間)	回	8	8	9	9	8	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・ 連携コース講座の登録数を増やしてほしいとの要望があった。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・ 他団体が主催する講演会等を連携コース講座に登録することで、参加者数が増え、地域の活性化につながると考えられることから、受講生からどのような講座に興味があるのかアンケートを取り、対象の講座(講演会等)を実施している団体を見つけ、登録を呼びかける。	目標 地域住民に社会、経済、自然、歴史、文化などの多分野を学ぶ機会を提供する。 計画 ・ 4月に受講の登録を呼びかける。 ・ 昨年度の講座アンケート結果を参考に4月に今年度講座を決定する。 ・ 5月から月1回程度基礎コース講座を開催する。 ・ 2月頃に年度末講座を開催し、併せて次年度の受講生を募集する。 ・ 5月、8月、1月に市内で行われる講演会等を連携コース講座として団体に登録を呼びかけ、登録した講座を受講生に案内する。 ・ 4月に前年度連携コース講座に登録していた団体に登録を呼びかけるほか、学校や講演会を実施している団体へ登録を呼びかける。
	【2次評価】	行政評価会議	
改善	ときめき大学全体としての幅広い周知方法について見直しを図ること。		
【3次評価】	総合		

事務事業名 登別市文化・スポーツ振興財団事業補助金

区分	No.	名称	部・グループ
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	教育委員会社会教育G
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる	会計種別 一般会計
施策	1	市民の主体的な学習の推進	開始年度 平成 8 年度
基本的な方向	1	生涯学習活動の促進	終了年度 平成 ー 年度
主要な施策	1	ライフステージに対応した多様な学習機会の充実	事業区分 ソフト事業
			大型事業推進プラン 非登載事業

目的	文化やスポーツ活動の振興を図る一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団の実施する事業を支援することにより、文化振興及びスポーツ推進を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 文化振興やスポーツ推進を図るため、一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団の実施する事業を支援する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団からの交付申請に対し、内容の精査を行い、助成金を交付する。 ・同団体から提出された事業報告書及び収支決算書に基づき、助成金が目的に沿って活用されているかを精査し、助成額を確定する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市補助金等の事務取扱に関する規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		4,847	4,847	4,909	4,909	4,921
合計				4,847	4,847	4,909	4,909	4,921

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団に対して、文化・スポーツ活動へのきっかけとなる初心者向けの教室や芸術鑑賞事業、スポーツ大会などの実施に要する経費の一部を補助した。 【文化振興事業】 ・文化教室（初心者英会話教室外6事業） 133名 ・芸術鑑賞（道新ジュニアクラシック外2事業） 1,049名 ・共催事業（市民文化祭外2事業） 678名 【スポーツ振興事業】 ・スポーツ教室（初心者レディースゴルフ教室外8事業） 499名 ・スポーツ大会（市民ソフトボール大会外3事業） 276名 ・共催事業（市民ミニバレー大会） 113名						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		参加人数（延べ）	人	3,019	2,227	3,025	2,748	3,000

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 効果的な事業を行うため、事業内容の精査が必要。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・文化及びスポーツの振興を図るため、引き続き補助する。 ・市民ニーズを的確に把握し、より良い事業を行うため、一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団と事業内容について協議、検討を行う。	目標 文化振興やスポーツ推進を図るため、一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団の実施する事業を支援する。 計画 ・一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団からの交付申請に対し、内容の精査を行い、助成金を交付する。 ・同団体から提出された事業報告書及び収支決算書に基づき、助成金が目的に沿って活用されているかを精査し、助成額を確定する。 ・市民ニーズを的確に把握し、より良い事業を行うため、事業内容について、同団体と協議、検討を行う。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 登別市文化・スポーツ振興財団運営補助金

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる	開始年度	平成 8 年度
施策	1	市民の主体的な学習の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	生涯学習活動の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	ライフステージに対応した多様な学習機会の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	文化やスポーツ活動の振興を図る一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団の運営を支援することにより、質の高い文化やスポーツの場を提供することを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市民に質の高い文化やスポーツの場を提供するため、一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団の運営を支援する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団からの交付申請に対し、内容の精査を行い、助成金を交付する。 ・同団体から提出された事業報告書及び収支決算書に基づき、助成金が目的に沿って活用されているかを精査し、助成額を確定する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市補助金等の事務取扱に関する規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		12,278	11,525	11,739	11,279	11,749
合計				12,278	11,525	11,739	11,279	11,749

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団に対して、その運営に要する経費を補助した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	従事者数	人	4	4	4	4	4	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 運営管理に係る改善点や問題点など適宜確認する。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】 目標
	継続	・文化及びスポーツの振興を図るため、引き続き補助する。 ・一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団と運営管理に係る改善点や問題点等について、適宜確認する場を設ける。	市民に質の高い文化やスポーツの場を提供するため、一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団の運営を支援する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画
継続	【3次評価】	総合	・一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団からの交付申請に対し、内容の精査を行い、助成金を交付する。 ・同団体から提出された事業報告書及び収支決算書に基づき、助成金が目的に沿って活用されているかを精査し、助成額を確定する。 ・同団体と運営管理に係る改善点や問題点等について、適宜確認する場を設ける。

事務事業名	生涯学習の推進
-------	---------

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる	開始年度	平成 元 年度
施策	1	市民の主体的な学習の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	生涯学習活動の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	主体的な生涯学習活動に向けた情報の提供	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市民一人ひとりが自ら学び、学習成果を活用して新たな学びを得ることにより、豊かな心と生きがいを持つことのできる生涯学習循環型社会の構築を目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市民が自発的かつ継続的に生涯学習活動を行える機会を提供する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・7月に市民会館を利用する団体へ市民会館サークル展の参加を案内する。 ・10月に市民会館サークル展を開催する。 ・3か月毎に人材バンクの利用及び登録について市広報紙で呼びかける。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		113	113	0	0	0
	合計			113	113	0	0	0

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 市民の自発的かつ継続的な生涯学習活動を行うことができるよう発表の場を設けるとともに、学習指導者等の情報の提供を行った。 【市民会館サークル展】年1回 【人材バンク】個人登録者数78名 団体等登録数 79件 【生涯学習のあゆみ】年1回発行						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		参加団体数(市民会館サークル展)	回	7	15	10	12	12

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・人材バンクへの新たな登録者を増やす必要がある。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・団体が集まる市民サークル展で人材バンクの利用、登録を呼びかける。	目標 市民が自発的かつ継続的に生涯学習活動を行える機会を提供する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・団体が集まる市民サークル展で人材バンクの利用、登録を呼びかける。 ・7月に市民会館を利用する団体へ市民会館サークル展の参加を案内する。 ・10月に市民会館サークル展を開催する。 ・3か月毎に人材バンクの利用及び登録について市広報紙で呼びかける。
【3次評価】	総合		

事務事業名 婦人研修の家管理経費

区分	No.	名称	部・グループ
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	市民生活部市民協働G
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる	一般会計
施策	1	市民の主体的な学習の推進	開始年度 昭和 52 年度
基本的な方向	2	生涯学習環境の充実	終了年度 平成 ー 年度
主要な施策	1	生涯学習施設の確保と充実	事業区分 ソフト事業
			大型事業推進プラン 非登載事業

目的 婦人の生活文化や教養の向上を図るとともに、地域における婦人間の連携を図ることを目的とする。

前回評価 維持

Plan 概要

目標 (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)
各婦人研修の家において、指定管理者である町内会等が適切に維持管理を行う。

計画 (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)
施設を維持管理するための委託料を支払うこと及びその施設の細かな問題等について指定管理者と密に連絡を取る。

根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)
登別市婦人研修の家条例、登別市婦人研修の家条例施行規則

対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)
婦人研修の家、指定管理者

Plan ↓ Do

名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金	千円					
道支出金	千円					
地方債	千円					
その他	千円					
一般財源	千円	1,525	1,515	1,337	1,260	1,582
合計		1,525	1,515	1,337	1,260	1,582

Do

事務事業の成果・改善の状況

平成28年度

(実績を簡潔に記入してください)
各町内会が指定管理者となっている8箇所（栄、新川、常盤、若草、カルルス、美園、桜木、柏木）の婦人研修の家の維持管理を行った。
【指定管理者】
各町内会（協定期間 平成28～32年度）

指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
婦人研修の家利用者数	人	19,372	19,081	17,529	16,575	20,000

Check

課題等の状況

平成28年度

(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
施設の老朽化が進んでいる。

評価

【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】 目標
継続	施設の老朽化が進んでいるため、指定管理者と協議のうえ必要箇所の修繕を行うとともに、指定管理者への適切な維持管理を促す。	各婦人研修の家において、指定管理者である町内会等が適切に維持管理を行う。
【2次評価】	行政評価会議	計画
継続		施設を維持管理するための委託料を支払うこと及びその施設の細かな問題等について指定管理者と密に連絡を取る。
【3次評価】	総合	

事務事業名 公民館運営管理経費

区分	No.	名称	部・グループ
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	教育委員会社会教育G
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる	会計種別 一般会計
施策	1	市民の主体的な学習の推進	開始年度 昭和 60 年度
基本的な方向	2	生涯学習環境の充実	終了年度 平成 ー 年度
主要な施策	1	生涯学習施設の確保と充実	事業区分 ソフト事業
			大型事業推進プラン 非登載事業

目的 地域住民に交流・研修の場を提供することにより、生涯学習の環境の充実を図ることを目的とする。

前回評価 維持

Plan 概要

目標 (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)
地域住民に安心して使用できる交流・研修の場を提供する。

計画 (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)
・補修が必要な箇所を日常的に把握し計画的に補修する。
・突発的な補修箇所について迅速に対応する。

根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)
登別市公民館条例、登別市公民館条例施行規則

対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)
公民館利用者

事業費(財源内訳) Plan D.o

名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金	千円					
道支出金	千円					
地方債	千円					
その他	千円	72	89	97	85	101
一般財源	千円	3,521	3,394	367	364	1,011
合計		3,593	3,483	464	449	1,112

事務事業の成果・改善の状況 Do

平成28年度

(実績を簡潔に記入してください)
登別公民館、登別温泉公民館の運営管理及び鷺別公民館も含めた各公民館の老朽箇所の補修や備品の整備を実施した。
【補修箇所】
・登別温泉公民館：引違窓開閉ストッパー修繕、窓格子パイプ修繕、入口照明不良取替修繕
・登別公民館：ストーブ修繕

指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
公民館利用人数	人	2,235	2,370	2,677	1,891	2,000

課題等の状況 Check

平成28年度

(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
・補修が必要となりそうな箇所を日常的に把握することが必要。

評価

【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
継続	・公民館の管理人との連携を図り、公民館の適切な運営管理に努める。	目標 地域住民に安心して使用できる交流・研修の場を提供する。
【2次評価】	行政評価会議	計画 公民館の管理人との連携を図り、公民館の適切な運営管理に努める。 ・補修が必要な箇所を日常的に把握し計画的に補修する。 ・突発的な補修箇所について迅速に対応する。
【3次評価】	総合	

事務事業名 **教育施設運営管理経費**

区分	No.	名称	部・グループ
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	教育委員会社会教育G
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる	一般会計
施策	1	市民の主体的な学習の推進	開始年度 平成 18 年度
基本的な方向	2	生涯学習環境の充実	終了年度 平成 ー 年度
主要な施策	1	生涯学習施設の確保と充実	事業区分 ソフト事業
			大型事業推進プラン 非登載事業

目的	市民が活発に文化・スポーツ活動を行うことができる環境を整えることにより、市民の健全な心身の育成を図ることとする。	前回評価	維持
----	--	------	-----------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市民の健全な心身の育成を図るために、市民が活発に文化・スポーツ活動を行うことができる環境を整える。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・指定管理者である一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団に対し、施設の管理に対する委託料を支払う。 ・同団体から提出された事業報告書及び関係書類を確認し、管理業務等の評価を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市民会館条例、登別市民会館条例施行規則、登別市公民館条例、登別市公民館条例施行規則、登別市総合体育館条例、登別市総合体育館条例施行規則、登別市体育施設設置条例、登別市体育施設設置条例施行規則、登別市公の施設	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 教育施設利用者

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		68,880	68,880	63,562	63,562	63,562
合計				68,880	68,880	63,562	63,562	63,562

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 指定管理者への委託により社会教育施設の運営管理を行う。(対象施設：市民会館、鷺別公民館、総合体育館、陸上競技場) 【平成28～32年度指定管理者】 一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		施設利用人数	人	179,412	171,524	140,912	155,047	160,000

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 施設を利用する市民からの要望等に迅速に対応できるよう適切に管理を行う。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	市民からの要望等に迅速に対応できるよう指定管理者である一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団と適宜協議する場を設け、施設の修繕や備品等の取替など速やかに行う。	目標 市民の健全な心身の育成を図るために、市民が活発に文化・スポーツ活動を行うことができる環境を整える。 計画 ・指定管理者である一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団に対し、施設の管理に対する委託料を支払う。 ・同団体から提出された事業報告書及び関係書類を確認し、管理業務等の評価を行う。 ・同団体と市民からの要望等に迅速に対応するため、適宜協議の場を設ける。
	【2次評価】	行政評価会議	
	【3次評価】	総合	

事務事業名 鷺別公民館整備事業

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる	開始年度	平成 22 年度
施策	1	市民の主体的な学習の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	生涯学習環境の充実	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	生涯学習施設の確保と充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	老朽化が進む鷺別公民館を計画的に整備することで、施設の長寿命化を図るとともに、利用者の安全・安心・快適な施設利用を図ることを目的とする。	前回評価
----	--	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 利用者の安全・安心・快適な施設利用を図るため、老朽化が進む鷺別公民館を計画的に整備する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市公民館条例、登別市公民館条例施行規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 鷺別公民館

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円						
合計				0	0	0	0	

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 未実施						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		鷺別公民館利用者数	人	31,196	30,902	32,785	27,979	30,000

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) これまでは、緊急的な修繕については公共施設営繕費、老朽化等による交換・修繕については整備事業費で維持管理を行ってきたが、今後も施設の長寿命化を図るため計画的な改修が必要である。 空調排気口については老朽化により、外部カバーの基礎に亀裂が入り、内部も破損しており、落下の恐れもあることから利用者の安全性を確保するため平成28年3月に応急処置を実施している。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	これまでの管理状況や修繕状況、市民ニーズなどを踏まえ、緊急性や必要性を考慮し、施設の長寿命化に向けた検討を行う。	目標 利用者の安全・安心・快適な施設利用を図るため、老朽化が進む鷺別公民館を計画的に整備する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 平成30年度に予定していた鷺別公民館の自動ドア装置取替え修繕が公民館運営管理経費において実施されることになった。 平成29年度の鷺別公民館整備事業としては未実施である。
【3次評価】	総合		

事務事業名 図書館運営管理事業

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会図書館
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	市民の主体的な学習の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	生涯学習環境の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	図書館機能の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 図書館資料の整備と読書推進事業の実施、配本所の機能強化に努めることにより、市民の教育文化の向上に寄与することを目的とする。

前回評価 維持

Plan 概要

目標 (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)
 地域を支える情報拠点としての役割を認識し「地域の社会関係資本」「教育的資源」としての機能を積極的に果たす。

計画 (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)
 ・図書館への興味関心を高めて頂き、市民の方々が本に親しめる環境を創るため、各種事業や展示を継続的に展開する。
 ・どなたでも利用しやすい図書館とするため、施設の維持整備を行う。

根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)
 図書館法、登別市図書館条例、登別市図書館条例施行規則、登別市立図書館処務規程

対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)
 図書館利用者

Plan 事業費(財源内訳)

名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金	千円					
道支出金	千円					
地方債	千円					
その他	千円	31	23	31	20	31
一般財源	千円	8,516	7,106	7,644	7,150	9,421
合計		8,547	7,129	7,675	7,170	9,452

Do 事務事業の成果・改善の状況

平成28年度 (実績を簡潔に記入してください)
 図書館資料の整備と市民の求める資料の提供に努めるとともに、すべての市民を対象にした読書推進事業を行った。
【事業実績】
 ・年長児の読書感想画募集 応募件数 265件
 ・小中学生の読書感想文、感想画コンクール 応募件数 422件(文)、64件(画)
 ・外部講師による講演会等 4回実施、参加人数合計 123人
 ・「図書館通信」「じどうしつだより」発行(月1回)、「ブックリスト」(小学生向けのお薦め本)発行(年2回)
 ・図書館まつり(80人参加)、ビブリオバトル(共催事業、年5回 25人参加)
 ・ボランティア団体によるおはなし会等 2団体 合計21回、参加人数合計 249人
 ・職員によるおはなし会(8回 62人参加)、ロビー展示 21回)
 ・団体貸出、施設搬送(27施設・団体、8小学校)
【施設整備】
 ・登別市関係者著作コーナーの設置、閲覧室の書架配置見直し
 ・赤ちゃんルーム(授乳室)の設置、玄関階段の補修

指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
貸出登録者数	人	21,081	22,073	23,059	27,970	24,000
貸出冊数	冊	234,993	227,228	239,977	218,954	230,000
図書館を利用した市民の割合	%	-	10.7	-	10.7	-

Check 課題等の状況

平成28年度 (事務事業の実施における課題点等を記入してください)
 平成28年度まちづくり意識調査において、次の課題を見出した。
 ・市民の7割以上が図書館をほとんど利用していない
 ・その主な理由は、本(図書館)に興味がない、遠い、図書館のことがよく分からない等であった

評価	今後の取組【Action】	今後の目標・計画【Plan】
【1次評価】	<p>担当グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館が身近になるよう、魅力や有用性などを積極的に発信、周知する。 市内の配本所(各支所内)やアーニス分館での予約及び受取、3市で取り組んでいる広域図書館についても周知を図る。 読書のみならず、地域や個人の問題や課題を解決するための支援(資料提供)を行っていく。 	<p>目標</p> <p>地域を支える情報拠点としての図書館の役割を認識し、「地域の社会関係資本」「教育的資源」としての機能を積極的に果たす。</p>
【2次評価】	<p>行政評価会議</p>	<p>計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 左記の取組を実施する。 図書館ビジョン(仮)を策定し、中長期的な視野をもって運営にあたる。 施設のバリアフリー化に取り組む。 自主事業及び団体事業を推進する。
【3次評価】	<p>総合</p>	

継続

継続

事務事業名 移動図書館運行業務委託事業

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会図書館
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる	開始年度	平成 18 年度
施策	1	市民の主体的な学習の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	生涯学習環境の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	図書館機能の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市民が地域で図書館サービスを利用できる環境を整えることにより、市民の教育文化の向上を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市内全ての地域を網羅した全域サービスをより一層強化する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 移動図書館車の効率的な運行と巡回サービスの向上を図るため、運行業務を委託する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 移動図書館利用者

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
	道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源		千円	4,193	4,193	5,095	5,087	5,087
合計				4,193	4,193	5,095	5,087	5,087

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 移動図書館車の効率的な運行と巡回サービスの向上を図るため、運行業務を委託した。 【契約期間(債務負担行為)】 平成28年度～平成29年度(2年間) 移動図書館車の老朽化に対応するため、H29年度以降の更新を検討する。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		移動図書館車貸出冊数	冊	27,261	23,898	23,654	21,241	24,000
		移動図書館車年間運行日数	日	225	226	225	223	226

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・車両の老朽化が著しい。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	移動図書館車は図書館の市内全域サービスを担う重要な手段であることから、事業を継続するために車両更新する。	目標 市内全ての地域を網羅した全域サービスをより一層強化する。 計画 ・左記の取組を実施する。 ・必要に応じて巡回場所(ステーション)の見直しについても検討していく。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 **図書・資料等購入費**

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会図書館
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	市民の主体的な学習の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	生涯学習環境の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	図書館機能の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	図書館の蔵書を充実させるため、図書・資料等を収集・整理保存し、市民の利用に供することを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	-----------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 多様なニーズに応える資料の収集整備を行うとともに、適正な蔵書数による魅力ある書架を創造する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・市民からのリクエストを随時受け付ける。 ・選書会議（週1回）を開催し、収集資料の選定を行う。 ・蔵書の飽和状態を解消するため、除籍と整理に取り組む。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 図書館利用者

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		9,137	9,135	9,085	9,077	9,085
	合計			9,137	9,135	9,085	9,077	9,085

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 市民の利用に供するための図書・資料等の購入を実施するとともに、蔵書の飽和状態を解消するため、老朽化の著しい図書や複数所蔵している図書の除籍を進めた。 なお、除籍資料のうち再利用が可能な状態であるものについては、アーニス分館及び市民活動センターにリサイクルコーナーを設置して市民に提供した。 【購入冊数】 ・書籍 4,781冊、雑誌 1,221冊 【除籍冊数】 ・書籍 3,555冊、雑誌 1,024冊						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		購入冊数（図書等）	冊	5,387	5,340	4,884	4,781	4,900
	購入冊数（雑誌等）	冊	829	1,132	1,237	1,221	1,200	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 蔵書の飽和状態を解消、魅力ある書架を構築することが登別市立図書館の最重要課題である。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・本館2階書庫及び閉架書庫に保管している資料の除籍と整理を行う。 ・リサイクルコーナーを活用し、除籍資料の有効活用を図る。 ・これまで同様、市民からのリクエスト受付及び選書会議により魅力ある所蔵資料の充実に取り組む。	目標 多様なニーズに応える資料の収集整備を行うとともに、適正な蔵書数による魅力ある書架を創造する。 計画 ・左記の取組を実施する。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 図書館ネットワークサービス広域化事業費

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会図書館
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる	開始年度	平成 23 年度
施策	1	市民の主体的な学習の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	生涯学習環境の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	図書館機能の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	近隣市との図書館相互利用を可能にすることにより、市民が図書館を利用しやすい環境を整えることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 相互利用の根幹となる「安定した物流体制」を構築する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・週1回、三市が一堂に会して予約本及び返却本の受渡を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別・室蘭・伊達の3市の市民

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		2,844	2,833	644	634	648
	合計			2,844	2,833	644	634	648

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください)					
		<ul style="list-style-type: none"> 定住自立圏の連携事業として、登別・室蘭・伊達の3市の図書館情報システムや図書資料等を一体で運用・利用した。 平成24年1月から室蘭市・伊達市の2市で行っていた本事業に当市も参加した。 物流作業を展示館で完了できるよう集合場所は室蘭市白鳥台分室とし、職員2名体制で物流作業に当たった。 					
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績
		冊	23,211	24,085	28,646	29,286	29,000
		冊	16,962	17,826	21,029	20,803	22,000

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)	
		<ul style="list-style-type: none"> 相互利用の状況は高く推移しており、システム運用面でも有益である。 相互利用の増加に伴い、流通書籍の量も増加している。 	

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	<ul style="list-style-type: none"> 年々増加相互利用に対応するため、物流の回数や方法を三市で継続的に協議していく。 	目標 相互利用の根幹となる「安定した物流体制」を構築する。 計画 左記の取組を実施する。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	継続	総合	

事務事業名	アーニス分館運営管理経費
-------	--------------

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会図書館
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる	開始年度	平成 27 年度
施策	1	市民の主体的な学習の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	生涯学習環境の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	図書館機能の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	図書館アーニス分館を運営することにより、図書等の充実、バリアフリー化、夜間及び祝日の開館による利便性の向上を図ることを目的とする。	前回評価	
----	---	------	--

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 蔵書の種類、開館日や開館時間を本館と差別化する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・大活字本や雑誌資料を重点的に配置する。 ・休館日を木曜日とし、開館時間は20時までとする。(本館：月曜及び祝日休館、開館時間は18時まで)	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 図書館利用者

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他	複写業務収入	千円		132	117	132	96	132
一般財源		千円		6,580	6,401	5,823	5,709	5,792
	合計			6,712	6,518	5,955	5,805	5,924

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 図書館分館を運営し、高齢者を対象とした大活字本の充実、雑誌資料の拡充、インターネットを活用したデジタル資料・データベースの提供を行った。 休館日及び開館時間については、計画どおり運営した。(休館日：木曜日、開館時間：20時まで)						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	年間開館日数	日	-	-	291	293	289	
年間利用者数(個人)	人	-	-	10,225	9,578	10,000		

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 休館日や所蔵資料等について、今後も利用者ニーズを的確に把握していく必要がある。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・利用者からの要望を取りまとめ、必要に応じてアーニス事務居等と協議しながら分館の運営にあたる。	目標 蔵書の種類、開館日や開館時間を本館と差別化する。 計画 ・左記の取組を実施する。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 **ブックスタート・ライブラリースタート事業**

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会図書館
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる	開始年度	平成 27 年度
施策	1	市民の主体的な学習の推進	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	2	生涯学習環境の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	図書館機能の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	本にふれる機会を提供することにより、乳幼児の読書意欲の向上と図書館の利用を促進することを目的とする。	前回評価	改善
----	--	------	-----------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 良質な図書の情報提供に加え、これまで図書館を利用したことがない方へ図書館利用の機会を創出する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 【ブックスタート】 ・平成27年から子育てGの所管事業としていたブックスタート事業を図書館の所管として取り組む。 ・4か月検診時の会場で絵本3冊とコットンバッグを配布する。 【ライブラリースタート】 ・3歳児検診の会場で事業について説明し、図書館へ来館時（後日）に希望の絵本を選んで頂く。（絵本は郵送）	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 第2次登別市子ども読書活動推進計画	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 4か月児とその保護者（ブックスタート） 3歳児とその保護者（ライブラリースタート）

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金		千円		169		
道支出金			千円					
地方債			千円					
その他			千円					
一般財源			千円			540	982	1,028
合計				0	169	540	982	1,028

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 【ブックスタート】 ・4か月児健診時に絵本3冊と絵本リストやアドバイス集、コットンバッグを配布した。 ・事業移管時に対象者を4か月児のみとした。（これまでは4か月、10か月、1歳半） 【ライブラリースタート】 ・3歳児健診時に事業を説明したチラシを配付し、その後来館した際に、施設のサービスや事業、利用方法等を紹介するとともに、本1冊を提供した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		ブックスタート配布率	%	-	-	99.3	100.0	100.0
		ライブラリースタート配布率	%	-	-	19.9	27.4	50.0

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 対前年度比で配布率は向上しているものの、更なる向上を目指して事業の趣旨や性格を考慮の上で配布法を再検討する必要がある。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	改善	・図書館への来館を促すという事業の性格から本館受付のみだったが、こぐま号や分館、配本所でも受付を行うよう手法を改善する。	目標 良質な図書の情報提供に加え、これまで図書館を利用したことがない方へ図書館利用の機会を創出する。 計画 ・左記の取組を実施する。
	【2次評価】	行政評価会議	
改善	【3次評価】	総合	

事務事業名 デジタル資料提供事業

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会図書館
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる	開始年度	平成 26 年度
施策	1	市民の主体的な学習の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	生涯学習環境の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	図書館機能の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	アーニス分館のIT機能を活用し、インターネットを活用したデジタル資料・データベースの提供を行う。このことにより、近年書籍形態から電子媒体に移行しているレファレンス資料の動向に対応し、レファレンス機能の強化を目的とする。	前回評価
----	---	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 地域や住民が抱える問題の解決、疑問の解消、知的好奇心の充足を支援する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・デジタル資料を提供する。 ・オンラインデータベースを提供する。 ・利用者の求めに応じて学習や研究調査に必要な情報や資料を提供する「レファレンスサービス」の充実を図る。 ・利用者が「自立した情報利用者」となることを支援するサービスを行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 図書館利用者

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円						
合計				0	0	0	0	

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスや歴史的音源など、国立国会図書館のデジタル資料の提供を行った。 ・第一法規法情報総合データベース、ジャパンナレッジLib、北海道新聞記事データベースなどのオンラインデータベースの提供を行った。 ・登別ときめき大学の関連事業として、オンラインデータベース講習会を実施した。					
	指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	提供データベース数	種類	-	3	3	3	3
	講習会開催回数	回	-	2	3	3	3

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) オンラインデータベースへのアクセスについて、ライセンス数に制限がある。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	デジタル資料の利用状況を継続的に分析し、必要に応じて種類やライセンス数を見直していく。	目標 地域や住民が抱える問題の解決、疑問の解消、知的好奇心の充足を支援する。 計画 ・左記の取組を実施する。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 移動図書館車両更新事業

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会図書館
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる	開始年度	平成28年度
施策	1	市民の主体的な学習の推進	終了年度	平成29年度
基本的な方向	2	生涯学習環境の充実	事業区分	ハード事業
主要な施策	3	図書館機能の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市民が各地域で図書館サービスを利用できる移動図書館車運行业務を実施するにあたり、車両の老朽化が著しいことから車両の更新を行うことを目的とする。	前回評価
----	---	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 老朽化が著しい移動図書館車の車両更新を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・こぐま号の車両更新業務を進める。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別市移動図書館車

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他	ふるさとまちづくり応援基金、室蘭信用金庫100周年記念寄附金	千円		-	-	-	-	12,600
一般財源		千円		-	-	-	-	1,132
	合計			0	0	0	0	13,732

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 移動図書館車の車両の老朽化が著しいことから車両の更新を行うため、車両の仕様検討及び予算要求を行った。また、購入費用のご寄附を頂く室蘭信用金庫様と、記念事業の実施に向けて調整を行ったほか、車両のラッピングデザインをしていただく日本工学院様との調整も行った。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		車両の更新	台	-	-	-	0	1

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 平成29年度の車両更新に向けて、仕様の決定や記念事業に係る調整等を計画的に進める必要がある。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	終了	平成29年度に入札執行、記念事業を実施するとともにデザインをラッピングして事業完了となる。	目標 老朽化が著しい移動図書館車の車両更新を行う。 計画 ・左記の取組を実施する。
	平成29年度	【2次評価】 行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 指導方法の工夫改善

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	子どもたちの生きる力を育む	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	確かな学力の向上	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	基礎・基本の定着	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	子ども達の生きる力を育むための確かな学力の向上を目的とする。	前回評価	
----	--------------------------------	------	--

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 子どもたちの学習の理解度や習熟度に応じた指導方法の工夫や改善を図りながら基礎・基本の定着に努め、学び続ける意欲を醸成する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・指導方法工夫改善に不可欠な教職員定数加配について、胆振教育局からの通知を各学校に周知し、計画書を取りまとめ提出する。 ・計画書提出の際は、要項等に沿った内容であることを確認し、必要に応じて指導及び助言する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 学習指導要領、指導方法工夫改善実施計画調書作成要領	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 小・中学生

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		0	0	0	0	
合計				0	0	0	0	

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 各学校において個に応じた指導の充実に努め、教職員定数加配（指導方法工夫改善）を活用し、チーム・ティーチング（TT～複数人指導）や習熟度別（学級改編指導）の指導方法による工夫に努めた。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		習熟度別指導実施校（指導方法工夫改善加配）	校	10	11	10	11	11

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) TTや習熟度別の指導を行うためには、基準定数を上回る加配枠での教員の配置が必要となるが、道教委の予算枠等の関係もあるため、必ずしも加配枠が確保できるとは限らない。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ 定数加配申請の際は、申請書の内容を精査し、申請校の希望どおり加配されるよう助言及び支援していく。	今後の目標・計画【Plan】 目標 子どもたちの学習の理解度や習熟度に応じた指導方法の工夫や改善を図りながら基礎・基本の定着に努め、学び続ける意欲を醸成する。 計画 ・指導方法工夫改善に不可欠な教職員定数加配について、胆振教育局からの通知を各学校に周知し、計画書を取りまとめ提出する。 ・計画書提出の際は、要項等に沿った内容であることを確認し、必要に応じて指導及び助言する。
	【2次評価】	行政評価会議	
	【3次評価】	総合	

継続

継続

事務事業名 教育課程の編成・実施・評価

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	子どもたちの生きる力を育む	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	確かな学力の向上	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	思考力、判断力、表現力等の育成	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	子ども達の生きる力を育むための確かな学力の向上を目的とする。	前回評価	
----	--------------------------------	------	--

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 各学校で特色ある教育課程の編成を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・ 社会に開かれた教育課程の示す理念の理解。 カリキュラム・マネジメントの観点から、校長のリーダーシップを基に、全教職員が編成に関わる体制づくりの推進。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 学校教育法、学習指導要領	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 小・中学生、教員

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		0	0	0	0	
合計				0	0	0	0	

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 子どもたちの確かな学力の向上や豊かな人間性の育成、たくましく生きるための健康や体力づくりなどの「生きる力」を育む特色のある教育課程の編成・実施・評価及び改善を進め、思考力・判断力・表現力や問題解決能力等の育成に繋がった。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・ 学校評価等を活かした改善への連動がややマンネリ化している。
-----------------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ ・ 次期学習指導要領のさらなる内部理解 ・ 教育課程編成等への全職員の関与	今後の目標・計画【Plan】 目標 社会に開かれた教育課程の実現等、次期学習指導要領に係る理解を一層深める。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・ 次期学習指導要領の内容理解のための校内研修の実施。 ・ 教育課程編成に係る役割分担と実施。
	【3次評価】	総合	

継続

継続

事務事業名 校内研修の充実

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	子どもたちの生きる力を育む	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	確かな学力の向上	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	思考力、判断力、表現力等の育成	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	子ども達の生きる力を育むための確かな学力の向上を目的とする。	前回評価	
----	--------------------------------	------	--

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 小・中学生の実態、社会の要請、地域や保護者等の願いを踏まえた研修内容の設定・推進を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 各校複数年計画で、独自性を発揮した研修計画の立案	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 教育基本法、教育公務員特例法	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 教職員

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	0	0	0	0	0
合計			0	0	0	0	0

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 研修資料の掲示や研修内容の情報交換、指導主幹・胆振教育局指導主事等による学校訪問等を活用し、各学校の校内研修充実に努めた。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 研修資料の掲示や研修内容の情報交換、指導主幹・胆振教育局指導主事等による学校訪問等を活用し、各学校の校内研修充実に努めた。	
	評価		

継続	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ 研究実践の積み上げと効果の検証	今後の目標・計画【Plan】 目標 次期学習指導要領の視点である児童生徒に身に付けさせる3つの資質・能力の実現を目指した研修計画を立案する。 計画 児童生徒の姿から、校内研修の成果を検証する評価サイクルの構築。
	【2次評価】	行政評価会議	
	【3次評価】	総合	

事務事業名 学校図書館司書配置事業

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 25 年度
施策	1	子どもたちの生きる力を育む	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	豊かな人間性の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	豊かな心を育む教育の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	学校図書館司書を配置することにより、多様な読書活動の企画を行うなど、学校図書館の機能向上を目的とする。	前回評価	改善
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 学校図書館司書を活用し、子どもたちの読書への興味関心を増進させる。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・学校図書館のレイアウト、本の整理等を行い環境を整備する。 ・選書や授業関連本の準備を行い、図書の充実とその効果的な活用を図る。 ・小学生の読書活動を推進するため、各校で独自の取組みを実施する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 学校図書館法、学習指導要領	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 小学生

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		248	145	80	71	104
	合計			248	145	80	71	104

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 学校図書館司書を4名配置し、子どもが利用しやすい学校図書館を実現するための環境整備を図るとともに、子どもの読書活動を推進するための活動として、書籍の陳列方法や内容紹介、図書室内のレイアウト変更等の環境整備等を行った。 【配置状況】全8小学校に1校あたり週2～3日配置 ・季節や行事に適した図書室環境整備 ・読書推進のためのイベントの企画及び実施 ・長期休業中の図書室開放を実施 ・学校図書館司書間や図書館担当者との連携会議による情報交換 ・中学校図書担当との連携会議の開催						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		配置校における図書館利用児童数	人	8,437	12,366	21,673	24,733	25,000
		貸出冊数	冊	7,287	10,680	36,344	42,104	43,000

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 小学校での司書配置の効果を中学校にも波及できるように、司書と中学校担当で協議をしたが、各中学校の実態を熟知しなければ効果的な支援が望めないことがわかり、現状での中学校への有効な支援が実現しなかった。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	拡大	引き続き小学生の読書活動を推進できるような環境づくりを行い、中学校でも読書への興味関心を維持できるよう司書配置についても検討していく。	学校図書館司書を活用し、子どもたちの読書への興味関心を増進させる。
	【2次評価】	行政評価会議	・学校図書館のレイアウト、本の整理を行い環境を整備する。 ・選書や授業関連本の準備を行い、図書の充実とその効果的な活用を図る。 ・小・中学生の読書活動を推進するため、各校で独自の取組みを実施する。
改善	【3次評価】	中学校への学校図書館司書の配置を検討する際には、学力向上などの費用対効果を検証すること。	
		総合	

事務事業名 要保護・準要保護就学援助費（小学校）

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	昭和 62 年度
施策	1	子どもたちの生きる力を育む	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	豊かな人間性の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	豊かな心を育む教育の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	教育の機会均等等の理念に基づき、経済的支援の必要な保護者に対して、就学に必要な学用品の経費の一部を援助する。	前回評価	改善
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 援助が必要であると認められた世帯に、就学に必要な経費の一部を援助する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 4月に新入学準備金を支給し、その後5月、8月、12月の3回にわたり、学用品費や給食費等の就学に必要な経費の一部を援助する。5月以降の援助の申請には、随時に認定を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 教育基本法（第4条）、学校教育法第19条、登別市就学援助事務処理運用基準	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 経済的支援が必要な小学生の保護者

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	要保護児童生徒援助費補助金	千円	113	113	72	72	73
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円	31,601	31,000	31,940	31,468	32,103	
合計				31,714	31,113	32,012	31,540	32,176

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・小学生の保護者に対し、就学に必要な学用品等の経費の一部を援助した。 【補助内容】 給食費、学用品費、通学費、医療費、修学旅行費、校外活動費、PTA会費 ・保護者等より早期の支給を求められ、4月中に新入学準備金を支給した						
	指標		単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	支給対象児童数		人	456	438	456	465	465

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 道内各市の状況としては35市中20市が生保基準の1.3倍の係数を適用していることから、義務教育期間の支援強化として平成29年度より係数の引き上げる。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	今後も、新入学準備金を早期に支給し、小学生の保護者に対し継続して就学に必要な学用品等の経費の一部を援助していく。	目標 今後も、援助が必要であると認められた世帯に、就学に必要な経費の一部を援助する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・今後も、給食費、学用品費、通学費、医療費、修学旅行費、PTA会費等の経費の一部を経済的支援の必要な小学生の保護者に対し支給する。
【3次評価】	総合		

事務事業名 要保護・準要保護就学援助費（中学校）

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	昭和 62 年度
施策	1	子どもたちの生きる力を育む	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	豊かな人間性の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	豊かな心を育む教育の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	教育の機会均等等の理念に基づき、経済的支援の必要な保護者に対して、就学に必要な学用品の経費の一部を援助する。	前回評価	改善
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 援助が必要であると認められた世帯に、就学に必要な経費の一部を援助する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 4月に新入学準備金を支給し、その後5月、8月、12月の3回にわたり、学用品費や給食費等の就学に必要な経費の一部を援助する。5月以降の援助の申請には、随時に認定を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 教育基本法（第4条）、学校教育法第19条、登別市就学援助事務処理運用基準	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 経済的支援の必要な中学生の保護者

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	要保護児童生徒援助費補助金	千円	241	241	158	158	429
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円	29,897	28,606	29,704	28,517	29,742	
合計				30,138	28,847	29,862	28,675	30,171

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・中学生の保護者に対し、就学に必要な学用品等の経費の一部を援助した。 【補助内容】 給食費、学用品費、通学費、医療費、修学旅行費、校外活動費、PTA会費 ・保護者等より早期の支給を求められ、4月中に新入学準備金を支給した						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		支給対象生徒数	人	267	277	278	266	266

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 道内各市の状況としては35市中20市が生保基準の1.3倍の係数を適用していることから、義務教育期間の支援強化として平成29年度より係数の引き上げる。
--------	--------	--

評価	今後の取組【Action】	今後の目標・計画【Plan】
【1次評価】	担当グループ	目標
継続	今後も、新入学準備金を早期に支給し、中学生の保護者に対し継続して就学に必要な学用品等の経費の一部を援助していく。	今後も、援助が必要であると認められた世帯に、就学に必要な経費の一部を援助する。
【2次評価】	行政評価会議	計画
継続		・今後も、給食費、学用品費、通学費、医療費、修学旅行費、PTA会費等の経費の一部を経済的支援の必要な中学生の保護者に対し支給する。
【3次評価】	総合	

事務事業名 体験活動等特色ある教育活動の充実

区分	No.	名称	部・グループ
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	教育委員会学校教育G
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	会計種別
施策	1	子どもたちの生きる力を育む	開始年度 平成 ー 年度
基本的な方向	2	豊かな人間性の育成	終了年度 平成 ー 年度
主要な施策	1	豊かな心を育む教育の充実	事業区分 ソフト事業
			大型事業推進プラン

目的	子どもたちの生きる力を育むための豊かな人間性の育成を目的とする。	前回評価
----	----------------------------------	------

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 特色ある教育活動の展開により児童生徒の資質能力を高め、併せて学校教育の質的改善を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 各校の教育課程に位置付けた体験活動の意図的・計画的な実施	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 学校教育法、学習指導要領	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 小・中学生

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		0	0	0	0	
合計				0	0	0	0	

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 学校教育全体を通して体験活動等を積極的に取り入れ、心の教育の充実に努めた。				
		指標	単位			
			H25実績	H26実績	H27実績	H28実績

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 活動による教育的効果の検証（評価改善サイクルを機能させる）
	評価	

継続	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ 特色ある教育活動がもたらす効果の検証とカリキュラムの改善	今後の目標・計画【Plan】 目標 社会に開かれた教育課程の実現に向け、一層の地域との連携を進める。 計画 ・地域人材や資源を生かした教育活動の見直し、整理。
	【2次評価】	行政評価会議	
	【3次評価】	総合	

事務事業名 道徳授業の改善

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	子どもたちの生きる力を育む	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	豊かな人間性の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	豊かな心を育む教育の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	子どもたちの生きる力を育むための豊かな人間性の育成を目的とする。	前回評価	
----	----------------------------------	------	--

概要 Plan	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 各校の全体計画を基にした年間指導計画に基づく確実な授業を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・日常の授業づくりや授業実践の推進、積み上げ。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 学校教育法施行規則、学習指導要領	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 教員

事業費(財源内訳) Plan↓Do	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	0	0	0	0	0
	合計		0	0	0	0	0

事務事業の成果・改善の状況 Do	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 道徳の時間の全体計画、指導計画及び別葉を作成し、指導案の検討など実践研究を進めた。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

課題等の状況 Check	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・「考え、議論する道徳」に係る内容理解と授業実践のさらなる積み上げ。 ・道徳教育推進教師の校内での位置付けと主体的動き。
	評価	

継続	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ 校長のリーダーシップのもと、道徳教育推進教師が実務者となり、校内の道徳の授業づくりを進め、活性化を図る。	今後の目標・計画【Plan】 目標 教科化を見据えた授業づくり及び評価に関わる実践的な研修を継続する。 計画 ・全体計画、年間指導計画、別葉の整備。 ・道徳教育推進教師を中心とした研修体制の構築。
	【2次評価】	行政評価会議	
	【3次評価】	総合	

事務事業名 **読書活動の推進**

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	子どもたちの生きる力を育む	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	豊かな人間性の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	豊かな心を育む教育の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 子どもたちの生きる力を育むための豊かな人間性の育成を目的とする。

前回評価

Plan 概要

目標 (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)
 子どもの読書習慣の確立や生活の中に読書が位置付くような手立てを立案し、推進する。

計画 (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)
 ・従来の朝読書等の取組の質的充実
 ・司書教諭と学校司書との連携
 ・市立図書館児童担当との連携

根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)
 子どもの読書活動の推進に関する法律

対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)
 小・中学生

Plan ↓ Do 事業費（財源内訳）

名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金	千円					
道支出金	千円					
地方債	千円					
その他	千円					
一般財源	千円	0	0	0	0	0
合計		0	0	0	0	0

Do 事務事業の成果・改善の状況

平成28年度

(実績を簡潔に記入してください)
 各学校の読書活動推進計画や学校図書館運営計画に基づき、読書活動の充実に努めた。

指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

Check 課題等の状況

平成28年度

(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
 ・各校の取組の整理と内容向上に向けた具体的手立ての立案
 ・市立図書館と学校司書間での更なる情報交換等

評価

【1次評価】	継続	今後の取組【Action】	今後の目標・計画【Plan】
		担当グループ	子どもの生活における豊かな読書環境づくりをさらに進める。
		学校図書館が有する教育センター的役割等の充実を図る。	・子供が読書に向かう具体的な手立て、仕掛けづくりの推進。
【2次評価】	継続	行政評価会議	計画
総合			
【3次評価】			

事務事業名	不登校・いじめ対策経費
-------	-------------

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 7 年度
施策	1	子どもたちの生きる力を育む	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	豊かな人間性の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	生徒指導、不登校・いじめ対策の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	不登校やいじめ等を未然に防止するとともに、それらの問題に早期かつ適切に対応することを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 研修等により、不登校やいじめに関する教職員のスキルを向上させる	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・教育指導専門員を配置し、教育相談及びいじめ相談電話を随時受け付ける ・「不登校・いじめ等対策会議」、「ふれあいサポート懇談会」の開催、教職員を対象とした研修会を実施する ・小中学校にいじめ学習資料等を配布する ・不登校の小・中学生を対象に自然体験を実施する	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 学校教育法 いじめ防止対策推進法	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 小・中学生とその保護者、教職員

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		240	147	228	151	218
	合計			240	147	228	151	218

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 教育指導専門員による教育相談や教職員研修会の開催、学習資料による啓発等を実施した。 【事業内容(事業実績)】 ・教育指導専門員2名配置(月～金・9時～17時) ・教育相談及びいじめ相談電話(11件) ・校長会・教頭会の代表、各小中学校教諭等と構成する「不登校・いじめ等対策会議」開催(2回) ・教職員を対象とした研修会(2回) ・「いじめ学習資料」等の配布(各小中学校に5回配布) ・ふれあいサポート懇談会(2回)等 ・自然体験(鷲別岳登山)(1回)						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		不登校・いじめ対策会議：年2回、ふれあいサポート懇談会：年2回、教職員研修会：年2回	回	6	6	6	6	6

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) いじめや不登校の背景には家庭、学校、地域社会のそれぞれの要因が複雑に絡み合っており、対処にあたっては対応するスキルや各機関の連携が必要である。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ 教職員向けの研修と併せて、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、心の教室相談員による支援と適応指導教室、体験教室による指導を中心に取り組んでいく。	今後の目標・計画【Plan】 目標 研修等により、不登校やいじめに関する教職員のスキルを向上させる
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・教育指導専門員を配置し、教育相談及びいじめ相談電話を随時受け付ける。 ・「不登校・いじめ等対策会議」、「ふれあいサポート懇談会」や教員を対象とした研修会を実施する。 ・小中学校にいじめ学習資料等を配布する。 ・不登校の小・中学生を対象に自然体験を実施する。
	【3次評価】	総合	

継続

継続

事務事業名 **スクールカウンセラー活動経費**

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 8 年度
施策	1	子どもたちの生きる力を育む	終了年度	平成 一 年度
基本的な方向	2	豊かな人間性の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	教育相談の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	小・中学生へのカウンセリング体制の充実を図ることにより、不登校やいじめ等を未然に防止するとともに、それらの問題に早期かつ適切に対応することを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	-----------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 不登校傾向など集団に対する不適応を示す小・中学生及び保護者に対し、個別のカウンセリングや改善に向けたアドバイスを行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・学級担任や生徒指導担当教諭・養護教諭から、発達障害や集団への不適応傾向がある小・中学生の情報を収集・整理し、必要に応じて個別の面談を行う。 ・希望する保護者に対し個別のカウンセリングを実施し、家庭における子どもとの関わり方や生活習慣の改善等について助言をする。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 学校教育法、スクールカウンセラー活用事業実施要項	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 小・中学生

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		78	39	78	49	50
合計				78	39	78	49	50

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 小・中学生へのカウンセリング体制の充実を図るため、臨床心理士を配置した。 【配置校及び日数】西陵中学校（27日）、緑陽中学校（27日）、鷺別中学校（28日）。以上3校を拠点校方式とし、必要に応じ市内各小・中学校のカウンセリングに対応した。 1校あたり年28週、週当たりの勤務時間は4時間程度。 ○学級担任や生徒指導担当教諭と連携し、不登校傾向の小・中学生や保護者に対してカウンセリングを実施した結果、登校状況の改善に一定の成果があった。 ○発達に課題のある児童生徒や集団に対する不適応傾向の小・中学生に対して個別のカウンセリングを実施した結果、集団生活の適応に一定の成果があった。 ○学級担任や生徒指導担当教諭・養護教諭と情報の共有化を図ったことで、特に不登校傾向の小・中学生に対して、組織的な対応を推進することができた。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		相談件数	件	379	316	280	198	300

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・スクールカウンセラーの勤務時間に制約があるため、迅速な対応ができず、日程調整が難しい状況がある。また、カウンセリングを希望する小・中学生・保護者の数に対して勤務時間に制約があることから、一人ひとりのカウンセリング希望に十分な時間を割くことができない。 ・勤務時間のほとんどがカウンセリングの予約で埋まっているため、休み時間や放課後に中学生が気軽に立ち寄ってカウンセリングを受けることができない。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ スクールカウンセラーの勤務については、1校あたり年間28日112時間以内と制約があることから、学級担任や生徒指導担当教諭等と連携を図り、緊急性や優先度を勘案しながら、対応をする。	今後の目標・計画【Plan】 目標 不登校傾向など集団に対する不適応を示す小・中学生及び保護者に対し、個別のカウンセリングや改善に向けたアドバイスを行う。 計画 ・学級担任や生徒指導担当教諭・栄養教諭から発達障害や集団への不適応傾向がある小・中学生の情報を収集・整理し、必要に応じて個別の面談等を行う。 ・希望する保護者に対し、個別のカウンセリングを実施し、家庭における子どもとの関わり方や生活習慣の改善等について助言する。
	【2次評価】	行政評価会議	
	【3次評価】	総合	

継続

継続

事務事業名 心の教室相談員活動経費

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 10 年度
施策	1	子どもたちの生きる力を育む	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	豊かな人間性の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	教育相談の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	中学生の悩み相談等に応じることで、不登校やいじめ等を未然に防止し、中学生が心にゆとりを持ちストレスをためることのない環境をつくることを目的とする	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 中学生が悩み等を気軽に話すことができる環境を整える。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・中学生の心の悩みや人間関係の不安、学校生活上の悩みなどのストレスを和らげるための相談を受けたり、話し相手になる。 ・気軽にできるスポーツなどを通して第三者として話し相手になる。 ・中学生、教職員及び保護者が、地域との連携を持つためのパイプ役としての役割を担う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 中学生

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		178	147	178	147	178
合計				178	147	178	147	178

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 中学生の悩み相談等に応じる心の教室相談員を配置した。 【配置人数】各校1人 【配置日数】幌別中学校(85日)、西陵中学校(79日)、鷺別中学校(88日)、緑陽中学校(104日)、登別中学校(選考中) ○相談だけではなく、ふれあいを求めて来室する生徒も多いことから、気軽に相談・来室できる環境が整えられている。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		相談件数※相談を受けた件数のみ計上	件	26	24	69	89	110

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・中学生が抱える問題の多様化、複雑化により相談件数が増加傾向にある。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ 上記の課題から、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携を図りながら、今後も気軽に話せる場としての機能充実を図る。	今後の目標・計画【Plan】 目標 中学生が悩み等を気軽に話すことができる環境を整える。
	継続	行政評価会議	計画 ・中学生の悩みや人間関係の不安、学校生活上の悩みなどのストレスを和らげるための相談を受けたり、話し相手になる。 ・気軽にできるスポーツなどを通して、第三者として話し相手になる。 ・中学生、教職員及び保護者が、地域との連携を持つためのパイプ役を担う。
	【2次評価】	継続	総合
【3次評価】			

事務事業名 **スクールソーシャルワーカー活用事業**

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成23年度
施策	1	子どもたちの生きる力を育む	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	豊かな人間性の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	教育相談の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	学校だけでは対応しきれない、不登校など生徒指導上の問題を抱える小・中学校において、課題解決に向けた校内体制の確立を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	-----------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 不登校やいじめなどの早期対応、早期解決のために積極的な支援を展開する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・生徒指導にあたっている教員との懇談に重点を置き、学校訪問を充実させる。 ・スクールソーシャルワーカーが参画した連携体制を充実させる。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 学校教育法、スクールソーシャルワーカー活用事業委託要項	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 小・中学生、教職員等

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金			千円				
道支出金	教育総務費委託金	スクールソーシャルワーカー活用事業委託金	千円	25	12	25	6	25
地方債			千円					
その他			千円					
一般財源			千円					
	合計			25	12	25	6	25

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 教育委員会から小・中学校に必要なに応じて、スクールソーシャルワーカーを派遣（2名）した。 ※本事業の実施に係る人件費 1,233千円（財源：道 909千円・市 324千円） ○中学生の指導にあたっている教員との懇談により、不登校小・中学生の現況確認や今後の対応等について情報交換が図られ、効果的な意見交換がなされた。 ○スクールソーシャルワーカーが参画した取組により、各学校が課題としていた関係機関との連絡調整等のパターン化が図られるようになり、効果的な支援を行うことができた。 ○ケース会議を通じてスクールソーシャルワーカー、学校、児童相談所等との連携を図り、それぞれの対応や役割について確認するとともに必要な支援ができた。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		学校訪問を実施した学校	校	13	13	13	13	13

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) スクールソーシャルワーカーの業務内容が教職員等にも広く認知され、積極的な活動へつながるように、次年度以降においても引き続き、学校に対する普及啓発に努める必要がある。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	スクールソーシャルワーカーと教員との懇談に加え、スクールカウンセラーや心の教室相談員との連携についても密にし、支援体制の普及や定着化を図ることで、不登校の小・中学生や家庭環境への効率的な働きかけが行われるよう取り組む。	目標 不登校やいじめなどの早期対応、早期解決のために積極的な支援を展開する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・中学生の指導にあたっている教員との懇談に重点を置き、学校訪問を充実させる。 ・スクールソーシャルワーカーが参画した連携体制を充実させる。
【3次評価】	総合		

事務事業名 児童生徒健康診断等経費

区分	No.	名称	部・グループ
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	教育委員会学校教育G
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	会計種別 一般会計
施策	1	子どもたちの生きる力を育む	開始年度 平成 ー 年度
基本的な方向	3	たくましく生きるための健康や体力づくり	終了年度 平成 ー 年度
主要な施策	1	健康や体力づくりの推進	事業区分 ソフト事業
			大型事業推進プラン 非登載事業

目的	学校保健安全法に基づき、小・中学生の健康の保持増進及び心身の調和的発達を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 小・中学生の健康状態の把握及び環境衛生調査の結果を踏まえて環境改善に努める。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・四肢の状態等の新たな法定健診項目を確実に実施する。 ・全小・中学校に配布した石原式色覚検査表Ⅱを用いて色覚検査を実施する。 ・平成28年度より開始する中学生のピロリ菌検査について、所管Gの健康推進Gと連携する。 ・環境衛生調査実施ごとに施設担当と連携して改善項目の今後の対応を検討する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 学校保健安全法	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 小・中学生

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	18,378	17,699	18,617	17,878	18,071
合計			18,378	17,699	18,617	17,878	18,071

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 小・中学生の健康状態の把握及び向上のため、健康診断やピロリ菌検査等を実施した。また、学校の衛生環境を保全するため、水道水の水質調査を行う環境衛生調査を実施した。 ・学校医協力のもと、内科検診において四肢の状態等の検査を実施した。 ・健康カードの「色まちがいをするところがある」にチェックを付けた小・中学生を対象に随時、色覚検査を実施した。 【受診者】小学校：184名、中学校：92名 ・ピロリ菌検査について、検査方法等の説明文書を配布し周知した。 【受診者】715名【受診率】93.8% ・環境衛生調査の結果を踏まえ、トイレの配管清掃や網戸の設置、除湿器加湿器の設置等学校の要望を受け、順次実施した。					
	指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	小・中学生の人数	人	3,607	3,547	3,534	3,424	3,314

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・色覚検査について、学校によって実施に差がでているので実施要領を作成し、明確にする必要があった。 ・尿検査、心臓検診等の結果が学校に届くのが遅かった。 ・尿検査において、予備回収日を復活させてほしいとの要望があった。 ・ピロリ菌検査は事前希望を取るが、提出の有無が確認しにくい様式であった。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・色覚検査において実施対象者など、実施の流れについて実施要領を作成し明確にする。 ・尿検査、心臓検診の結果送付について、関係機関を経由することになるので、検診実施日を確認し、随時関係機関と連絡を取る。 ・予備回収日について、関係機関の都合もあるので、復活について交渉もしくは他の方法を検討する。 ・ピロリ菌検査について、同意書を一部変更し、全員提出方式にすることで受診率向上につなげる。	小・中学生の健康状態の把握・保持・増進及び学校の衛生環境の保全に努める。
	【2次評価】	行政評価会議	・左記の今後の取組を実施する。 ・尿検査、ピロリ菌検査において、予備回収日がないので、1次検査、2次検査未受診の小・中学生についての対応を検討し、受診率の向上に努める。 ・就学時健康診断において、アレルギー調査の提出について保護者への周知徹底や、受診予定の子どもや当日の健診の進行等について学校と事前に情報交換をする。
【3次評価】	総合		

事務事業名 学校医等表彰経費

区分	No.	名称	部・グループ
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	教育委員会学校教育G
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	一般会計
施策	1	子どもたちの生きる力を育む	開始年度 昭和 56 年度
基本的な方向	3	たくましく生きるための健康や体力づくり	終了年度 平成 ー 年度
主要な施策	1	健康や体力づくりの推進	事業区分 ソフト事業
			大型事業推進プラン 非登載事業

目的	長年にわたり本市市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師として、小・中学生の健康の保持増進と保健教育の振興に貢献した者に対し、その功績を称えることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 表彰対象年度、対象者の漏れがないか入念に確認する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・委任年度一覧等で対象者を確認する。 ・4月に健千窯へ記念品の作成依頼をする。 ・12月開催の定例教育委員会での議決後、表彰状等の準備に取りかかる。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市立学校学校医等表彰規程	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		26	20	103	102	36
合計				26	20	103	102	36

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 小・中学生の健康の保持増進と保健教育の振興に貢献した学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に対し、その功績を称え表彰した。 【表彰区分】10年以上、20年以上、30年以上 【表彰実績】 ・10年表彰対象者 0名 ・20年表彰対象者 1名 ・30年表彰対象者 3名						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		表彰者数	人	4	6	2	4	3

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 他部署との併任により、内部資料の把握内容と一致しないケースがあった。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	年度始めに、関係部署などに学校医等表彰以外で予定されている表彰等がないか事前に確認する。	目標 表彰対象者の漏れがないよう確認及びその他の表彰について事前に調べる。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・左記の今後の取組を実施する。 ・表彰対象者に対して、表彰受賞の可否を確認する。(辞退を申し出る先生もいるため)
【3次評価】	総合		

事務事業名 第44回北海道中学校柔道大会事業補助金

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成28年度
施策	1	子どもたちの生きる力を育む	終了年度	平成28年度
基本的な方向	3	たくましく生きるための健康や体力づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	健康や体力づくりの推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	平成28年度において、北海道中学校柔道大会が登別市で開催されることから、当該大会の実施を支援することを目的とする。	前回評価
----	---	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 当該大会の開催地として、標記事業実施に係る費用を一部補助することで大会実施の支援をする。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・当該大会実行委員長からの補助金の交付申請に基づき、事業の実施内容を確認し、補助金を交付する。 ・当該大会が終了次第、事業報告及び収支決算書を審査し、標記事業が適正に執行されたか確認する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市補助金等の事務取扱に関する規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 北海道中学校柔道大会実行委員会

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円			300	300	
合計			0	0	300	300	0

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 開催地である登別市が、標記事業実施に係る費用の一部を補助する。 【大会概要】 開催日：平成28年7月30日(土)～7月31日(日) 会場：日本工学院北海道専門学校総合体育館 主催：北海道中学校体育連盟、北海道教育委員会、登別市教育委員会、(一社)北海道柔道連盟 主管：西胆振中学校体育連盟、登別柔道連盟 【補助金使用内訳】 ・報償費 ・需用費 ・役務費 ・賃借料、使用料 ・旅費						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		参加チーム	チーム				35	
	参加人数	人				256		

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 道内中学校における柔道の振興を図り、全道大会を通して道内の中学校生徒の親睦と交流を深めることができた。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	【2次評価】	行政評価会議	
	【3次評価】	総合	
終了	平成28年度		目標
終了			計画

事務事業名	中学校体育連盟助成金
-------	------------

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	昭和 57 年度
施策	1	子どもたちの生きる力を育む	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	たくましく生きるための健康や体力づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	健康や体力づくりの推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	スポーツを通して中学生の心身の健康を増進するとともに、学校間の親睦と交流を深めることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市内中学校の体育活動振興のために必要な経費の一部を助成する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・登別市中学校体育連盟からの助成金の交付申請に基づき、事業計画等を確認し、助成金を交付する。 ・事業終了後、事業報告及び収支決算書を審査し、標記事業が適正に執行されたか確認する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市補助金等の事務取扱に関する規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別市中学校体育連盟

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
合計				1,400	1,400	1,400	1,400	1,400

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 市内中学校の体育活動振興のために活動する中学校体育連盟に対し、その活動に必要な経費の一部を助成した。 【登別市中学校体育連盟の事業実績】 ・体育大会の開催（春季・秋季） ・理事会及び専門委員会の開催（計2回） ・西胆振及び胆振中体連大会への参加等 【助成金使用内訳】 ・西胆振中体連負担金 ・全道全国遠征費						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		クラブ活動数（各校累計）	種類	38	41	39	42	37
		クラブ活動加入者数	人	858	878	852	927	915

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 各中学校への遠征費の配分方法が分かりにくく確認に時間を要したため、事業報告の際、明瞭な資料の添付を指導する必要がある。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ 事業報告及び収支決算書提出の際に、より明瞭な資料の添付を指導する。	今後の目標・計画【Plan】 目標 市内中学校の体育活動振興のために必要な経費の一部を助成する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・左記の今後の取組を実施する。 ・登別市中学校体育連盟からの助成金の交付申請に基づき、事業計画書を確認し、助成金を交付する。 ・事業終了後、事業報告及び収支決算書を審査し、標記事業が適正に執行されたか確認する。
	【3次評価】	総合	

継続

継続

事務事業名 子ども健康・体力改善事業

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 26 年度
施策	1	子どもたちの生きる力を育む	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	たくましく生きるための健康や体力づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	健康や体力づくりの推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市内小学校にスポーツ指導員を派遣し、運動指導や教員の補助等を行うことにより、子どもたちの健康増進と運動能力の向上を図ることを目的とする。	前回評価	改善
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 子どもたちの健康増進と運動能力の向上を図るため、全小学校へスポーツ指導員を派遣する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・特定非営利活動法人おにスポへスポーツ指導員の派遣を委託する。 ・毎年行われる全国体力運動能力調査の結果を踏まえ、指導の内容等を検討するとともに、運動が苦手な子どもたちも楽しく運動できるような全校共通の取組を進める。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市内小学生

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算	
	国庫支出金	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金		千円	5,939	5,938			
道支出金			千円						
地方債			千円						
その他			千円						
一般財源			千円			5,938	5,938	5,525	
合計					5,939	5,938	5,938	5,938	5,525

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 特定非営利活動法人おにスポへの委託により、全小学校の体育授業等にスポーツ指導員を派遣し、教員と連携した運動指導や教員の補助等を実施した。 また、これまでの派遣実績を踏まえ、平成29年度から派遣時間数の見直しを行った。						
	指標		単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	指導員派遣時間数(8校累計)		時間	-	-	3,529	3,638	3,200
全国体力能力運動調査(小学生)20mシャトルランのT得点(全国平均)		点	-	-	48.6	47.9	50.0	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・学校行事や学校閉鎖等により学校や学級間でスポーツ指導員の派遣時間に差が生じた。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	スポーツ指導員の1校あたりの派遣時間数を精査する。	目標 子どもたちの健康増進と運動能力の向上を図るため、全小学校へスポーツ指導員を派遣する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・特定非営利活動法人おにスポへスポーツ指導員の派遣を委託する。 ・毎年行われる全国体力運動能力調査の結果を踏まえ、指導の内容等を検討するとともに、運動が苦手な子どもたちも楽しく運動できるような全校共通の取組を進める。 ・スポーツ指導員の1校あたりの派遣時間数を精査する。
改善	これまでの実績や課題を整理・分析するとともに、事業のあり方について検討すること。		
【3次評価】	総合		

事務事業名 学校給食センター改修工事

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会給食センター
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	学校給食事業特別会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 21 年度
施策	1	子どもたちの生きる力を育む	終了年度	平成 30 年度
基本的な方向	3	たくましく生きるための健康や体力づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	食育の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	老朽化した施設・設備の補修を計画的に行い、施設及び設備の延命措置を図ることにより安全・安心で衛生的な給食の提供を行うことを目的とする。	前回評価
----	---	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 安全安心な学校給食を提供するため、年次的に施設の改修や調理機器等を更新し衛生管理等の徹底を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 学校給食施設内の耐用年数を経過した機器類や劣化の著しい箇所を補修繕することにより、施設・整備及び機器類の延命措置を図るとともに安全安心な給食を安定的に提供する。 ・蒸気式釜かくはん装置部分の交換（5機）を実施	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 学校給食法、食品衛生法、労働安全衛生法、ボイラー及び圧力容器安全規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 学校給食センター

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		0	0	4,050	4,050	0
	合計			0	0	4,050	4,050	0

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 平成20年度に作成した給食センター運営方針に則り、計画期間である平成30年度までの間、必要最低限の修理・修繕を実施することにより、施設設備の延命措置を図り、安全・安心で衛生的な給食の提供を行う。 ・蒸気式釜かくはん装置部分の交換（5機）を実施						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		給食提供数	食	826,334	814,446	810,170	784,078	780,000

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 今回の改修は機器類の更新は行わず、部品（蒸気式釜かくはん装置）の交換なので機器類の本体等の問題点が解消されていない。このことから今後も、施設・整備及びその他機器類の改修・修繕等を実施していく必要がある。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	平成20年度に計画した運営方針のうち、施設の運営上必要最低限の修理・修繕等を行うこととし、衛生面や安全面等を考慮しながら施設・整備の修繕等を行う。	目標 安全安心な学校給食を提供するため、年次的に施設の改修や調理機器等を更新し衛生管理等の徹底を図る。 計画 現施設については、老朽化が著しいほか、現在の学校給食衛生管理基準にも適合していないため早急な更新が必要である。 新施設建設までの間、施設・設備を必要最低限の修及び修繕を実施し、安全安心かつ安定的に給食を提供する。 また、新施設の更新時期を考慮し、厨房機器等の更新を実施する。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 栄養士・栄養教諭との連携

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	子どもたちの生きる力を育む	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	たくましく生きるための健康や体力づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	食育の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	子どもたちの生きる力を育み、たくましく生きるための健康や体力づくりに資することを目的とする。	前回評価	
----	--	------	--

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 子どもの食生活の充実、食に関する知識・技能の向上を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・日常の給食担当を中心とした指導の充実 ・担任とティーム・ティーチング（TT）授業における直接指導	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 学校給食法	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 小・中学生

Plan Do 事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
	道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源		千円	0	0	0	0	0
合計				0	0	0	0	

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 栄養教諭による「食に関する指導」「食育」の充実の具体を進めた。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・子どもの向学的変容等の指導内容の検証 ・授業回数の確保
-----------------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ 各校、各学年における指導計画の整備、確実な位置付けを行う。	今後の目標・計画【Plan】 目標 ・小学校での授業の充実を図る。 ・中学校での授業実施を検討する。 計画 ・小学校への派遣回数の増加。 ・中学校のニーズの把握、関わり方を具体化。
	【2次評価】	行政評価会議	
	【3次評価】	総合	

継続

継続

事務事業名 外国青年招致事業

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 2 年度
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	特色ある教育活動の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	時代の変化に伴う教育課題への対応	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	英語を使ったコミュニケーション能力の育成により、国際化社会で活躍することができる人材を育てること を目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) ネイティブスピーカーの話す英語や海外文化に触れる機会を増やし、国際交流や国際理解に興味を持ってもらう	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・各小中学校に外国語指導助手（以下、ALT）を週1回以上派遣する。 ・ALTによる外国文化の紹介を行う。 ・ALTを活用し、市民を対象とした英語に触れる機会を設ける。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 学校教育法、招致外国青年任用規則、語学指導等を行う外国青年招致事業実施要綱、語学指導等を行う外国青年招致事業募集要項	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 小・中学生、市民

事業費（財源内訳） Plan ↓ Do	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	19,566	18,675	18,910	17,369	18,659
	合計		19,566	18,675	18,910	17,369	18,659

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 小学校での外国語活動や中学校での英語指導において、ALTを各学校に週1回以上派遣し、英語を使用したコミュニケーション能力の育成や、地域における国際交流の推進を図った。 【配置人数】4名（小学校2名、中学校2名） 【学校派遣回数】小学校での外国語活動（計358日）、中学校での英語指導（計353日） ○授業以外での活動 ・学校図書館において、ALTによる本の読み聞かせを実施 ・クラブ活動、部活動への参加 ・スピーチコンテストの練習や英語検定の面接対策における講師 ○校外活動…市民対象の英会話教室（18回）、通学合宿へのボランティア参加、国際理解講座の講師						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		授業実施日数	日	391	390	375	358	390

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・英語授業や外国語活動以外で、ALTを活用する機会をより検討する余地があった。
-----------------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ 平成32年度からの新学習指導要領の全面実施に向けて、小学校外国語教育の更なる拡充強化を図る。 児童生徒、市民が英語に触れられる機会を設定し、グローバル化に対応した人材の育成に努める。	今後の目標・計画【Plan】 目標 ネイティブスピーカーの話す英語や海外文化に触れる機会を増やし、国際交流や国際理解に興味を持ってもらう
	継続	行政評価会議	計画 ・各小中学校に外国語指導助手（以下、ALT）を週1回以上派遣する。 ・学校において、ALTの英語及び外国語活動の授業以外での活用を促進する。 ・ALTによる外国文化の紹介を行う。 ・ALTを活用し、市民を対象とした英語に触れる機会を設ける。
	【2次評価】	総合	
【3次評価】			

事務事業名 学校図書システム広域化事業

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 23 年度
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	特色ある教育活動の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	時代の変化に伴う教育課題への対応	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 「定住自立圏形成協定に基づく連携事業」として、学校図書システムを共同利用することにより、更新費用等の縮減とセキュリティの強化及び運用の効率化・安定化を図ることを目的とする。

前回評価 維持

P l a n 概 要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 学校図書システムを室蘭市と共同利用し、運用費用等の縮減運用、運用の効率化・安定化を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・室蘭市と共同で学校図書システムを利用する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 小・中学生

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	1,851	780	252	248	260
	合計		1,851	780	252	248	260

D o c u m e n t 事 務 事 業 の 成 果 ・ 改 善 の 状 況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・登別市と室蘭市で共同開発を行った学校図書システムを運用し、これに要する費用を室蘭市へ負担金として支出した。 ※当該システムは、学校図書館の蔵書管理用システムとして開発しているため、利用者は両市の小・中学生となる。市立図書館のシステムとは非連携。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		システムの稼働実績日数	日	365	365	366	365	365
		システムダウンの回数	回	0	0	0	0	0

C
h
e
c
k 課題等の状況

平成28年度

(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
・運用費用の95%を人口按分、残り5%を均等割りして負担金を支払っているが、室蘭市の人口減少が大きいため、負担金の増額が見込まれる。

評 価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ ・更新費用の縮減、セキュリティ強化、運用の効率化・安定化を図るため、共同運用を継続する。	今後の目標・計画【Plan】 目標 学校図書システムを室蘭市と共同利用し、運用費用等の縮減運用、運用の効率化・安定化を図る。
	継続	行政評価会議	計画 ・左記の今後の取組を実施する。 ・室蘭市と共同で学校図書システムを利用する。
	【2次評価】	継続	【3次評価】
		総合	

事務事業名 情報教育システム広域化事業

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 23 年度
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	特色ある教育活動の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	時代の変化に伴う教育課題への対応	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	「定住自立圏形成協定に基づく連携事業」として教育情報センター機能を室蘭市に移転・集約し、システムの管理及び運用についての共同化を事業化することにより、運用・更新経費の縮減やセキュリティの強化及びシステム運用の効率化・安定化を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 情報教育システムを室蘭市、壮瞥町と共同利用し、運用費用等の縮減、運用の効率化、安定化を図る。		
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・室蘭市、壮瞥町と共同で情報教育システムを利用する。		
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 小・中学生、教職員

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		7,619	7,619	7,386	7,539	6,395
	合計			7,619	7,619	7,386	7,539	6,395

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 室蘭市、壮瞥町と共同開発を行った情報教育システムを運用し、これに要する費用を室蘭市へ負担金として支出した。 ※当該システムは、WEB、メール、プロキシ、ファイル等のサーバを統合し、2市1町で共同利用しており、サーバの管理及び運用は室蘭市で実施している。室蘭市にヘルプデスクを開設し、ITの専門知識を有する選任の嘱託員が、各小中学校からの照会や不具合対応に係る業務を行った。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		システムの稼働実績日数	日	365	365	366	365	365
		システムダウンの回数	回	0	0	0	0	0

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・運用費用の95%を人口按分、残り5%を均等割りして負担金を支払っているが、室蘭市の人口減少が大きいため、負担金の増額が見込まれる。 ・運用及び管理をおこなっている室蘭市が行っているが、機器の更新予定等について情報共有できていない部分がある。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・更新費用の縮減、セキュリティ強化、運用の効率化・安定化を図るため、共同運用を継続する。(平成29年度より伊達市も共同利用開始) ・運用及び管理を行っている室蘭市と連絡を密にとり情報共有するように努める。	目標 情報教育システムを室蘭市、伊達市、壮瞥町と共同利用し、運用費用等の縮減、運用の効率化、安定化を図る。 計画 ・左記の今後の取組を実施する。 ・室蘭市、伊達市、壮瞥町と共同で情報教育システムを利用する。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	継続	総合	

事務事業名 特色ある学校づくり推進経費

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 15 年度
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	1	特色ある教育活動の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	総合的な学習の時間の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	総合的な学習の時間や生活科等を通して、各学校の特色ある学校づくりを推進し、地域の特性を活かした特色ある教育を行うことにより、豊かな人間性を育むとともに、地域への愛着を育てることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 各小中学校において、地域の特色を生かした体験的な活動をし、小・中学生の主体的な判断力や探究心を引き出す。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・地元登別の観光や自然について理解するため、温泉入浴体験を実施する。 ・動物や植物を育て、小学生が生き物に触れる機会をつくる。 ・地域の伝統文化や産業について詳しく知る見学学習を実施する。 ・福祉についての理解を深めるため、障がいのある方々との交流や体験学習を実施する。 ・進路選択や働くことと学ぶことの関連について考えるため、中学生の職場体験を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 小学校・中学校学習指導要領	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 小・中学生

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他	ふるさとまちづくり応援基金積立金繰入金	千円		2,684	2,684	1,487	1,487	1,487
一般財源		千円		2,142	1,234	3,728	2,801	3,893
	合計			4,826	3,918	5,215	4,288	5,380

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 総合的な学習の時間や生活科等を通して、次のとおり各学校の特色ある学校づくりを推進した。 ・登別温泉地区の旅館やホテルで温泉入浴の体験を行い、観光ボランティアガイドの案内で、地獄谷や施設等の見学を実施した。(各小学校3年生) ・動物の飼育や学校菜園を実施した(各小学校1・2年生) 【内容】花いっぱい運動一年草購入(8校43ケース) ・地域の歴史や環境、産業を理解する見学活動を実施した(小学校) 【行先】アイヌ民族博物館、郷土資料館、新日鐵住金室蘭製鉄所 等 ・地域人材を活用した講演、体験学習を実施した(小学校) 【内容】車いす体験、手話体験、点字学習 等 ・職場体験・上級学校訪問を行った(中学校) 【行先】登別温泉、病院、大学、専門学校 等						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		市内小中学校数	校	13	13	13	13	13
	登別温泉入浴体験者数	人	378	367	411	383	383	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 見学学習先や体験学習の内容は各学校の実状や環境変化に応じて、常に見直していく必要がある。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ 産業や自然など地域の素材を活用した体験、交流を通じて、小・中学生の自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく課題を解決する資質や能力の育成を図っていくため、随時内容を検討しながら実施する。	今後の目標・計画【Plan】 目標 各小中学校において、地域の特色を生かした体験的な活動をし、小・中学生の主体的な判断力や探究心を引き出す。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・地元登別の観光や自然について理解するため、温泉入浴体験を実施する。 ・動物や植物を育て、小学生が生き物に触れる機会をつくる。 ・地域の伝統文化や産業について詳しく知る見学学習を実施する。 ・福祉についての理解を深めるため、障がいのある方々との交流や体験学習を実施する。 ・進路選択や働くことと学ぶことの関連について考えるため、中学生の職場体験を行う。
	【3次評価】	総合	

事務事業名 特別活動推進経費（小学校）

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 14 年度
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	特色ある教育活動の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	体験活動の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	集団活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成を助長することを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 特別活動を通して、望ましい人間関係を形成し、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 特別活動に必要な物品等の購入に係る予算を各小学校へ配分する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 小学校学習指導要領	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 小学生

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		248	199	389	386	240
合計				248	199	389	386	240

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 各学校の特色や小学生の発達段階などを踏まえ、自主的・実践的な活動（特別活動）に必要な物品を購入した。 【事業実績】 ・小学校における特別活動 学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		児童数	人	2,246	2,402	2,389	2,239	2,510

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 小学生一人ひとりが、その学年や発達段階に応じた向上を目指すことから、一貫して活動を助長し続けていく必要がある。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ 特別活動は、文部科学省が告示する教育課程の基準である「小学校学習指導要領（第6章特別活動）」で実施が定められているため、今後もその活動を助長していく。	今後の目標・計画【Plan】 目標 特別活動を通して、望ましい人間関係を形成し、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
	継続	行政評価会議	計画 ・特別活動に必要な物品等の購入に係る予算を各小学校へ配分する。
	【2次評価】	総合	
【3次評価】			

事務事業名 特別活動推進経費（中学校）

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 14 年度
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	特色ある教育活動の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	体験活動の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	集团活動を通して、集团の一員としての自覚を深め、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成を助長することを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 特別活動を通して、望ましい人間関係を形成し、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 特別活動に必要な物品等の購入に係る予算を各中学校へ配分する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 中学校学習指導要領	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 中学生

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		2,830	2,751	3,220	2,968	2,820
	合計			2,830	2,751	3,220	2,968	2,820

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 各学校の特色や中学生の発達段階などを踏まえ、自主的・実践的な活動（特別活動）に必要な物品の購入をした。 【事業実績】 ・中学校における特別活動 学級活動、生徒会活動、部活動、学校行事						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		生徒数	人	1,161	1,145	1,140	1,185	1,295

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 中学生一人ひとりが、その学年や発達段階に応じた向上を目指すことから、一貫して活動を助長し続けていく必要がある。
-----------------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ 特別活動は、文部科学省が告示する教育課程の基準である「中学校学習指導要領（第5章特別活動）」で実施が定められているため、今後もその活動を助長していく。	今後の目標・計画【Plan】 目標 特別活動を通して、望ましい人間関係を形成し、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
	継続	行政評価会議	計画 ・特別活動に必要な物品等の購入に係る予算を各中学校へ配分する。
	【2次評価】	総合	
【3次評価】			

事務事業名 自然体験学習推進経費

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 14 年度
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	特色ある教育活動の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	体験活動の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	地域の特性を生かした自然体験学習を推進することにより、小・中学生の自然を大切にすると、社会性・自主性を育むことを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 登別周辺の自然に親しみながら、集団行動の大切さを理解する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・宿泊研修（小学校5年生）、炊事遠足（中学校1年生）の実施希望を調査する。 ・6～9月間で、各学校の実施日を設定する。 ・実施場所（ネイチャーセンター）までのバスを手配する ・役割分担、目標設定等の事前準備を通して小・中学生の自主性、協調性を育てる。 ・事業実施後、小・中学生が体験・活動を通して学んだこと、感じたことを振り返る機会を設ける、	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 学校教育法	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 小学5年生・中学1年生

事業費（財源内訳）	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	1,179	1,100	1,433	1,302	1,365
合計			1,179	1,100	1,433	1,302	1,365

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ネイチャーセンターまでのバスの借上げを行い、宿泊研修や炊事遠足などの自然体験学習を行った。 【対象学年等】 宿泊学習：小学校5年生（参加数8校365名） 炊事遠足：中学校1年生（参加数2校215名） 【内容】 宿泊学習（1泊2日）：ものづくり体験、川遊び、周辺散策、鉱石探し、屋外調理実習、ナイトハイキング 等 炊事遠足（日帰り）：ものづくり体験、周辺散策、屋外調理学習 等 ・上学年で実施される修学旅行等につながる体験活動や、集団行動の基礎的な計画や行動力を養うことができた。 ・校内学習では体験できない直に自然に触れる経験ができ、登別の自然に対する理解や愛着心を育むことができた。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		体験学習実施回数（日帰り）	回	2	2	2	2	5
	体験学習実施回数（宿泊）	回	7	8	8	8	8	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 平成26年4月より、貸切バスの運賃・料金制度が変更されたため、借上げバスの使用料が高騰している。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ 校内学習では学ぶことができない体験ができる貴重な機会であることから、可能な限り市バス等を使用し、今後も地域の特性を活かした取組を行う。	今後の目標・計画【Plan】 目標 登別周辺の自然に親しみながら、集団行動の大切さを理解する。 計画 ・各小・中学校の実施伊棒を調査し、実施日を設定する。 ・実施場所（ネイチャーセンター）までのバスを手配する。 ・役割分担、目標設定等の事前準備を通じて小・中学生の自主性、協調性を育てる。 ・事業実施後、小・中学生が体験・活動を通じて学んだこと、感じたことを振り返る機会を設ける。
	継続	行政評価会議	
	【2次評価】	総合	
【3次評価】	継続		

事務事業名 小中学校情報教育推進事業費

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 12 年度
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	特色ある教育活動の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	情報通信機器の効果的な活用	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	パソコン等の情報通信機器を小中学校等に配置し、授業・校務等において積極的に活用することにより、情報化社会の中で、様々な情報を主体的に選択・活用することができる能力を育むことを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 小・中学生の情報活用能力の育成及び情報モラルの定着を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) <小学校> ・「コンピュータの基本的な操作を身につけさせる。 ・「情報手段を適切に活用できるようにするための学習活動」を行う。 ・「情報モラル」を理解させる。 <中学校> ・「情報手段を適切かつ主体的、積極的に活用できるようにするための活動」を行う。 ・「情報モラル」を理解させる。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 学校教育法、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 小・中学生、教職員

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	37,164	36,952	32,494	32,428	35,332
合計			37,164	36,952	32,494	32,428	35,332

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) パソコン等の情報通信機器を小中学校等に配置し、授業・校務等において積極的に活用した。 <小学校> ・国語科のローマ字の学習との関連で、コンピュータのキーボードを使ってローマ字入力・電子ファイルの保存・整理について身につけた。 ・社会科や理科では、インターネットを活用した調べ学習で情報収集の仕方を身につけた。 ・総合的な学習では、文字入力の実践やインターネットを使用し情報収集し、プレゼンテーションソフトを活用し調べたものをまとめ、発表する力を身につけた。 ・情報モラルについては、メール文作成等の実践を通しながら道徳と関連付け、ネットワーク上のルールやマナーを守ることの意味などを理解させた。 <中学校> ・小学校段階で身につけた基本的な操作に関する知識を深め、インターネットを活用し集めた情報から必要な情報を選び、パワーポイントやワード、エクセルの活を活用しまとめる力を身につけた。 ・情報モラルについては、ネットワーク上のルールやマナーを守ること、危険の回避、人権侵害の防止等について理解させた。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		小学校パソコン台数※1校あたり25台	台	200	200	200	200	200
	中学校パソコン台数※1校あたり41台(平成26年度分から緑陽中学校のみ42台)	台	205	206	206	206	206	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点を記入してください) ・今後、次期学習指導要領の改訂に伴い、プログラミング教育の視点や小学校算数科での統計教育の充実、中学校数学科での統計に関する内容の充実により、データを扱う機会が予測される。 ・現在小中学校に配置しているパソコンはWindows 7搭載であり、サポート期間が平成32年1月14日に修了することからWindows10搭載パソコンへ移行させる必要がある。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】 小・中学生の情報活用能力の育成及び情報モラルの定着を図る。
	継続	・登別市情報教育推進協議会を開催し、授業でのパソコンの利用状況を確認し、必要に応じて各校利用状況に差がでないよう情報教育担当者向けの研修を行い、小・中学生がパソコン等の情報通信技術(IT)に触れる機会を確保する。 ・Windows 7サポート期間終了までにパソコンの更新を行う。	・左記の今後の取組を実施する。 <小学校> ・「コンピュータの基本的な操作」を身に付けさせる。 ・「情報手段を適切に活用できるようにするための学習活動」を行う。 ・「情報モラル」を理解させる。 <中学校> ・「情報手段を適切かつ主体的、積極的に活用できるようにするための活動」を行う。 ・「情報モラル」を理解させる。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 **コミュニティスクール活動支援事業費**

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 15 年度
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	開かれた学校づくりの推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	地域・家庭との連携促進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	学校・保護者・地域が一体となった「コミュニティスクール」の活動を支援・推進することにより、三者の意見が反映される「地域と共にある学校づくり」を実現することを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	-----------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 小中学校において学校運営協議会及び放課後学習サポート（学習指導）を実施し、小・中学生の学力向上、地域の教育力・活力向上につなげる。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・全小中学校において、学校運営協議会を実施する。 ・小学校において放課後学習サポート、中学校において放課後学習指導を実施する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律、登別市立学校運営協議会設置要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 小・中学生、市民

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算	
	国庫支出金		千円						
道支出金		千円							
地方債		千円							
その他		千円							
一般財源		千円		1,155	729	1,165	641	1,150	
合計					1,155	729	1,165	641	1,150

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 全小中学校にコミュニティスクールを設置し、町内会や社会福祉関係者、PTA役員等を委員に任命し、各校で学校運営に係る会議を開催した。また、放課後の時間を活用し、小学校では地域住民による学習サポート、中学校では退職教員による学習指導を実施した。 【学校運営協議会】 委員数：全小中学校 109人 会議開催数：全小中学校 42回 【放課後学習サポート】 講師数：小学校8校 91名 実施回数：小学校8校 91回 【放課後学習指導】 講師数：中学校2校 4人 指導回数：中学校2校 72回				
	指標					
	評議員会（運営協議会）委員数	人	-	103	105	109
評議員会（運営協議会）開催回数	回	-	36	42	42	42

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・各学校で作っているコミュニティスクール通信などを通して、コミュニティスクールの活動内容を全市的に周知すべきであった。 ・各学校からの学校運営協議会実施報告書の提出時期に差があったので、実施後は速やかに提出するよう指導すべきだった。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ ・コミュニティスクール通信を市役所や市立図書館、市民会館等に設置することでコミュニティスクールの活動を周知する。 ・各小中学校の学校運営協議会の実施時期を把握する。	今後の目標・計画【Plan】 目標 小中学校において学校運営協議会及び放課後学習サポート（学習指導）を実施し、小・中学生の学力向上、地域の教育力・活力向上につなげる。 計画 ・左記の今後の取組を実施する。 ・全小中学校において、学校運営協議会を実施する。 ・小学校において放課後学習サポート、中学校において放課後学習指導を実施する。
	【2次評価】	行政評価会議	
	【3次評価】	総合	

継続

継続

事務事業名	P T A 連 合 会 助 成 金
-------	-------------------

区 分	No.	名 称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	昭和 62 年度
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	開かれた学校づくりの推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	地域・家庭との連携促進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	研修活動や単位P T A の連携協力等の事業を行う登別市P T A 連合会を支援することにより、子どもたちの豊かな人間性を育むことを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

P l a n 概 要	目 標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 子どもたちの豊かな人間性を育むため、登別市P T A 連合会の活動を支援する。	
	計 画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・登別市P T A 連合会からの交付申請に対し、内容の精査を行い、助成金を交付する。 ・同団体からの実績報告に基づき、助成金が目的に沿って活用されているかを精査し、助成額を確定する。	
	根 拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市補助金等の事務取扱に関する規則	対 象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別市P T A 連合会

P l a n ↓ D o 事 業 費 (財 源 内 訳)	名 称	単 位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	千円					
	道支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円	300	300	300	300	300
合 計			300	300	300	300	300

D o 事 務 事 業 の 成 果 ・ 改 善 の 状 況	平 成 2 8 年 度	(実績を簡潔に記入してください) 市内の小中学校及び高校のP T A で構成される登別市P T A 連合会に対し、その活動に要する経費の一部を助成した。 【事業内容】 研究大会、教育懇話会・交流会、母親研修会の開催、広報紙の発行等						
		指 標	単 位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		研修会等開催回数	回	5	2	4	4	4

C h e c k 課 題 等 の 状 況	平 成 2 8 年 度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・本助成金に係る交付要綱がないため、助成の対象事項が明確でないほか、事務決裁等に時間を要していた。
---	----------------------------	---

評 価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・交付要綱を策定する。	目 標 子どもたちの豊かな人間性を育むため、登別市P T A 連合会の活動を支援する。
	【2次評価】	行政評価会議	計 画 ・登別市P T A 連合会からの交付申請に対し、内容の精査を行い、助成金を交付する。 ・同団体からの実績報告に基づき、助成金が目的に沿って活用されているかを精査し、助成額を確定する。 ・事務の負担軽減と、より適切な助成金の交付を図るため、登別市P T A 連合会助成金の交付要綱を策定する。
【3次評価】	総 合		

事務事業名 教職員住宅整備事業

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会総務G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 21 年度
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	教育環境の充実	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	学校の適正規模等	大型事業推進プラン	登載事業

目的	教職員住宅の環境改善を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	------------------------	------	----

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 老朽化が著しい、教職員住宅の改修を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 学校教育法	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市内教職員住宅

Plan ↓ Do 事業費(財源内訳)	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	千円					
	道支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円					
合計			0	0	0	0	0

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 老朽化が著しい教職員住宅等の整備が必要であり、順次準備を進める。					
	指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	対象教職員住宅	棟	0	0	0	0	0

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・屋根材の劣化や外壁塗装の割れ、剥がれにより、構造躯体に悪影響を与えている。
	評価	

継続	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	【2次評価】	行政評価会議	目標 計画的に教員住宅の環境改善を図る。
	【3次評価】	総合	計画 ・平成30年度 新生教職員住宅K55（鉄筋コンクリート造、4階建24戸）の屋根、外壁の改修及び塗装工事及び玄関引き戸の取替を行う。 ・平成31年度・平成32年度 物置改修工事

事務事業名 小中学校校舎改修事業

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会総務G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 19 年度
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	教育環境の充実	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	学校の適正規模等	大型事業推進プラン	登載事業

目的	児童生徒等が安心して学校生活を送ることが出来るよう、教育環境の改善を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 老朽化が著しい、小中学校の改修を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・老朽化した地下タンクについて、腐食防止措置としてFRP内部コーティング改修工事を実施する。 ・老朽化した給食リフトの改修工事を実施する。 ・老朽化した給水ポンプの改修工事を実施する。 ・便所和式便器を洋式便器等の改修工事を実施する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 学校教育法	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市内小中学校

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	学校施設環境改善交付金	千円			8,939	8,913	4,470
道支出金		千円						
地方債	学校教育施設等整備事業	千円		7,900	31,300	29,300	15,400	
その他		千円						
一般財源		千円		2,793	4,885	4,269	2,315	
合計				0	10,693	45,124	42,482	22,185

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 小中学校の校舎の老朽化に伴い校舎等の改修を行った。また、中学校便所の大便器を和式から洋式に改修した。 【平成28年度実施事業】 ・小中学校地下タンクFRPライニング工事（登別小、幌別中、鷺別中） ・小中学校給食リフト改修工事（幌別小、緑陽中） ・小中学校給水ポンプ改修工事（鷺別中、緑陽中） ・緑陽中学校便所洋式化工事実施設計委託 ・緑陽中学校便所洋式化工事					
	指標						
		単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	対象小中学校（校舎等改修）	校	1	3	2	5	2
	対象中学校（便所洋式化）	校	1	0	1	1	1

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 老朽化している施設を計画的に改修することにより、教育環境の改善及び向上を図る必要がある。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	公共施設整備方針を踏まえ、今後も児童生徒等が安全で安心な学校生活がおくれるよう、計画的に教育環境の整備を実施していく。	目標 児童生徒等が安心して学校生活を送ることが出来るよう、教育環境の改善を図る。 計画 老朽化箇所を確認し、計画的に改修工事を実施する。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 小学校周辺整備事業

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会総務G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 - 年度
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	3	教育環境の充実	事業区分	
主要な施策	1	学校の適正規模等	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	児童等が安心して学校生活を送ることができるよう、教育環境の改善を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 学校敷地内の老朽化した遊具の取替及び、雨水排水、グラウンドの暗梁排水等の整備を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 学校教育法	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 市内小学校

事業費 (財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
	道支出金		千円					
	地方債		千円					1,100
	その他		千円					
	一般財源		千円					473
合計				0	0	0	0	1,573

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 学校敷地内の老朽化した遊具の取替及び、雨水排水、グラウンドの暗梁排水等の整備が必要であり順次準備を進める。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		対象小学校	校	1	2	0	0	1

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 老朽化している施設を計画的に改修することにより、教育環境の改善及び向上を図る必要がある。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	公共施設整備方針を踏まえ、今後も児童生徒等が安全で安心な学校生活がおくれるよう、計画的に教育環境の整備を実施していく。	目標 児童等が安心して学校生活を送ることができるよう、教育環境の改善を図る。 計画 老朽化箇所を確認し、計画的に改修工事を行う。
	【2次評価】	行政評価会議	
継続	【3次評価】	総合	

事務事業名 中学校周辺整備事業

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会総務G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 4 年度
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	終了年度	平成 一 年度
基本的な方向	3	教育環境の充実	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	学校の適正規模等	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 生徒等が安心して学校生活を送ることが出来るよう、教育環境の改善を図ることを目的とする。

前回評価 維持

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 学校敷地内の雨水排水、グラウンドの暗梁排水等の整備を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 学校教育法	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 市内中学校

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円			9,100			
その他		千円						
一般財源		千円			3,104			
合計					0	12,204	0	0

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 中学校の学校敷地内の雨水排水、グラウンドの排水等、屋外教育環境の改善を行った。 【工事実績】 ・ 鷺別中学校グラウンドフェンス整備工事 ・ 緑陽中学校法面復旧工事						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		対象中学校	校	0	1	2	0	0

課題等の状況 平成28年度 (事務事業の実施における課題点等を記入してください)
老朽化している施設を計画的に改修することにより、教育環境の改善及び向上を図る必要がある。

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	公共施設整備方針を踏まえ、今後も児童生徒等が安全で安心な学校生活がおくれるよう、計画的に教育環境の整備を実施していく。	目標 生徒等が安心して学校生活を送ることが出来るよう、教育環境の改善を図る。 計画 老朽化箇所を確認し、計画的に改修工事を行う。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	継続	総合	

事務事業名 鷺別小学校改築事業

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会総務G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成24年度
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	終了年度	平成29年度
基本的な方向	3	教育環境の充実	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	学校の適正規模等	大型事業推進プラン	登載事業

目的	老朽化した学校施設を改築することにより教育環境の改善、地域コミュニティの場として活用できるよう整備を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 鷺別小学校校舎の改築工事（Ⅱ期）を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 国の補助制度（危険改築、不適格改築）を利用し、校舎の建替工事（Ⅱ期）を行う。 ・鷺別小学校校舎改築工事（Ⅱ期） ・鷺別小学校校舎改築工事監理委託（Ⅱ期）	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 学校教育法、建物等の耐震改修の促進に関する法律、地震防災対策特別措置法	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 鷺別小学校

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	学校施設環境改善交付金・公立学校整備費国庫負担金	千円		82,926	302,482	309,954	61,000
道支出金		千円						
地方債		千円		281,400	922,900	871,800	355,500	
その他		千円						
一般財源		千円		5,369	204,736	188,852	6,800	
合計					0,369,695	1,430,118	1,370,606	423,300

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 校舎は、耐震診断（2次診断）及び耐力度調査の結果、危険建物と判定され、屋内運動場については、耐震診断（2次診断）の結果、Is値0.19で耐震補強が困難な建物であると判定された。この結果を踏まえ、校舎と屋内運動場の全面改築を行うとともに、既設建物の解体及びグラウンド等の屋外環境の整備を行う。 ■具体的な耐震化の進め方 【改築】耐震診断（2次診断）又は耐力度調査→基本設計・現況測量・地質調査→実施設計→改築工事 【平成28年度実施事業】 ・鷺別小学校校舎改築工事（Ⅱ期） ・鷺別小学校校舎改築工事監理委託（Ⅱ期）				
	指標					
	実施設計進捗率	%		100	-	-
当該年度事業達成率	%		-	100	100	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 平成28年12月に校舎改築工事が完了し、平成29年4月より共用開始となった。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	終了	平成29年度に旧校舎解体工事及び、グラウンド整備・外構工事を実施する。	目標 平成30年1月事業完了予定である。
	平成29年度	行政評価会議	計画 平成29年度 ・鷺別小学校旧校舎解体工事 ・鷺別小学校グラウンド整備・外構工事
【2次評価】	終了	総合	
【3次評価】			

事務事業名 児童生徒遠距離通学費補助金

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	昭和 51 年度
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	教育環境の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	学校の適正規模等	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	遠隔地からバス通学する小・中学生の通学費を補助することにより、保護者の経済的負担の軽減を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 遠隔地からバスで通学する小・中学生の通学費を補助することにより、保護者の経済的負担を減らす。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 旧温泉中学校校区から登別中学校へ通学する中学生は毎月、その他の遠距離通学の小・中学生は3か月分ずつ4期にわたって、保護者へ通学費を補助する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 教育基本法（第4条）、学校教育法第19条、登別市就学援助事務処理運用基準	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) バス通学の小・中学生の保護者

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		2,265	2,091	2,400	2,113	2,603
	合計			2,265	2,091	2,400	2,113	2,603

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) バス通学の小・中学生の保護者に対して、通学に要する費用の一部を補助した。 【補助対象】 正規の交通機関があり、これを利用して通学する地域から通学する小・中学生で、3か月定期券代金の1か月所要額が小学生の場合2,700円、中学生の場合5,200円以上となる地域から通学する小・中学生、又は教育長が必要と認めた地域から通学する小・中学生に通学費の一部を補助した。 【補助実績】 小学校2校（4名）、中学校3校（74名）						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		助成人数	人	65	92	78	78	78

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 事業実施中に不断の事務改善に努めており、現在のところ特に課題となる状況はない。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ 事業の継続を図り、遠隔地から通学する小・中学生及び保護者の負担の軽減に努めていく。	今後の目標・計画【Plan】 目標 今後も、遠隔地からバスで通学する小・中学生の通学費を補助することにより、保護者の経済的負担を減らす。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・旧温泉中学校校区から登別温泉へ通学する中学生は毎月、その他の遠距離通学の小・中学生は3か月分ずつ4期に渡って通学費を補助する。
	【3次評価】	総合	

事務事業名 スクールバス・スクールタクシー運行事業

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 10 年度
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	教育環境の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	学校の適正規模等	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	遠隔地から通学する小・中学生にスクールバスを運行することにより、小・中学生の身体的負担及び保護者の経済的負担を軽減することを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 遠隔地から通学する小・中学生の安全の確保及び保護者の経済的負担を軽減し、事業の効率化を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・平成28年度よりスクールタクシーの運行が開始になるので、委託業者及び学校と事前に運行確認をする。 ・運行前に保護者、学校にスクールタクシーに貼るステッカーの配付をする。 ・スクールバスに乗車する小学1年生の乗降場所を確認し委託業者に連絡する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 小・中学生

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
	道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源		千円	19,045	19,044	12,587	12,029	12,425
合計				19,045	19,044	12,587	12,029	12,425

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 札幌市及び来馬町に居住する小・中学生を幌別小学校・幌別中学校へ送迎するスクールタクシーを運行し、カルルス地区、上登別地区、登別温泉地区・中登別地区に居住する小学生を登別小学校へ送迎するスクールバスを運行した。 【対象者】スクールタクシー：幌別小学校2名、幌別中学校2名、スクールバス：登別小学校32名 札幌路線をバスからタクシーへ変更し、登別路線に関しては、現状と同様に運行中。				
	指標					
	利用人数	人	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績
		47	37	33	36	36

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・スクールタクシーにおいて、運行予定に変更が生じた際の委託業者等への連絡方法について、事前に詳細な協議をするべきであった。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ 運行予定に変更が生じた際に、学校からそれぞれ委託業者、保護者への連絡を欠かさずに行うよう依頼する。	今後の目標・計画【Plan】 目標 遠隔地から通学する小・中学生の安全の確保及び保護者の経済的負担を軽減し、事業の効率化を図る。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・左記の今後の取組を実施する。 ・スクールバスに乗車する小学1年生の乗降場所を確認し、委託業者に連絡する。 ・スクールバス、スクールタクシーとともに、委託業者及び学校と事前に運行確認をする。
	【3次評価】	総合	

事務事業名 鷺別小学校建替事業費（学校備品等購入分）

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 26 年度
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	終了年度	平成 28 年度
基本的な方向	3	教育環境の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	学校の適正規模等	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	鷺別小学校改築事業の実施に併せて、充実した教育環境を整備するため校舎内の備品等を購入し、同時に災害時の避難所としての機能の確保、地域コミュニティの場として活用するための環境整備を図ることを目的とする。	前回評価
----	--	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 平成29年3月中に旧校舎から新校舎へ全ての機能を移転する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・新に更新が必要となった物品等の納入を校舎が竣工となる平成29年1月から平成29年3月の間で完了させる。 ・旧校舎から新校舎への移転作業について、春季休業中の平成29年3月25日から平成29年3月31日までに全て完了させる。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 学校教育法、建物等の耐震改修の促進に関する法律、地震防災対策特別措置法	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 鷺別小学校に在籍している小学生・教職員・地域住民等

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		0	0	32,265	23,454	0
	合計			0	0	32,265	23,454	0

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 校舎改築の進度に合わせて、新校舎で必要となる備品等の整備を行った。また、旧校舎から新校舎へ物品や設備等の移転を行った。なお、本事業において整備する備品等については、鷺別小学校改築事業において、建物の本工事及び付帯工事に含まない物品である。 ○放送室・音楽室の放送・音響設備を更新した。 ○小学生用机・椅子を420組更新した。 ○理科室・家庭科室の実験台・調理台を更新した。 ○各教室のカーテンを更新した。 ○保健室・図書室で使用する物品を更新した。 ○旧校舎から新校舎への物品や設備の移転が期間内に完了した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		数値化することがそぐわない事業						

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 今回、更新が出来なかった老朽化が進んでいる物品等の購入については、引き続き、更新時期等について協議が必要となる。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】	今後の目標・計画【Plan】
	終了	担当グループ	目標
	平成28年度	行政評価会議	計画
【2次評価】	終了	総合	
【3次評価】			

事務事業名 中学校耐震化改修事業

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会総務G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 21 年度
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	教育環境の充実	事業区分	ハード事業
主要な施策	2	児童生徒の安全確保	大型事業推進プラン	登載事業

目的	地震に対して倒壊等の危険性がある校舎等の耐震改修を行うことにより、安全・安心な教育環境を整備することを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 耐震診断（2次診断）の結果を踏まえて学校施設の耐震性を確保するため、実施設計を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 【平成28年度実施事業】 ・登別中学校校舎耐震改修工事実施設計委託	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 学校教育法、建物等の耐震改修の促進に関する法律、地震防災対策特別措置法	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市内中学校

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算	
	国庫支出金	学校施設環境改善交付金	千円						25,161
道支出金		千円							
地方債		千円				9,100	7,900	116,500	
その他		千円							
一般財源		千円				3,126	2,738	142	
合計					0	0	12,226	10,638	141,803

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 耐震診断（2次診断）の結果を踏まえ、地震に対して倒壊等の危険性があると推定される建物について、耐震補強や改築等により学校施設の耐震化を図ると共に、併せて施設の内外部の改修を実施する。 【平成28年度実施事業】 ・登別中学校校舎耐震改修工事実施設計委託						
	指標		単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	対象中学校（耐震改修）		校	0	1	0	0	1
対象中学校（実施設計）		校	1	0	0	1		

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 耐震化されていない学校施設を計画的に整備する必要がある。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	大型事業推進プランに基づき、計画的に耐震化事業を進める。	目標 地震に対して倒壊等の危険性がある校舎等の耐震改修を行うことにより、安全・安心な教育環境を整備する。 計画 平成31年度 実施設計 幌別中 平成32年度 耐震改修 幌別中
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 小学校耐震化改修事業

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会総務G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 22 年度
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	終了年度	平成 一 年度
基本的な方向	3	教育環境の充実	事業区分	ハード事業
主要な施策	2	児童生徒の安全確保	大型事業推進プラン	登載事業

目的	地震に対して倒壊等の危険性がある校舎等の耐震改修を行うことにより、安全・安心な教育環境を整備することを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 耐震診断（2次診断）の結果を踏まえて学校施設の耐震性を確保するため、改修工事を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 【平成28年度実施事業】 ・青葉小学校校舎耐震改修工事（Ⅱ期） ・青葉小学校校舎耐震改修工事監理委託（Ⅱ期） ・青葉小学校受水槽改修工事	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 学校教育法、建物等の耐震改修の促進に関する法律、地震防災対策特別措置法	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市内小学校

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	学校施設環境改善交付金	千円		48,720	32,254	30,390	
道支出金		千円						
地方債		千円		82,500	40,400	39,700	17,000	
その他		千円						
一般財源		千円		11,999	3,491	3,372	5,705	
合計					0 143,219	76,145	73,462	22,705

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 耐震診断（2次診断）の結果を踏まえて、耐震補強などにより学校施設の耐震化等を行う。 【平成28年度実施事業】 ・青葉小学校校舎耐震改修工事（Ⅱ期） ・青葉小学校校舎耐震改修工事監理委託（Ⅱ期） ・青葉小学校受水槽改修工事						
	指標		単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	対象小学校（耐震改修）	校	0	0	1	1	0	
対象小学校（実施設計）	校	0	1	0	0	2		

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 耐震化されていない学校施設を計画的に整備する必要がある。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	大型事業推進プランに基づき、計画的に耐震化事業を進める。	目標 地震に対して倒壊等の危険性がある校舎等の耐震改修を行うことにより、安全・安心な教育環境を整備する。 計画 平成29年度 実施設計 幌別西小、富岸小 平成30年度 実施設計 登別小 耐震改修 幌別西小（Ⅰ期）、富岸小 平成31年度 実施設計 幌別東小 耐震改修 幌別西小（Ⅱ期）、登別小 平成32年度 耐震改修 幌別東小
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 登別市特別支援教育振興協議会交流学習事業補助金

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 15 年度
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	教育環境の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	特別支援教育体制づくり	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	心身に障がいのある小・中学生の能力と個性を伸ばし、将来における社会人としての自立と社会参加を促すことを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 特別支援教育の指導内容の研究・交流学習に必要な経費の一部を補助した。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・登別市特別支援教育振興協議会からの補助金の申請に基づき、事業計画等を確認し、補助金を交付する。 ・事業終了後、事業報告及び収支決算書を審査し、標記事業が適正に執行されたか確認する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市補助金等の事務取扱に関する規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別市特別支援教育振興協議会

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	352	347	357	362	362
合計			352	347	357	362	362

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 特別支援教育指導内容の研究及び実践を進めている登別市特別支援教育振興協議会が実施する交流学習事業に対し補助金を交付した。 【事業実績】 ・小中学校特別支援学級も合同学習を通じた交流事業 ・全道研究集会への参加 ・地区研修交流会への参加 ・地区会報の発行 【補助金使用内訳】 ・交通費 ・学習費 ・研修費						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		交流学習実施回数	回	7	7	7	7	7

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 関係帳簿、領収書等の報告資料が分かりにくく、確認に時間を要したため、報告時により明瞭な資料の添付を指導すべきであった。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ 事業報告及び収支決算書提出の際に、より明瞭な資料の添付を指導する。	今後の目標・計画【Plan】 目標 特別支援教育の指導内容の研究・交流学習に必要な経費の一部を補助した。 計画 ・左記の今後の取組を実施する。 ・登別市特別支援教育振興協議会からの補助金の申請に基づき、事業計画等を確認し、補助金を交付する。 ・事業終了後、事業報告及び収支決算書を審査し、標記事業が適正に執行されたか確認する。
	【2次評価】	行政評価会議	
	【3次評価】	総合	

継続

継続

事務事業名 特別支援教育就学奨励費（小学校）

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	昭和 45 年度
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	教育環境の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	特別支援教育体制づくり	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	特別支援学級に就学する小学生の保護者の経済的負担を軽減することを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 特別支援学級に就学する小学生の保護者に一部経費を援助し、保護者の経済的負担を減らす。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 9月～10月頃に特別支援学級に就学する保護者より申請を受け、翌年2月頃に対象となった保護者へ支給を行う	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 教育基本法（第4条）、学校教育法第19条、登別市就学援助事務処理運用基準	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 特別支援学級に在籍している小学生の保護者

事業費（財源内訳） Plan ↓ Do	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	特別支援教育就学奨励費補助金	千円	561	561	479	479	956
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円	785	531	1,012	479	957	
合計				1,346	1,092	1,491	958	1,913

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 特別支援学級への就学に必要な経費の一部を援助した。 【補助事業内容】 学校給食費、通学に要する交通費（通学費）、交流及び共同学習に要する交通費、修学旅行費、校外活動等参加費、学用品等購入費、新入学児童生徒学用品費等						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		対象人数	人	31	32	34	30	30

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点を記入してください) 事業実施中に不断の事務改善に努めており、現在のところ特に課題となる状況はない。
-----------------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	今後も、特別支援学級に在籍している小学生の保護者に対して、適切な援助をし、保護者の経済的負担を減らす。	目標 今後も、特別支援学級に就学する小学生の保護者に一部経費を援助し、保護者の経済的負担を減らす。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・9月～10月頃に特別支援学級に就学する保護者より申請を受け、翌年2月頃に対象となった保護者へ支給を行う。
【3次評価】	総合		

事務事業名 特別支援教育就学奨励費（中学校）

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	昭和 45 年度
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	教育環境の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	特別支援教育体制づくり	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	特別支援学級に就学する中学生の保護者の経済的負担を軽減することを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 特別支援学級に就学する中学生の保護者に一部経費を援助し、保護者の経済的負担を減らす。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 9月～10月頃に特別支援学級に就学する保護者より申請を受け、翌年2月頃に対象となった保護者へ支給を行う	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 教育基本法（第4条）、学校教育法第19条、登別市就学援助事務処理運用基準	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 特別支援学級に在籍している中学生の保護者

事業費（財源内訳） Plan ↓ Do	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	特別支援教育就学奨励費補助金	千円	393	393	575	575	503
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円	983	394	756	575	503	
合計				1,376	787	1,331	1,150	1,006

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 特別支援学級への就学に必要な費用の一部を援助した。 【補助事業内容】 学校給食費、通学に要する交通費（通学費）、職場実習に要する交通費（職場実習交通費）、交流及び共同学習に要する交通費、修学旅行費、校外活動等参加費、学用品等購入費、新入学児童・生徒学用品費等						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		対象人数	人	14	18	15	21	21

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点を記入してください) 事業実施中に不断の事務改善に努めており、現在のところ特に課題となる状況はない。
-----------------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	今後も、特別支援学級に在籍している中学生の保護者に対して、適切な援助をし、保護者の経済的負担を減らす。	目標 今後も、特別支援学級に就学する中学生の保護者に一部経費を援助し、保護者の経済的負担を減らす。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・9月～10月頃に特別支援学級に就学する保護者より申請を受け、翌年2月頃に対象となった保護者へ支給を行う。
【3次評価】	総合		

事務事業名 特別支援教育推進経費（小学校）

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 15 年度
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	教育環境の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	特別支援教育体制づくり	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	特別支援学級を設置し、小学生一人ひとりの教育的ニーズを踏まえて、自立や社会参加に向けて必要な支援を行うことにより、心身に障がいのある児童の自立や社会参加を促進することを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 特別支援学級に在籍する児童の状況に即した教育環境を整備する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 特別支援学級が日常的に必要なとする物品等の購入に係る予算を各小学校へ配分する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 教育基本法、学校教育法	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 特別支援学級に在籍している小学生

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		1,380	1,362	1,456	1,441	1,453
合計				1,380	1,362	1,456	1,441	1,453

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 特別支援学級を設置し、小学生一人ひとりの教育的ニーズを踏まえて、自立や社会参加に向けて必要な支援として、日常的に必要なとする備品及び物品を購入した。 【特別支援学級数】8校21学級 【児童数】56人						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		特別支援学級数	学級	15	15	19	21	19

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 特別支援学級に在籍する小学生一人ひとりの教育的ニーズに対応するためには、一貫して支援を継続していく必要がある。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ 本事業は教育の機会均等の理念に基づくことから、今後も継続して支援を講ずる。	今後の目標・計画【Plan】 目標 特別支援学級に在籍する小学生の状況に即した教育環境を整備する。
	継続	行政評価会議	計画 ・特別支援学級が日常的に必要なとする物品等の購入に係る予算を各小学校へ配分する。
	【2次評価】	総合	
【3次評価】			

事務事業名 特別支援教育推進経費（中学校）

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 15 年度
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	教育環境の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	特別支援教育体制づくり	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	特別支援学級を設置し、中学生一人ひとりの教育的ニーズを踏まえて、自立や社会参加に向けて必要な支援を行うことにより、心身に障がいのある生徒の自立や社会参加を促進することを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 特別支援学級に在籍する中学生の状況に即した教育環境を整備する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 特別支援学級が日常的に必要なとする物品等の購入に係る予算を各中学校へ配分する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 教育基本法、学校教育法	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 特別支援学級に在籍している中学生

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		750	729	840	804	660
	合計			750	729	840	804	660

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 特別支援学級を設置し、中学生一人ひとりの教育的ニーズを踏まえて、自立や社会参加に向けて必要な支援として、日常的に必要なとする備品及び物品を購入した。 【特別支援学級数】5校11学級 【生徒数】32人						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		特別支援学級数	学級	9	10	10	11	10

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 特別支援学級に在籍する中学生一人ひとりの教育的ニーズに対応するためには、一貫して支援を継続していく必要がある。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ 本事業は教育の機会均等の理念に基づくことから、今後も継続して支援を講ずる。	今後の目標・計画【Plan】 目標 特別支援学級に在籍する中学生の状況に即した教育環境を整備する。
	継続	行政評価会議	計画 ・特別支援学級が日常的に必要なとする物品等の購入に係る予算を各中学校へ配分する。
	【2次評価】	総合	
【3次評価】			

事務事業名 言語障害通級指導教室運営経費

区分	No.	名称	部・グループ
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	教育委員会学校教育G
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	会計種別 一般会計
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	開始年度 昭和 59 年度
基本的な方向	3	教育環境の充実	終了年度 平成 ー 年度
主要な施策	4	特別支援教育体制づくり	事業区分 ソフト事業
			大型事業推進プラン 非登載事業

目的	言語障がい児教育の充実・伸展を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	----------------------------	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 言語障がい児教育のさらなる充実を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ことばの教室で必要とされる各種物品等の購入、指導員の研修旅費の支給等ことばの教室運営のサポート。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 教育基本法（第4条）、学校教育法第19条、登別市就学援助事務処理運用基準	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 ことばの教室

事業費（財源内訳）	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	181	146	179	152	761
合計			181	146	179	152	761

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 言語治療を必要とする幼児・児童を対象にことばの教室を開設し、幼児部・小学部の入級判定や保護者との教育相談、言語指導を行った。 【通級児童数】 幼児部42人、小学部66人 計108人 【指導時間】 週当たり1時間児童96人、週当たり2時間児童8人、週当たり3時間児童8人						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		通級児童数（小学部）	人	52	56	62	66	66
	通級児童数（幼児部）	人	47	43	44	42	42	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 現在ことばの教室は1カ所（幌別小学校）のため、鷲別方面からの通級は負担となっている。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	拡大	今後とも言語治療を必要とする幼児・児童の個別指導への環境を整えながら、言語障がい教育の充実を図っていくとともに、鷲別小学校の使用開始時の諸事情を考慮しながら、開設時期を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> 言語障がい児教育のさらなる充実を図る。 ことばの教室を2カ所に増やして、鷲別方面からの通級の負担を減らす
	【2次評価】	行政評価会議	<ul style="list-style-type: none"> ことばの教室で必要とされる各種物品等の購入、指導員の研修旅費の支給等、ことばの教室運営のサポート。 現在1カ所（幌別小学校）の教室を平成30年度より、鷲別小学校に、新たに1カ所おに開設を予定しており、必要となる備品の調査等を行う。
【3次評価】	総合		

事務事業名 登別市教育研究会運営事業費補助金

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	昭和 45 年度
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	教育環境の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	5	教員の資質の向上	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 教職員の職務遂行上必要な専門性の維持向上を図り、市全体の教育レベルの向上を図ることを目的とする。

前回評価 維持

Plan 概要

目標 (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)
教職員の職務遂行上必要な専門性の維持向上を図るための活動に必要な経費の一部を助成する。

計画 (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)
・登別市教育研究会より補助金の交付申請に基づき、事業計画等を確認し、補助金を交付する。
・事業終了後、事業報告及び収支決算書を審査し、標記事業が適正に執行されたか確認する。

根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)
登別市補助金等の事務取扱に関する規則

対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)
登別市教育研究会

Plan ↓ Do

名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金	千円					
道支出金	千円					
地方債	千円					
その他	千円					
一般財源	千円	600	600	600	600	600
合計		600	600	600	600	600

Do

事務事業の成果・改善の状況

平成28年度

(実績を簡潔に記入してください)
教職員の職務遂行上必要な専門性の維持向上を図るために各部会活動や研修会を行っている登別市教育研究会に対して、活動に要する経費の一部を補助した。
【教育研究会の活動実績】
・会員は、事務、養護、進路指導、コンピュータ、特別支援教育、道徳、英語、保健体育、図工・美術、音楽、理科、算数・数学、社会、国語の全14部会のうちいずれかの研究部会に所属し、活動等を実施した。（研究部会の開催（計4回））
・運営委員会の開催（計3回）
【補助金使用内訳】
・事務局費
・研究事業費
・委託事業費

指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
研究部会実施回数（14部会）	回	5	5	5	4	4
運営委員会	回	5	4	4	3	3

Check

課題等の状況

平成28年度

(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
研究事業費のうち、一部の費用の内訳がわかりにくく、確認に時間を要したため、報告時により明瞭な資料の添付をするよう指導すべきだった。

評価

【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ 研究事業費に係る資料について、事業報告及び収支決算書提出の際に、より明瞭な資料の添付を指導する。	今後の目標・計画【Plan】 目標 教職員の職務遂行上必要な専門性の維持向上を図るための活動に必要な経費の一部を助成する。
継続	行政評価会議	計画 ・左記の今後の取組を実施する。 ・登別市教育研究会からの補助金の交付申請に基づき、事業計画等を確認し、補助金を交付する。 ・事業終了後、事業報告及び収支決算書を審査し、標記事業が適正に執行されたか確認する。
【2次評価】	総合	
継続		
【3次評価】		

事務事業名 **教育実践研究奨励事業**

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会学校教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	昭和 45 年度
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	教育環境の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	5	教員の資質の向上	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	実践奨励校での教育実践研究を実施し、その成果を市内小中学校で共有することにより、教育レベルの向上を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	-----------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 公開研究会等において結果の共有を行い、教職員の資質向上と学校教育の充実を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・新規に実践奨励校を募集し、4月中を目途にそれぞれ実践奨励校として指定する。 ・実践奨励校ごとに研究主題に沿った研究の成果を作成する研究紀要に係る費用を負担する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市教育実践研究奨励校実施要項	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 教職員

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		525	420	525	345	521
	合計			525	420	525	345	521

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 実践奨励校ごとに研究主題に沿った研究を行い、その成果として作成する研究紀要にかかる費用を負担した。 【実践奨励校の事業内容】 ○実践奨励校は、学校独自又は近隣校と協働で組織的、計画的に研究を行う。研究の領域・分野は学習指導、道徳教育、教育課程など17分野から選択し実践する。 平成28年度は8校が「学習指導」、2校が「道徳教育」を研究主題に取り上げた。 【実践奨励校：10校】 (新規) 幌別小学校、幌別東小学校、登別小学校、緑陽中学校 (継続) 幌別西小学校、鷺別小学校、若草小学校、青葉小学校、鷺別中学校、西陵中学校						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		実践研究奨励校数	校	8	9	10	10	10

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 教育の振興、教育内容・方法の改善や充実のためには、今後も継続して取組を進める必要がある。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	今後においても教育レベルの向上を図るために本事業を継続する。	目標 公開研究会等において結果の共有を行い、教職員の資質向上と学校教育の充実を図る。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・新規に実践奨励校を募集し4月中を目途にそれぞれ実践奨励校として指定する。 ・実践奨励校ごとに研究主題に沿った研究の成果を作成する研究紀要に係る費用を負担する。
【3次評価】	総合		

事務事業名	少年の主張大会
-------	---------

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	昭和 58 年度
施策	3	青少年が健やかに地域で育つ環境づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	地域との連携による青少年の健全育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	青少年の健全育成	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	子どもたちが、論理的に考える力や自分の考えを正しく理解してもらう力、広い視野と柔軟な発想、創造性を身につけるとともに、青少年の健全育成に対する市民の理解を得ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 登別市内の中学生を対象とした意見主張の場として少年の主張大会を実施する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・開催要項を作成し、市内中学校より代表者2名の選出を依頼する。 ・広報5月号で、事業の周知を図る。 ・開催当日の準備、運営を行う。 ・最優秀賞者が登別市の代表として、胆振地区大会へ出場する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市内中学生

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		27	27	27	27	27
	合計			27	27	27	27	27

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 中学生が日常生活での体験や日ごろ考えていることなどについて発表を行う少年の主張大会を開催した。 【事業実績】 ・開催日：6月7日（火） 場所：鷲別中学校						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		発表者人数	人	12	12	12	12	12

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・胆振地区大会の予選会を兼ねているが、審査項目が登別市の独自の仕様となっていた。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・胆振地区大会の予選会を兼ねているため、審査項目を上位の大会に近づけ、より適正な審査を行う。	目標 登別市内の中学生を対象とした意見主張の場として少年の主張大会を実施する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・胆振地区大会の予選会を兼ねているため、審査項目を上位の大会に近づけ、より適正な審査を行う。 ・開催要項を作成し、市内中学校より代表者2名の選出を依頼する。 ・広報などを活用し、事業の周知を図る。 ・開催校の協力のもと、当日の準備、運営を行う。
【3次評価】	総合		

事務事業名	成人祭
-------	-----

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	昭和29年度
施策	3	青少年が健やかに地域で育つ環境づくり	終了年度	平成—年度
基本的な方向	1	地域との連携による青少年の健全育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	青少年の健全育成	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	新成人が大人としての自覚を持ち、意識の向上を図ることを目的とする	前回評価	維持
----	----------------------------------	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 大人の一員となった新成人を祝い励ますことにより、新成人の大人としての意識の向上を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・開催要項を定め、各種団体等へ実行委員の推薦を依頼し、実行委員会を組織する。 ・実行委員会において、成人祭の企画立案を行い、運営方法等について協議する。 ・開催当日に向けての事前準備を行う。 ・実行委員会を中心に、成人祭当日の受付や進行を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別市の新成人

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		378	205	378	172	279
	合計			378	205	378	172	279

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 市内に勤務する青年や専門学校生、高校生で組織する登別市成人祭実行委員会の主催により成人祭を開催した。 【事業実績】 ・開催日 1月8日(日) ・場所 登別市民会館 ・出席者数 361人(対象者564人、出席率64.0%) ・事業内容 第一部 式典(市長等式辞/議長祝辞/二十歳の誓い) 第二部 アトラクション(卒業中学校担任等ビデオレター/卒業中学校対抗ゲーム/抽選会/集合写真)						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	成人祭参加率	%	58.6	66.8	57.2	64.0	65.0	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・実行委員会の企画、運営により時勢に合った成人祭を開催することができた。
--------	--------	--

評価	今後の取組【Action】	今後の目標・計画【Plan】
【1次評価】	担当グループ	目標
継続	・引き続き実行委員会を中心とし、時勢に合った成人祭を開催する。	大人の一員となった新成人を祝い励ますことにより、新成人の大人としての意識の向上を図る。
		計画
【2次評価】	行政評価会議	・開催要項を定め、各種団体等へ実行委員の推薦を依頼し、実行委員会を組織する。 ・実行委員会において、成人祭の企画立案を行い、運営方法等について協議する。 ・開催当日に向けての事前準備を行う。 ・実行委員会を中心に、成人祭当日の受付や進行を行う。
継続		
【3次評価】	総合	

事務事業名 子ども会活動振興助成金

区分	No.	名称	部・グループ
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	教育委員会社会教育G
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	一般会計
施策	3	青少年が健やかに地域で育つ環境づくり	開始年度 昭和 62 年度
基本的な方向	1	地域との連携による青少年の健全育成	終了年度 平成 ー 年度
主要な施策	1	青少年の健全育成	事業区分 ソフト事業
			大型事業推進プラン 非登載事業

目的	子どもたちの健全育成のために活動する登別市子ども会育成連絡協議会を支援することにより、子どもたちに生きる力と健全な心身の育成を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 子どもたちに生きる力と健全な心身の育成を図るため、登別市子ども会育成連絡協議会を支援する	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・登別市子ども会育成連絡協議会からの助成金交付申請を内容を確認し、助成金を交付する。 ・同団体からの実績報告に基づき、助成金が目的に沿って活用されているか確認する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市補助金等の事務取扱に関する規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別市子ども会育成連絡協議会

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		830	830	830	830	830
合計				830	830	830	830	830

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 子どもたちの健全育成のために活動する登別市子ども会育成連絡協議会に対して、その活動に要する経費の一部を助成した。 【協議会の自主事業実績】 ・加盟団体数 39団体（7地区連） ・主な活動内容 かるた大会 1月15日（日） 参加人数 40人 育成者研修会 12月3日（土） 参加人数 30人						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	子ども会加入者数	人	2,286	2,227	2,214	2,071	2,300	
子ども会事業参加者数	人	339	148	265	181	150		

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・本助成金に係る交付要綱がないため、助成対象事項が明確でないほか、事務決裁等に時間を要した。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・事務の負担軽減と、より適切な助成金の交付を図るため、助成金の交付要綱を作成する。	目標 子どもたちに生きる力と健全な心身の育成を図るため、登別市子ども会育成連絡協議会を支援する
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・事務の負担軽減と、より適切な助成金の交付を図るため、助成金の交付要綱を作成する。 ・登別市子ども会育成連絡協議会からの助成金交付申請を内容を確認し、助成金を交付する。 ・同団体からの実績報告に基づき、助成金が目的に沿って活用されているか確認する。
【3次評価】	総合		

事務事業名 登別市学校支援地域本部事業

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	平成 23 年度
施策	3	青少年が健やかに地域で育つ環境づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	地域との連携による青少年の健全育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	青少年の健全育成	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 地域で学校をサポートするシステムを構築し、地域教育力の向上を図ることを目的とする。 前回評価 維持

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 地域の特色を生かし、各校の要望に合わせた支援活動を実施する	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・登別市学校支援地域本部実行委員会への委託により、各中学校区において地域の特色を生かした学校支援を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 「学校支援地域本部事業」実施委託要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市内小中学生

名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金		千円					
道支出金	学校支援地域本部事業補助金	千円	1,280	1,247	1,426	1,144	1,425
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	1,552	1,525	1,615	1,523	1,614
合計			2,832	2,772	3,041	2,667	3,039

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 学校支援地域本部実行委員会を中心に、学校・家庭・地域が連携して各中学校区で地域の特色を生かした学校支援事業を実施した。 【実施内容】 ふれあい農園、世代間交流、音楽を楽しむ会等						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		学校支援地域事業参加者数	人	3,784	4,231	5,049	6,012	4,000
	学校支援地域ボランティア登録者数	人	33	43	103	125	150	

課題等の状況 平成28年度 (事務事業の実施における課題点等を記入してください)
・学校、家庭、地域の連携により、学校支援活動の充実が図られている。

評価	今後の取組【Action】	今後の目標・計画【Plan】
【1次評価】	担当グループ	目標
継続	多くの地域の方の協力のもと、引き続き学校支援活動の充実を図るとともに、支援から連携・協働へ発展するよう取り組みを進める。	地域の特色を生かし、各校の要望に合わせた支援活動を実施する
	行政評価会議	計画
【2次評価】	総合	・左記の今後の取り組みを実施する。 ・登別市学校支援地域本部実行委員会への委託により、各中学校区において地域の特色を生かした学校支援を行う。
【3次評価】		

事務事業名	青少年育成指導経費
-------	-----------

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	開始年度	昭和 37 年度
施策	3	青少年が健やかに地域で育つ環境づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	地域との連携による青少年の健全育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	非行などの未然防止	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	青少年非行の未然防止を図り、青少年が健やかに育つ環境を構築することにより、青少年の健全育成を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 青少年非行防止を図るため青少年センターを運営する	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・地域ごとに計画的な指導活動を実施する。 ・地域、関係機関、団体との連携を強め、青少年非行防止、早期発見などに努める。 ・有害環境の把握に努めるとともに地域との連携を図り、浄化活動を推進する。 ・関係機関等との青少年の問題行動に関する情報共有を図る。 ・不審者、変質者に対する情報収集、連絡体制及び巡回体制の強化を図る。 ・「こども110番スタディちゃんの家」の拡充	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 地方青少年問題協議会法、登別市青少年問題協議会設置条例、登別市青少年問題協議会設置条例施行規則、登別市青少年センター設置及び運営に関する要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 青少年センター

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	755	582	790	635	782
	合計		755	582	790	635	782

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 青少年センターを運営し、専任指導員や青少年指導委員による巡回等を行った。鷺別・緑陽中学校区、明日・西陵・幌別・登別中学校区の2区分による通常巡回。 【事業実績】 ・青少年センター 専任指導員 2人 青少年指導委員 58人 青少年問題協議会委員 13人 ・活動内容 青少年センター巡回活動 417日 特別巡回 66日 こども110番スタディちゃんの家登録数 462件						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		青少年センターによる巡回回数	回	778	889	936	906	900
	児童生徒の街頭指導件数	人	133	231	153	110	150	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・地域、関係機関、団体との連携により、青少年非行や犯罪被害等の未然防止が図られている。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	青少年非行や犯罪被害等の未然防止に向け、地域や関係団体と連携を図りながら引き続き巡回等を実施する。	目標 青少年非行防止を図るため青少年センターを運営する 計画 ・地域ごとに計画的な指導活動を実施する。 ・地域、関係機関、団体との連携を強め、青少年非行防止、早期発見などに努める。 ・有害環境の把握に努めるとともに地域との連携を図り、浄化活動を推進する。 ・関係機関等との青少年の問題行動に関する情報共有を図る。 ・不審者、変質者に対する情報収集、連絡体制及び巡回体制の強化を図る。 ・「こども110番スタディちゃんの家」の拡充
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 登別市文化振興助成金

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む	開始年度	昭和 45 年度
施策	1	市民の文化・芸術活動の育成・支援	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	市民文化活動の活性化	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	多様な文化活動の機会の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	地域に根ざした文化振興活動を行う文化団体を支援することにより、市民が文化に親しむことのできるまちづくりの推進を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 登別市文化協会を支援することで、市民が文化に親しむことのできるまちづくりを目指す。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・登別市文化協会からの申請に対し、内容の精査を行い、助成金を交付する。 ・同団体からの実績報告に基づき、助成金が目的に沿って活用されているかを精査し、助成額を確定する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市補助金等の事務取扱に関する規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別市文化協会

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		800	800	800	800	800
	合計			800	800	800	800	800

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 登別市における文化の振興と裾野拡大のために活動を行う登別市文化協会に対して、その活動に要する経費の一部を助成した。 【登別市文化協会の活動】 ・加盟団体数：29団体 1,211人 ・事業内容：主催・主管事業：機関誌・文芸誌の発行（年1回）等 共催事業：第52回市民文化祭 等 参画事業：市民活動センターへの参画（のぼりん文化講座への協力） 等						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	加盟団体	団体	31	32	29	29	30	
加盟人数	人	1,502	1,340	1,188	1,211	1,200		

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点を記入してください) ・本助成金に係る交付要綱がないため、助成対象事項が明確でないほか、事務決裁等に時間を要した。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・交付要綱を策定する。	目標 登別市文化協会を支援することで、市民が文化に親しむことのできるまちづくりを目指す。 計画 ・登別市文化協会からの申請に対し、内容の精査を行い、助成金を交付する。 ・同団体からの実績報告に基づき、助成金が目的に沿って活用されているかを精査し、助成額を確定する。 ・事務の負担軽減とより適切な助成金の交付を図るため、登別市文化振興助成金の交付要綱を策定する。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 西いぶり定住自立圏文化事業負担金

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む	開始年度	平成 9 年度
施策	1	市民の文化・芸術活動の育成・支援	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	市民文化活動の活性化	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	多様な鑑賞事業等の実施	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市民がより質の高い文化に触れる機会を設けることにより、地域文化の振興を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

P l a n 概 要	目 標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 平成28年度は登別市が主管市として文化事業を実施することから、事業を通して多くの市民に文化に触れる機会を提供する。	
	計 画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・4月にいきいきふるさと推進事業助成金の申請を行う。 ・5月に第1回実行委員会総会を開催する。 ・7月に開催要項を作成する。 ・8月に市民や関係団体へポスター、チラシ等により周知し、市内販売所へチケットを配布する。 ・9月に第3回定例会においていきいきふるさと推進事業助成金の補正予算要求を行う。 ・10月に公演を実施する ・12月に第2回実行委員会を開催し、共催市へ余剰金を返還する。 ・1月にいきいきふるさと推進事業助成金に係る実績報告書を行う。	
	根 拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 西いぶり定住自立圏文化事業実行委員会会則	対 象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 西胆振地域住民

P l a n ↓ D o 事業費（財源内訳）	名 称		単 位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
	道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他	いきいきふるさと推進事業助成金	千円				470	
	一般財源		千円	1,000	657	1,000	474	1,000
合 計				1,000	657	1,000	944	1,000

D o 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 西いぶり定住自立圏（登別・室蘭・伊達・豊浦・壮瞥・洞爺湖）で実行委員会を組織し、3市の負担金により輪番で文化事業を行った。 主管市：登別市 演目：文楽公演（人形浄瑠璃） 日程：平成28年10月16日（日） 会場：登別市民会館大ホール チケット売却数：575枚（うち来場者：479人）						
		指 標	単 位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		来場者比率（来場者数/座席数）	%	89	74	46	45	90

C h e c k 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・来場者の満足度は高かったが、チケット販売枚数が伸びなかったことから、更なる周知が必要。
---------------------------------	--------	--

評 価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・周知を徹底し、今後も広域的な文化交流事業として取り組み、西胆振全体の文化振興の推進を図る。	目 標 事業を通して多くの市民に文化に触れる機会を提供する。
	【2次評価】	行政評価会議	計 画 ・左記の今後の取組を実施する。 ・実行委員会へ参加する。 ・市広報誌や市公式ホームページを通して、市民や関係団体へポスター、チラシ等により徹底した周知を図る。 ・市内販売所へチケットを配布する。
【3次評価】	総 合		

事務事業名 市民会館整備事業

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む	開始年度	平成 22 年度
施策	1	市民の文化・芸術活動の育成・支援	終了年度	平成 一 年度
基本的な方向	1	市民文化活動の活性化	事業区分	ハード事業
主要な施策	3	文化施設の確保と充実	大型事業推進プラン	登載事業

目的	市民会館の修繕を行うことにより、市民が安全・安心に文化活動を行うことのできる環境の整備を図ることを目的とする。	前回評価
----	---	------

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市民が安全・安心に文化活動を行うことのできる環境の整備を図るために、市民会館の修繕を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市民会館条例、登別市民会館条例施行規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別市民会館

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					8,600
その他		千円					
一般財源		千円					2,989
	合計		0	0	0	0	11,589

Do 事務事業の成果・改善の状況	(実績を簡潔に記入してください) 未実施						
	平成28年度						

指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
市民会館年間利用者数	人	77,402	67,084	71,806	63,126	70,000

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) これまで、緊急的な修繕については公共施設当繕費、老朽化等による交換・修繕については整備事業費で維持管理を行ってきましたが、昭和58年の開館以来33年が経過しており、当初からの設備が更新されていないものもことから、継続的に施設の長寿命化を図るため計画的な改修が必要である。 ・大ホール音響設備の更新 ・屋外高圧受電設備内の更新
-----------------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	これまでの管理状況や修繕状況、市民ニーズなどを踏まえ、緊急性や必要性を考慮し、施設の長寿命化に向けた検討を行う。	目標 市民が安全・安心に文化活動を行うことのできる環境の整備を図るために、市民会館の修繕を行う。 計画 ・老朽化した屋外高圧受電設備内の更新工事を実施する。(6月契約、8月施工) ・これまでの管理状況や修繕状況、市民ニーズなどを踏まえ、緊急性や必要性を考慮し、施設の長寿命化に向けた検討を行う。
	【2次評価】	行政評価会議	
継続	【3次評価】	総合	

事務事業名 児童・生徒文化振興助成金

区分	No.	名称	部・グループ
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	教育委員会社会教育G
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む	会計種別 一般会計
施策	1	市民の文化・芸術活動の育成・支援	開始年度 平成 7 年度
基本的な方向	2	文化活動を担う人づくり	終了年度 平成 ー 年度
主要な施策	1	文化活動との出会いの場づくり	事業区分 ソフト事業
			大型事業推進プラン 非登載事業

目的 文化活動を行う児童生徒の保護者の負担の軽減と、児童生徒の文化の振興を図ることを目的とする。

前回評価 維持

Plan 概要

目標 (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)
児童・生徒の文化振興を図るため、文化活動に係る大会に参加する児童・生徒の支援を行う。

計画 (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)
・申請者からの交付申請に対し、内容の精査を行い、助成金の交付決定または不交付決定を通知する。
・申請者からの実績報告に基づき、助成金が目的に沿って活用されているかを精査し、助成額を確定する。

根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)
登別市児童、生徒文化振興助成金交付要綱

対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)
市内の小、中学校、高等学校等に在籍する児童生徒又は市内に居住する児童生徒

Plan ↓ Do (事業費(財源内訳))

名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金	千円					
道支出金	千円					
地方債	千円					
その他	千円					
一般財源	千円	800	609	800	797	800
合計		800	609	800	797	800

Do 事務事業の成果・改善の状況

平成28年度

(実績を簡潔に記入してください)
市内の小・中学校、高等学校等に通う児童生徒又は市内に居住する児童生徒が、全国大会及び全道大会に参加する場合に要する経費の一部を助成した。
全道大会：9件
全国大会：1件

指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
全国大会参加者数(引率含む)	人	0	18	2	23	20
北海道大会参加者数(引率含む)	人	106	83	192	140	140

Check 課題等の状況

平成28年度

(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
・申請者からの申請時や実績報告時に提出書類が不足するなど、事務手続きに時間を要した。

評価

【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】 目標
継続	・助成金の交付手続きについて、改めて市広報紙による周知や市公式ホームページへの掲載などのほか、申請者へ交付決定の通知を行う際に、実績報告時の手続きを説明した通知書を作成する。	児童・生徒の文化振興を図るため、文化活動に係る大会に参加する児童・生徒の支援を行う。
【2次評価】	行政評価会議	計画
継続		・申請者からの交付申請に対し、内容の精査を行い、助成金の交付決定または不交付決定を通知する。 ・申請者からの実績報告に基づき、助成金が目的に沿って活用されているかを精査し、助成額を確定する。 ・助成金の交付手続きについて、改めて市広報紙による周知や市公式ホームページへの掲載などのほか、申請者へ交付決定の通知を行う際に、実績報告時の手続きを説明した通知書を作成する。
【3次評価】	総合	

事務事業名 郷土資料館運営管理経費

区分	No.	名称	部・グループ
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	教育委員会社会教育G
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む	会計種別 一般会計
施策	2	文化の保存・継承	開始年度 昭和 56 年度
基本的な方向	1	歴史の伝承と活用	終了年度 平成 ー 年度
主要な施策	1	郷土の歴史を学ぶ場の充実	事業区分 ソフト事業
			大型事業推進プラン 非登載事業

目的 郷土に関する資料を市民に供することにより、ふるさと登別を愛する心を育てることを目的とする。

前回評価 維持

Plan 概要

目標 (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)
市内外から郷土に関する資料を収集し、市民が利用しやすい様に整理・保管し、また特別展・企画展を通して郷土の歴史・文化を普及・啓発する。

計画 (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)
・郷土に関する資料を収集し、目録の作成等整理を行い、適切に保存・管理する。
・時勢に合わせた特別展を企画・開催する(2回)。
・郷土資料館ボランティアグループSLGと共同で企画展を開催する。
・事業の開催にあたってポスター・チラシを作成・配布し、市広報紙及び市ホームページ等を通じて周知を図る。

根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)
郷土資料館条例、郷土資料館条例施行規則

対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)
郷土資料館利用者

事業費(財源内訳) Plan D.O.

名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金	千円					
道支出金	千円					
地方債	千円					
その他	千円	206	213	205	178	211
一般財源	千円	2,543	2,131	2,007	1,815	2,292
合計		2,749	2,344	2,212	1,993	2,503

事務事業の成果・改善の状況 Do.

(実績を簡潔に記入してください)
郷土の歴史、民俗、産業、文化に関する資料を収集、保管、展示する郷土資料館の運営管理を行った。
【収集資料】：883件
【特別展】：2回
【企画展】：3回
【イベント】：わんぱくサムライ体験
【その他】：桜ウィーク（無料開放期間）の設定

平成28年度

指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
入館者数	人	3,211	3,643	3,437	3,852	3,500

課題等の状況 Check

平成28年度
・常設展示の一部入れ替え（アイヌ文化）を要する。

評価

【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
継続	・常設展示の一部入れ替えを行う（アイヌ文化）。	目標 市内外から郷土に関する資料を収集し、市民が利用しやすい様に整理・保管し、また特別展・企画展を通して郷土の歴史・文化を普及・啓発する。
【2次評価】	行政評価会議	計画 ・常設展示の一部入れ替えを行う（アイヌ文化）。 ・郷土に関する資料を収集し、目録の作成等整理を行い、適切に保存・管理する。 ・所蔵資料の調査研究成果や時勢に合わせた特別展を企画・開催する（3回）。 ・郷土資料館ボランティアグループSLGと共同で企画展を開催する。 ・事業の開催にあたってポスター・チラシを作成・配布し、市広報紙及び市ホームページ等を通じて周知を図る。
【3次評価】	総合	

事務事業名 文化伝承館運営管理経費

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む	開始年度	平成 8 年度
施策	2	文化の保存・継承	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	歴史の伝承と活用	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	郷土の歴史を学ぶ場の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	郷土の歴史や文化を伝承することにより、市民の教育・文化の向上を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 郷土の歴史や文化を伝承するため、体験事業を実施する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・月に1回程度、郷土資料館ボランティアグループSLGを講師に体験事業を実施する。 ・事業実施にあたって市広報紙で周知を図る。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市文化伝承館条例、登別市文化伝承館条例施行規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 文化伝承館利用者

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他	文化伝承館体験学習等教材費負担金	千円		66	55	64	49	60
一般財源		千円		239	192	231	236	259
	合計			305	247	295	285	319

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 文化伝承館を運営し、郷土資料館ボランティアグループSLGの協力を得ながら郷土の歴史や文化に関する学習会等を開催した。 【体験事業】15回						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		体験事業参加者	人	234	242	256	228	250

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・今後も目的に沿った体験事業を企画し、実施する必要がある。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・郷土資料館ボランティアグループSLGとともに、郷土の歴史や文化を伝承するための体験事業の内容の充実を図る。	目標 郷土の歴史や文化を伝承するため、体験事業を実施する。 計画 ・月に1回程度、郷土資料館ボランティアグループSLGを講師に体験事業を実施する。 ・事業実施にあたって市広報紙で周知を図る。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 郷土資料館整備事業

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む	開始年度	平成 23 年度
施策	2	文化の保存・継承	終了年度	平成 一 年度
基本的な方向	1	歴史の伝承と活用	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	郷土の歴史を学ぶ場の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 郷土資料館の整備を行なうことにより、市民が安全・安心に見学することができるとともに、資料を適切に保管することのできる環境の整備を図ることを目的とする。

前回評価

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市民が安全・安心に見学できるよう、老朽化が進む郷土資料館を計画的に整備する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 郷土資料館条例、郷土資料館条例施行規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 郷土資料館

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円					
合計			0	0	0	0	0

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 未実施						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		入館者数	人	3,211	3,643	3,437	3,852	3,500

Check
課題等の状況

平成28年度

(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
・昭和56年の開館以来、屋根・外壁等の改修を行っていない状況にあり、利用者の安全性の確保や、開館40年を目途に、利用者の安心・安全及び市民から寄贈・寄託いただいた資料を適切に管理するため、適切な改修を図る必要がある。

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	これまでの管理状況や修繕状況、市民ニーズなどを踏まえ、緊急性や必要性を考慮し、施設の長寿命化に向けた検討を行う。	目標 市民が安全・安心に見学できるよう、老朽化が進む郷土資料館を計画的に整備する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・郷土資料館運営管理経費の中で小規模な修繕を行い、平成29年度は実施しない。 ・これまでの管理状況や修繕状況、市民ニーズなどを踏まえ、緊急性や必要性を考慮し、施設の長寿命化に向けた検討を行う。
【3次評価】	総合		

事務事業名 **のぼりべつ文化交流館整備事業**

区分	No.	名称	部・グループ
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	教育委員会社会教育G
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む	会計種別 一般会計
施策	2	文化の保存・継承	開始年度 平成24年度
基本的な方向	1	歴史の伝承と活用	終了年度 平成 一 年度
主要な施策	1	郷土の歴史を学ぶ場の充実	事業区分 ハード事業
			大型事業推進プラン 非登載事業

目的 施設の改修を図ることにより、埋蔵文化財の展示・体験や絵画などの展示、及び集会施設として安全・安心に市民が利用できるよう、環境の整備を図ることを目的とする。

前回評価

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 埋蔵文化財の展示・体験や絵画などの展示、及び集会施設として安全・安心に市民が利用できるよう施設の改修を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) のぼりべつ文化交流館条例、のぼりべつ文化交流館条例施行規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) のぼりべつ文化交流館

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円					
合計			0	0	0	0	0

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 未実施						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		のぼりべつ文化交流館利用者数	人	4,538	2,905	3,314	3,072	3,200
	のぼりべつ文化交流館体験学習参加人数	人	131	195	111	222	150	

Check
課題等の状況
平成28年度
(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
日常点検等で確認された温泉地区特有の腐食または老朽化等による施設の劣化への対処については、必要性及び緊急性を考慮し最低限の改修を実施し、また緊急を要する場合には公共施設営繕費をもって対処してきた。
今後の施設の整備については、緊急を要する状況に迅速に対応するほか、劣化への対応を先送りにすることによって事業費が増加することのないよう、施設の状況を見ながら優先順位を判断し適切に整備を進めていく必要がある。

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	これまでの管理状況や修繕状況、市民ニーズなどを踏まえ、緊急性や必要性を考慮し、施設の長寿命化に向けた検討を行う。	目標 埋蔵文化財の展示・体験や絵画などの展示、及び集会施設として安全・安心に市民が利用できるよう施設の改修を行う。 計画 ・平成28年度実施計画ローリング調書にのぼりべつ文化交流館整備事業として掲載した給油設備更新工事について、のぼりべつ文化交流館運営管理経費の中で実施することが決定したため、平成29年度ののぼりべつ文化交流館整備事業としては実施しない予定である。 ・これまでの管理状況や修繕状況、市民ニーズなどを踏まえ、緊急性や必要性を考慮し、施設の長寿命化に向けた検討を行う。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 **のぼりべつ文化交流館運営管理経費**

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む	開始年度	平成 19 年度
施策	2	文化の保存・継承	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	1	歴史の伝承と活用	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	埋蔵文化財の保管、展示施設の整備と学習会の開催	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	埋蔵文化財に接する機会を設けることにより、郷土に対する理解を深めるとともに、作品展示の場を設けることで市民の文化活動の向上を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	-----------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) イベントの開催や作品展示の場を設けることで埋蔵文化財及び文化に触れる機会を提供する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・市内で発掘・出土した埋蔵文化財を適切に保管する。 ・博物館施設として入館者に分かりやすい展示を提供する。 ・各月に縄文文化に触れる体験学習を実施する。 ・市広報紙への掲載のほか、ホームページを充実させ、施設及び事業の周知を図る。 ・補修が必要な箇所を日常的に把握し計画的に補修する。 ・市内外からの施設利用（貸館）に日常的に対応する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) のぼりべつ文化交流館条例、のぼりべつ文化交流館条例施行規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 文化交流館利用者、体験学習参加者

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他	のぼりべつ文化交流館使用料・のぼりべつ文化交流館体験学習等教材費負担金	千円		286	259	274	332	274
一般財源		千円		2,864	2,654	2,994	2,467	3,198
合計				3,150	2,913	3,268	2,799	3,472

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 市内で発掘・出土した埋蔵文化財の保管・展示、体験学習、市民の作品展示などを行った。 【体験学習等】7回 【ガイド対応】団体8件、市内外小学校8件 【市民による作品展示】登別美術協会主催「会員作品展」開催						
	指標		単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	のぼりべつ文化交流館利用者数		人	4,538	2,905	3,314	3,072	3,200
のぼりべつ文化交流館体験学習参加人数		人	131	195	111	222	150	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・利用人数が減少しており、施設及び事業について徹底した周知が必要。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・魅力ある博物館づくりのため、事業内容の充実に努めるほか、市広報紙への掲載のほか、ホームページの充実に努め、施設及び事業の周知を図る。	目標 イベントの開催や作品展示の場を設けることで埋蔵文化財及び文化に触れる機会を提供する。 計画 ・市内で発掘・出土した埋蔵文化財を適切に保管する。 ・博物館施設として入館者に分かりやすい展示を提供する。 ・各月に縄文文化に触れる体験学習を実施する。 ・市広報紙への掲載のほか、ホームページの充実に努め、施設及び事業の周知を図る。 ・補修が必要な箇所を日常的に把握し計画的に補修する。 ・平成28年度実施計画ローリング調書にのぼりべつ文化交流館整備事業として掲載した給油設備更新工事について、本経常経費の中で実施することが決定したことから修繕費で対応する。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名	市史編さん事業
-------	---------

区分	No.	名称	部・グループ	総務部市史編さんG
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む	開始年度	平成 28 年度
施策	2	文化の保存・継承	終了年度	平成 32 年度
基本的な方向	1	歴史の伝承と活用	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	郷土文化・郷土芸能に触れる機会の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	郷土に関する有形無形の歴史資料を整理保存するとともに、先人の足跡を長く後世に継承する市史を刊行することにより、郷土・登別に対する市民の理解と関心を深め、今後のまちづくりに資することを目的とする。	前回評価
----	---	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 新たに設置する登別市史編さん委員会からの答申を基に新しい市史の編さん方針、執筆要領、編目構成（当初）を策定する。また、市史の原稿執筆に向けて有形無形の資料の収集を進める。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・登別市史編さん委員会の開催 ・有形無形の資料の収集 ・石碑等に関する情報の収集	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市史編さん委員会条例（平成28年条例第5号）	対象

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算	
	国庫支出金		千円						
道支出金		千円							
地方債		千円							
その他		千円							
一般財源		千円				396	250	1,710	
合計					0	0	396	250	1,710

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください)				
		<ul style="list-style-type: none"> 市史編さんの方針や、執筆した原稿の校正を行う市史編さん委員会を設置した。 委員数 10人 設立年月日 平成28年8月24日 開催回数 3回 会議内容 市史編さん方針、執筆要領、編目構成（当初）等 市史編さん方針、執筆要領、編目構成（当初）を策定した。 市史編さんの原稿執筆に要する有形無形の資料を収集した。 市民等に対する個別の聞き取り 延べ148人 市民による昔を語る座談会 6地区、78人 石碑等に関する情報の収集 市内にある石碑等の由来等に関する調査を実施した。 				
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績
ホームページを活用した情報発信	回	-	-	-	4	4
市史編さんだよりの発行	回	-	-	-	1	4

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)	
		<ul style="list-style-type: none"> 市が市史編さん事業に取り組んでいることを知らない市民が少なからずいる。 収集した資料を基に平成29年度、30年度で大部分の原稿を執筆する必要があり、自然科学分野については適任者に原稿の執筆を依頼する必要がある。 有形無形の資料の収集は、今後も継続する必要がある。 石碑等の由来等に関する調査は、今後も継続する必要がある。 	

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ <ul style="list-style-type: none"> 市史編さん事業の取組の周知は、登別市史編さんだよりの発行や市広報紙への連載、市公式ホームページ等を活用した情報発信を行う。 自然科学分野の原稿執筆者の選定は、団体等から適任者に関する情報を収集し、原稿の執筆依頼の適否を検討する。 有形無形の資料の収集を継続する。 石碑等の由来等に関する調査を継続する。 	今後の目標・計画【Plan】 目標 市史編さん事業の取組について周知する。また、有形無形の資料の収集を進めるとともに、それに基づいて原稿の執筆を行う。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 <ul style="list-style-type: none"> 登別市史編さんだよりを発行し、市史編さん事業の取組状況を周知するとともに、事業への協力依頼を行う。 聞き調査を継続し、その中で有形無形の資料の収集を進める。 収集した資料を基に原稿の執筆を進める。 自然科学分野の原稿執筆者の選定を進め、執筆を依頼する。
	【3次評価】	総合	

事務事業名 文化財保護経費

区分	No.	名称	部・グループ
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	教育委員会社会教育G
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む	会計種別 一般会計
施策	2	文化の保存・継承	開始年度 昭和 45 年度
基本的な方向	1	歴史の伝承と活用	終了年度 平成 ー 年度
主要な施策	3	郷土文化・郷土芸能に触れる機会の充実	事業区分 ソフト事業
			大型事業推進プラン 非登載事業

目的	郷土を形作る文化財の保護と活用を図ることにより、ふるさと登別に対する理解を深め、大切にすることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市民がふるさと登別に対する理解を深めることができるよう、文化財の保護と活用を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・市指定文化財の指定に係る事務処理を行う。 ・歴史的つながりのあるマチとの交流の促進事業として学芸員2名を宮城県白石市に派遣し、現地で資料調査や講演会を行う。 ・市内の文化財の保護・管理を適宜行う。 ・講座及び講演会を実施する。 ・開発に係る埋蔵文化財の事前協議を行う。 ・天然記念物「登別原始林」等に係る事務手続きを行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 文化財保護法、登別市文化財保護条例、登別市文化財保護条例施行規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	350	139	407	305	400
合計			350	139	407	305	400

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 市民に対し指定文化財等の周知を図るほか、文化財に関する調査・研究や保護活動を実施するとともに、文化財の活用等を図った。 【実施事業】 ・市指定文化財の指定「登別化石林の炭化木（トドマツ）」 ・歴史的つながりのあるマチとの交流の促進 ・市内の文化財の保護・管理 ・講座（縄文文化・アイヌ文化・古文書）・講演 ・埋蔵文化財事前協議 ・史跡名勝天然記念物等の事務手続き 等					
	指標						
		単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	国、道及び市が指定・登録する文化財の数	件	7	7	7	8	9

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・市の指定文化財について「旧行政文書」の指定を検討する必要がある。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・市の指定文化財の指定について調書の作成を行い、指定を検討する。	目標 市民がふるさと登別に対する理解を深めことができるよう、文化財の保護と活用を図る。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・市の指定文化財について「旧行政文書」の指定を検討する。 ・平成29年度は宮城県白石市から「歴史的つながりのあるマチとの交流の促進」に係る担当職員2名が来訪し、講演会を開催することから、周知を図り本市と白石市の歴史的つながりについて普及・啓発する。 ・市内の文化財の保護・管理 ・講座（縄文文化・アイヌ文化・古文書）・講演 ・埋蔵文化財事前協議 ・史跡名勝天然記念物等の事務手続き 等
【3次評価】	総合		

事務事業名 アイヌ文化講座経費

区分	No.	名称	部・グループ	保健福祉部社会福祉G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む	開始年度	平成 9 年度
施策	2	文化の保存・継承	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	2	アイヌ文化の振興と連携した取組	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	伝統芸能、工芸に触れる機会の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市民にアイヌ文化を伝承し、アイヌ民族への理解・関心を深めることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

P l a n 概 要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 登別アイヌ協会に文化講座の講師を依頼し、市民がアイヌの伝統文化を直接体験できる場を提供することにより、アイヌ文化の伝承に寄与する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・ 広報紙によりアイヌ文化講座への参加者を募集する。 ・ 計10回の講座を実施する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別アイヌ協会

P l a n ↓ D o 事業費(財源内訳)	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	280	280	280	280	280
合計			280	280	280	280	280

D o 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 市民を対象にアイヌ文化講座（刺しゅう、織物、編み物等アイヌ伝統の材料や工法を使った作品の作成）を開催した。 【アイヌ文化講座の内容】 ・ 内容：アイヌ文様刺繍 ・ 定員20名 ・ 実施回数：10回					
	指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	講習会への延参加人数（10回）	人	108	134	135	139	200

C h e c k 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・ 多数の市民がアイヌ文化講座に参加しており、アイヌ民族の文化の保存及び伝承が図られている。
---------------------------------	--------	--

評 価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・ アイヌ民族の文化の保存及び伝承を図るため、引き続きアイヌ文化講座を実施する。	目標 登別アイヌ協会に文化講座の講師を依頼し、市民がアイヌの伝統文化を直接体験できる場を提供することにより、アイヌ文化の伝承に寄与する。 計画 ・ 広報紙によりアイヌ文化講座への参加者を募集する。 ・ 計10回の講座を実施する。
	【2次評価】	継続	
【3次評価】	総合		

事務事業名	アイヌ民族文化祭補助金
-------	-------------

区分	No.	名称	部・グループ	保健福祉部社会福祉G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む	開始年度	昭和 63 年度
施策	2	文化の保存・継承	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	アイヌ文化の振興と連携した取組	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	伝統芸能、工芸に触れる機会の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	アイヌ民族の尊厳の確立と文化の保存及び伝承を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	-----------------------------------	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 公益社団法人北海道アイヌ協会が主催するアイヌ民族文化祭の経費を一部補助することにより、アイヌ民族の文化を広く道民に紹介し、アイヌ文化の伝承を進める。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・アイヌ民族文化祭2016に係る補助金の交付申請書等を審査し、交付決定する。 ・アイヌ民族文化祭2016に係る補助金の実績報告書等により補助金が適正に処理されているか審査し、補助金額を確定する。 ・交付決定に基づいた請求に対し、補助金を交付する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 公益社団法人北海道アイヌ協会

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
	道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源		千円	30	30	30	30	30
合計				30	30	30	30	30

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 公益社団法人北海道アイヌ協会に対して、アイヌ民族の文化伝承等を目的に開催されたアイヌ民族文化祭の開催経費の一部を補助した。 【開催内容】 ・開催日 1月21日 ・開催場所 札幌市 ・内容 アイヌ文化講演 アイヌ工芸作品の展示紹介等						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		参加者延人数	人	160	300	280	600	300

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) アイヌ民族の伝統文化とその継承活動の一端を広く一般的に紹介したことにより、正しい理解が深められ、アイヌ民族の伝統文化の保存と保護思想の普及が図られている。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】 目標 公益社団法人北海道アイヌ協会が主催するアイヌ民族文化祭の経費を一部補助することにより、アイヌ民族の文化を広く道民に紹介し、アイヌ文化の伝承を進める。 計画 ・アイヌ民族文化祭に係る補助金の交付申請書等を審査し、交付決定する。 ・アイヌ民族文化祭に係る補助金の実績報告書等により補助金が適正に処理されているか審査し、補助金額を確定する。 ・交付決定に基づいた請求に対し、補助金を交付する。
	【2次評価】	アイヌ民族の文化の保存及び伝承を図るため、引き続き公益社団法人北海道アイヌ協会が主催するアイヌ民族文化祭を支援する。	
	【3次評価】	行政評価会議	
【1次評価】	継続	総合	
【2次評価】	継続		
【3次評価】			

事務事業名 アイヌ文化普及啓発事業補助金

区分	No.	名称	部・グループ	保健福祉部社会福祉G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む	開始年度	昭和 58 年度
施策	2	文化の保存・継承	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	アイヌ文化の振興と連携した取組	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	市民講座の開催、小・中学校への情報提供	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 アイヌ民族の社会的地位向上と文化の保存及び伝承を図ることを目的とする。

前回評価 **維持**

Plan

目標 (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)
アイヌ文化の保存・伝承及び発展のため活動する登別アイヌ協会を支援することにより、アイヌ文化の普及啓発を促進する。

計画 (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)
・平成27年度アイヌ文化普及啓発事業に係る補助金の実績報告書等により補助金が適正に処理されているか審査し、補助金額を確定する。
・平成28年度アイヌ文化普及啓発事業に係る補助金の交付申請書等を審査し、交付決定する。
・交付決定に基づいた請求に対し、補助金を交付する。

根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)

対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)
登別アイヌ協会

Plan/Do

名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金	千円					
道支出金	千円					
地方債	千円					
その他	千円					
一般財源	千円	200	200	200	200	200
合計		200	200	200	200	200

Do

事務事業の成果・改善の状況

平成28年度

(実績を簡潔に記入してください)
アイヌ民族の社会的地位の向上と文化保存伝承活動を行う登別アイヌ協会に対して、運営費の一部を補助した。
【主な事業】
・アイヌ民族の文化伝承活動に係る各種行事の開催や文化実践講座の実施等

指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
アイヌ民族祭、古式舞踊参加者延人数	人	691	637	605	600	600

Check

課題等の状況

平成28年度

(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
・アイヌ民族の社会的地位の向上と文化保存伝承活動を行う登別アイヌ協会に対して、運営費の一部を補助することにより、アイヌ民族の文化の保存及び伝承が図られている。

評価

評価	今後の取組【Action】	今後の目標・計画【Plan】
【1次評価】	担当グループ	目標 アイヌ文化の保存・伝承及び発展のため活動する登別アイヌ協会を支援することにより、アイヌ文化の普及啓発を促進する。 計画 ・平成29年度アイヌ文化普及啓発事業に係る補助金の実績報告書等により補助金が適正に処理されているか審査し、補助金額を確定する。 ・平成30年度アイヌ文化普及啓発事業に係る補助金の交付申請書等を審査し、交付決定する。 ・交付決定に基づいた請求に対し、補助金を交付する。 ※平成29年度は既に補助金を交付済みであることから、平成30年度事業の計画を記載
継続	・アイヌ民族の文化の保存及び伝承を図るため、引き続き登別アイヌ協会の活動を支援する。	
【2次評価】	行政評価会議	
継続	総合	
【3次評価】		

事務事業名 登別こいのぼりマラソン開催補助金

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす	開始年度	平成 26 年度
施策	1	生涯にわたるスポーツ振興の推進	終了年度	平成 28 年度
基本的な方向	1	スポーツ・レクリエーション活動の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	多様なスポーツ活動の機会の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	登別こいのぼりマラソンの開催を支援し、親子のふれあい、子どもたちの健全育成、市民のスポーツ振興と健康増進を図るとともに、広く参加者を集め、市の観光振興を図ることを目的とする。	前回評価	終了
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 登別市こいのぼりマラソン実行委員会の活動を支援する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・登別市こいのぼりマラソン実行委員会からの交付申請に対し、内容の精査を行い、助成金を交付する。 ・同団体からの実績報告に基づき、助成金が目的に沿って活用されているかを精査し、助成額を確定する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市補助金等の事務取扱に関する規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) こいのぼりマラソン参加者

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		800	800	600	600	0
合計				800	800	600	600	0

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 登別こいのぼりマラソンを開催する登別こいのぼりマラソン実行委員会に対して、大会実施に要する経費の一部を補助した。 【大会の概要】 ・開催日 5月8日(日) ・種目 3km、3km親子、5km、10km、400m(幼児オープン競技)						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		参加人数※オープン競技の参加者を除く完走者数	人	-	384	366	568	-

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
--------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	終了	平成28年度をもって登別こいのぼりマラソン実行委員会への補助事業を終了する。	目標
	平成28年度	行政評価会議	計画
【2次評価】	終了	総合	
【3次評価】			

事務事業名 登別市体育協会助成金

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす	開始年度	昭和 45 年度
施策	1	生涯にわたるスポーツ振興の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	スポーツ・レクリエーション活動の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	各団体とのネットワーク化、情報提供	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市民の健全なスポーツ活動の普及及び発展を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---------------------------------	------	----

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市民の健全なスポーツ活動の普及及び発展を図るため、登別市体育協会の活動を支援する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・登別市体育協会からの交付申請に対し、内容の精査を行い、助成金を交付する。 ・同団体からの実績報告に基づき、助成金が目的に沿って活用されているかを精査し、助成額を確定する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市補助金等の事務取扱に関する規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別市体育協会

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	800	800	800	800	800
合計			800	800	800	800	800

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) スポーツ団体の育成、スポーツの推進と裾野拡大のために活動を行っている登別市体育協会に対し、その活動に要する経費の一部を助成した。 【主な事業】 加盟団体事業への援助、スポーツ指導者の育成、スポーツ表彰、胆振管内軽スポーツフェスタへの参加、姉妹都市交流事業への支援						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		体育協会加盟人数	人	2,583	2,583	2,750	2,328	2,400
		体育協会加盟チーム数	チーム	89	89	98	81	100

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・本助成金に係る交付要綱がないため、助成の対象事項が明確でないほか、事務決裁等に時間を要していた。
-----------------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・事務の負担軽減と、より適切な助成金の交付を図るため、登別市体育協会助成金の交付要綱を作成する。	目標 市民の健全なスポーツ活動の普及及び発展を図るため、登別市体育協会の活動を支援する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・登別市体育協会からの交付申請に対し、内容の精査を行い、助成金を交付する。 ・同団体からの実績報告に基づき、助成金が目的に沿って活用されているかを精査し、助成額を確定する。 ・事務の負担軽減と、より適切な助成金の交付を図るため、登別市体育協会助成金の交付要綱を作成する。
【3次評価】	総合		

事務事業名	スポーツ推進委員会経費
-------	-------------

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす	開始年度	昭和 37 年度
施策	1	生涯にわたるスポーツ振興の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	スポーツ・レクリエーション活動の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	生涯スポーツ指導者の育成	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	スポーツ行事への参画や軽スポーツなどの普及活動を行うスポーツ推進委員会の活動を支援することにより、体育・スポーツの振興を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 体育・スポーツの振興を図るため、スポーツ推進委員会の活動を支援する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・スポーツ推進委員に関連する情報について、委員へ速やかに情報提供を行う。 ・開催事業の計画や研修会の参加報告等のため、スポーツ推進委員会を開催するとともに、出席委員に対する、報酬の支払い事務を行う。 ・スポーツ推進委員会に関する分科会・意見交換等を行う北海道スポーツ推進委員研究協議会や胆振管内スポーツ推進委員研修会に委員を派遣する。 ・スポーツ推進委員の選出、委嘱事務を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) スポーツ基本法、登別市スポーツ推進委員会設置条例	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) スポーツ推進委員

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
	道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源		千円	462	305	446	335	476
合計				462	305	446	335	476

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 各種スポーツイベントへの協力や軽スポーツの普及等を行った。 【委員数】15名 【委員の活動内容】 市民ラジオ体操会における体操指導、市民スポーツ・健康フェスティバルへの参画、軽スポーツの指導員としての派遣 など						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		事業等に参画した回数	回	19	14	17	12	20

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・新任委員の選出にあたり、退任委員の後任者が決まらず、困ることがあった。	
		評価	

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・体育協会等のスポーツ関係団体や委員のスポーツ活動基盤を通じて、委員の選出、委嘱事務にあたる。	目標 体育・スポーツの振興を図るため、スポーツ推進委員会の活動を支援する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・スポーツ推進委員に関連する情報について、委員へ速やかに情報提供を行う。 ・開催事業の計画や研修会の参加報告等のため、スポーツ推進委員会を開催するとともに、出席委員に対する、報酬の支払い事務を行う。 ・スポーツ推進委員会に関する分科会・意見交換等を行う北海道スポーツ推進委員研究協議会や胆振管内スポーツ推進委員研修会に委員を派遣する。 ・体育協会等のスポーツ関係団体や委員のスポーツ活動基盤を通じて、委員の選出、委嘱事務にあたる。
【3次評価】	総合		

事務事業名 生涯スポーツ振興及びスポーツ関連団体の育成事業

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	生涯にわたるスポーツ振興の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	健康・体力づくりの推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	関係機関の連携	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	生涯スポーツの振興と市民の健康増進を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	-------------------------------	------	----

P l a n 概 要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 生涯スポーツの振興と市民の健康増進を図るため、スポーツイベントを開催するほか、スポーツに関する説明会等へ参加する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・市民ラジオ体操会の開催にあたり、関係団体に協力・協賛依頼を行うほか、周知用ポスターの作成・配布や参加者記念品の手配等を行う。 ・市民スポーツ・健康フェスティバルの開催にあたり、スポーツ関係団体と会議を実施し、開催内容の調整を図るとともに、周知用ポスターや大会プログラム等の作成・配布、交通指導員の手配等、イベント開催に必要な態勢を整備する。 ・スポーツ振興くじ助成金の活用を検討するため、同助成金の説明会に参加する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) スポーツ基本法、登別市スポーツ推進基本計画	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民

P l a n D o 事業費(財源内)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		99	84	147	131	540
	合計			99	84	147	131	540

D o 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 市民ラジオ体操会を実施するとともに、市民スポーツ・健康フェスティバルに要する経費の一部を負担する。 【市民ラジオ体操会】 会場：市内小学校 2校 【市民スポーツ・健康フェスティバル】 会場：岡志別の森運動公園、市民プール 市民スポーツ・健康フェスティバルの実施に要する経費の一部を負担する。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		市民ラジオ体操会参加者数	人	160	239	168	214	300
		市民スポーツ・健康フェスティバル参加者数	人	-	-	-	577	600

C h e c k 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点を記入してください) ・ラジオ体操会が雨天決行であることの周知を徹底する必要があるがあった。 ・市民スポーツ・健康フェスティバルをスポーツに触れる場とするだけでなく、スポーツ関係団体の活動を広める場としても活用するべきであった。
---------------------------------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】 目標
	継続	・市民ラジオ体操会については、市広報紙及びポスターにて雨天決行であることの周知を徹底する。 ・市民スポーツ・健康フェスティバルについては、会場への団員募集チラシ等の設置を奨励するとともに、プログラムに団体の活動紹介ページ等を掲載する。	生涯スポーツの振興と市民の健康増進を図るため、スポーツイベントを開催するほか、スポーツに関する説明会等へ参加する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画
継続	【3次評価】	総合	・左記の取組を実施する。 ・市民ラジオ体操会の開催にあたり、関係団体に協力・協賛依頼を行うほか、周知用ポスターの作成・配布や参加者記念品の手配等を行う。 ・市民スポーツ・健康フェスティバルの開催にあたり、スポーツ関係団体と会議を実施し、開催内容の調整を図るとともに、周知用ポスターや大会プログラム等の作成・配布、交通指導員の手配等、イベント開催に必要な態勢を整備する。 ・スポーツ振興くじ助成金や宿泊誘致等の説明会に参加する。 ・さらに健康ふれあいウォーキング事業にて作成したウォーキングマップの更新事務を行う。

事務事業名 市民プール運営管理経費

区分	No.	名称	部・グループ
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	教育委員会社会教育G
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす	会計種別 一般会計
施策	1	生涯にわたるスポーツ振興の推進	開始年度 平成 ー 年度
基本的な方向	2	健康・体力づくりの推進	終了年度 平成 ー 年度
主要な施策	2	温水を利用した健康づくり	事業区分 ソフト事業
			大型事業推進プラン 非登載事業

目的 プール施設を活用することにより、市民の健康増進と余暇活動の充実を図ることを目的とする。

前回評価 維持

概要

目標 (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)
市民プールを運営管理することにより、市民の健康増進と余暇活動の場を提供する。

計画 (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)
指定管理者への委託により市民プールの運営管理を行う。
次の箇所の修繕、点検等を行う。
【主な修繕箇所】 濾過装置（ヘアキャッチャー）、採暖室ヒーター 等
【主な点検箇所】 空調機自動制御設備、可動床、熱交換器 等

根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)
登別市民プール条例、登別市民プール条例施行規則

対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)
市民プール利用者

事業費（財源内訳）

名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金	千円					
道支出金	千円					
地方債	千円					
その他	千円	227	261	266	259	258
一般財源	千円	54,990	56,325	61,601	61,450	62,270
合計		55,217	56,586	61,867	61,709	62,528

事務事業の成果・改善の状況

平成28年度

(実績を簡潔に記入してください)
指定管理者への委託により市民プールの運営管理を行ったほか、次の箇所の点検・修繕等を実施した。
【指定管理者】 (一財) 登別市文化・スポーツ振興財団
【委託期間】 平成28年度～平成32年度
【主な修繕箇所】 濾過装置（ヘアキャッチャー）、採暖室ヒーター、トレーニングマシン
【主な点検箇所】 空調自動制御設備、可動床、熱交換器

指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
市民プール利用人数	人	116,087	118,028	118,687	119,868	120,000

課題等の状況

平成28年度

(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
施設の経年劣化に伴い、計画的な点検・修繕を行う必要がある。

評価

【1次評価】	今後の取組【Action】	今後の目標・計画【Plan】
継続	担当グループ	目標 市民プールを運営管理することにより、市民の健康増進と余暇活動の場として、スポーツ振興を図る。
	施設建設から10年以上が経過し、老朽化が進んでいることから、計画的な修繕について検討していく。	計画 指定管理者への委託により市民プールの運営管理を行うほか、次の箇所の点検・修繕等を実施する。 【指定管理者】 (一財) 登別市文化・スポーツ振興財団 【委託期間】 平成28年度～平成32年度 【主な修繕箇所】 地下ピット換気設備、熱交換器プレート、空調機自動制御機器、排煙窓開閉装置、トレーニングマシン 【主な点検箇所】 空調機自動制御設備、可動床
	行政評価会議	
継続	総合	
【3次評価】		

事務事業名 市民プールバスパック事業

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす	開始年度	平成 17 年度
施策	1	生涯にわたるスポーツ振興の推進	終了年度	平成 29 年度
基本的な方向	2	健康・体力づくりの推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	温水を利用した健康づくり	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 市民が市民プールを利用しやすい環境を整えることを目的とする。 前回評価 廃止

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市民が市民プールを利用しやすい環境を整える。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・市民プールの指定管理者である一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団に業務委託を行う。 ・同団体から毎月提出される収入状況報告の内容を確認をする。 ・広報紙により情報を周知する。 ・市民プール館内に周知用チラシを設置する。 ・市民プールホームページに情報を掲載する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 市民プールバスパック事業実施要領	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民プール利用者

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	30	8	30	8	30
合計			30	8	30	8	30

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 路線バス運賃と入館料を組み合わせた市民プールバスパックを販売した。 【委託先】 一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団 【販売場所】7箇所 市民プール、鷺別公民館、市役所売店、市民会館、川西燃料店、道南バス若山営業所、道南バス登別温泉ターミナル						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		バスパック利用人数	人	44	47	51	53	200

Check
課題等の状況
平成28年度
利用状況や行政評価会議の結果を踏まえ、事業が一定の役割を果たしたものと判断。

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	平成29年度 【2次評価】	・平成29年度をもって事業を廃止する。 ・市民が市民プールを利用しやすい環境を整える目的の一環として、市バスの活用について検討。	目標 市民が市民プールを利用しやすい環境を整える。 計画 夏休み期間中に小、中学生を対象とした市バスの活用について検討。
	【3次評価】	行政評価会議	
		総合	

事務事業名 若山浄化センターパークゴルフ場維持管理経費

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす	開始年度	平成 27 年度
施策	1	生涯にわたるスポーツ振興の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	健康・体力づくりの推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	豊かな自然を利用した健康づくり	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市民がパークゴルフに親しめる環境づくりを進めることで、生涯スポーツを推進し、市民の健康増進及び体力向上を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市民がパークゴルフに親しめる環境を維持する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 若緑町内会への委託によりパークゴルフ場の維持管理を行う。 施設整備のため芝生、目土等を購入する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 若山浄化センターパークゴルフ場利用者

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
	道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源		千円	270	241	368	197	238
合計				270	241	368	197	238

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 芝生や目土等を購入し、若緑町内会への委託によりパークゴルフ場の維持管理を行った。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		若山浄化センターパークゴルフ場利用人数	人	-	-	8,201	7,876	9,000

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
--------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	利用者がパークゴルフを安心・安全に楽しむための整備に必要な備品の定期的な点検を実施する。	目標 若緑町内会への委託により、市民がパークゴルフに親しめる環境づくりを進める。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 芝生や目土等を購入し、若緑町内会への委託によりパークゴルフ場の維持管理を行う。
【3次評価】	総合		

事務事業名 登別市スポーツ少年団育成助成金

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす	開始年度	昭和 45 年度
施策	1	生涯にわたるスポーツ振興の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	競技スポーツの推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	選手の育成	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	子どもたちのスポーツ振興を図る登別市スポーツ少年団本部を支援することにより、少年たちの体力づくりやスポーツ技術の向上を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 少年たちの体力づくりやスポーツ技術の向上を図るため、登別市スポーツ少年団本部の活動を支援する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・登別市スポーツ少年団本部からの交付申請に対し、内容の精査を行い、助成金を交付する。 ・同団体からの実績報告に基づき、助成金が目的に沿って活用されているかを精査し、助成額を確定する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市補助金等の事務取扱に関する規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別市スポーツ少年団本部

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	500	500	500	500	500
合計			500	500	500	500	500

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) スポーツを通じて少年の心身を鍛えるために、市内のスポーツ少年団を指導育成する登別市スポーツ少年団本部に対して、その活動に要する経費の一部を助成した。 【主な事業】 スポーツ少年団育成事業、リーダー養成事業（各種交流会・研修会への参加）、競技別交流会、指導者・母集団養成事業、加盟団体への助成、姉妹都市交流事業支援						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	少年団加盟単位団体数	団体	21	21	21	21	21	
少年団加盟者数	人	320	314	314	324	350		

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点を記入してください) ・本助成金に係る交付要綱がないため、助成の対象事項が明確でないほか、事務決裁等に時間を要していた。
-----------------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・事務の負担軽減と、より適切な助成金の交付を図るため、登別市スポーツ少年団育成助成金の交付要綱を作成する。	目標 少年たちの体力づくりやスポーツ技術の向上を図るため、登別市スポーツ少年団本部の活動を支援する。 計画 ・登別市スポーツ少年団本部からの交付申請に対し、内容の精査を行い、助成金を交付する。 ・同団体からの実績報告に基づき、助成金が目的に沿って活用されているかを精査し、助成額を確定する。 ・事務の負担軽減と、より適切な助成金の交付を図るため、登別市スポーツ少年団育成助成金の交付要綱を作成する。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名	児童生徒スポーツ振興助成金
-------	---------------

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす	開始年度	平成 14 年度
施策	1	生涯にわたるスポーツ振興の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	競技スポーツの推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	選手の育成	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	スポーツ活動を行う児童・生徒の保護者の負担を軽減することにより、児童等のスポーツ活動の向上を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 児童・生徒のスポーツ振興を図るため、各種スポーツ大会に参加する児童・生徒の支援を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・申請者からの交付申請に基づき、内容の精査を行い、助成金の交付決定または不交付決定を通知する。 ・申請者からの実績報告に基づき、助成金が目的に沿って活用されているか精査し、助成額を確定する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市児童生徒スポーツ振興助成金交付要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市内の小、中学校、高等学校に在籍する児童生徒又は市内に居住する児童生徒

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		3,000	1,705	2,500	1,751	2,500
	合計			3,000	1,705	2,500	1,751	2,500

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 市内の小、中学校、高等学校に在籍する児童生徒及び市内に居住する児童生徒が、国際大会、全国大会及び全道大会に参加する場合に、要する経費の一部を助成した。 国際大会：0件 全国大会：12件 全道大会：62件						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		全国大会出場者数(引率者含む)	人	19	23	40	36	20
	北海道大会出場者数(引率者含む)	人	623	439	460	426	500	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・申請者からの申請時や実績報告時に提出書類が不足するなど、事務手続きに時間を要した。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・助成金の手続きについて、市広報紙や市ホームページに改めて掲載し、周知を図るほか、申請者へ交付決定の通知文を送付する際に、実績報告時の手続きに関する通知文を作成し、併せて送付する。	目標 児童・生徒のスポーツ振興を図るため、スポーツ活動に係る大会に参加する児童・生徒の支援を行う。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・申請者からの交付申請に基づき、内容の精査を行い、助成金の交付決定または不交付決定を通知する。 ・申請者からの実績報告に基づき、助成金が目的に沿って活用されているか精査し、助成額を確定する。 ・助成金の手続きについて、市広報紙や市ホームページに改めて掲載し、周知を図るほか、申請者へ交付決定の通知文を送付する際に、実績報告時の手続きに関する通知文を作成し、併せて送付する。
【3次評価】	総合		

事務事業名 2020東京オリパラで夢を育むスポーツ推進事業

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす	開始年度	平成28年度
施策	1	生涯にわたるスポーツ振興の推進	終了年度	平成—年度
基本的な方向	3	競技スポーツの推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	選手の育成	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを契機として、子どもたちの夢を育み、スポーツの活性化を図ることを目的とする。	前回評価
----	---	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 講演会や実技指導を通して、子どもたちの夢を育み、スポーツの活性化を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・誰でも手軽に取り組むことができる「走ること」をテーマに千葉真子氏を招へいし、講演会の開催のほか、登別こいのぼりマラソンでゲストランナーを依頼する。 ・周知用ポスターやチラシを作成のうえ、事前周知する。 ・申込みのあった参加者へ、入場整理券を送付する。 ・参加者へアンケートを行い、次年度以降の事業の参考とする。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 2020東京オリパラで夢を育むスポーツ推進事業開催要項	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 小学生以上の市民等

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金		千円					
道支出金	地域づくり総合交付金	千円			600	600	
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円			650	600	1,000
	合計		0	0	1,250	1,200	1,000

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・元オリンピック選手である千葉真子氏を招へいし、講演会や実技指導を実施した。 ○千葉真子スポーツ講演会 開催日 5月7日(土) 会場 登別市民会館大ホール 対象者 小学生以上 参加者数 200人 ○登別こいのぼりマラソンでの実技指導(ゲストランナー) 開催日 5月8日(日) 会場 陸上競技場						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		参加人数					200	500

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 参加人数の目標に対して、実績が届かず、実施種目の設定や周知方法などの課題が考えられる。スポーツ関連事業であったが、スポーツ関連団体と連携が不十分であったことから、今後の事業実施に向けては、スポーツ関連団体の協力を求めるべきである。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・リオデジャネイロオリンピックでの日本人の活躍による関心の高まりや、本市の競技人口を踏まえ、実施種目としてバドミントンを選択し、スポーツ講演会や実技指導等を実施する。 ・スポーツ関係団体との連携・協力により、事業を実施する。	目標 講演会や実技指導を通して、子どもたちの夢を育み、スポーツの活性化を図る。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・リオデジャネイロオリンピックでの日本人の活躍による関心の高まりや、本市の競技人口を踏まえ、実施種目としてバドミントンを選択し、スポーツ講演会や実技指導等を実施する。 ・講師については、北京オリンピック日本代表であり、スポーツコメンテーターなどで活躍する小椋久美子氏を招へいする。 ・事業実施にあたっては、実技経験の豊富な室蘭地区バドミントン協会や登別市のスポーツ団体を統括する登別市体育協会の協力のもと、トークショーや実技指導を実施する。
【3次評価】	総合		

事務事業名 6市町スポーツ交流会事業

区分	No.	名称	部・グループ
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	教育委員会社会教育G
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす	会計種別 一般会計
施策	1	生涯にわたるスポーツ振興の推進	開始年度 昭和 54 年度
基本的な方向	3	競技スポーツの推進	終了年度 平成 ー 年度
主要な施策	3	交流を通じて豊かな心の育成	事業区分 ソフト事業
			大型事業推進プラン 非登載事業

目的 6市町（登別・室蘭・伊達・洞爺湖・豊浦・壮瞥）の小学生のスポーツ交流を推進することにより、児童の健全育成を図ることを目的とする。

前回評価 **維持**

Plan 概要

目標 (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)
児童の健全育成を図るため、6市町の小学生を対象としたスポーツ大会の開催を支援する。

計画 (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)
・室蘭市、登別市、伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町及び（一財）室蘭市体育協会で構成される、西胆振6市町小学生スポーツ交流会実行委員会として西胆振6市町小学生スポーツ交流会を開催する。
・開催にあたり、会議へ参加し、予算の決定や決算の承認を行う。

根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)
西胆振6市町小学生スポーツ交流会実行委員会規約

対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)
市内小学校3～6年生

Plan ↓ Do 事業費（財源内訳）

名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金	千円					
道支出金	千円					
地方債	千円					
その他	千円					
一般財源	千円	138	138	138	138	140
合計		138	138	138	138	140

Do 事務事業の成果・改善の状況

平成28年度
(実績を簡潔に記入してください)
6市町の小学生を対象としたスポーツ大会の開催を支援した。
【陸上競技大会】
開催日：平成28年5月28日（土）
場所：入江運動公園陸上競技場（室蘭市）
対象：小学校3～6年生

指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
大会参加者数	人	86	104	109	111	120

Check 課題等の状況

平成28年度
(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
・西胆振6市町小学生スポーツ交流会実行委員会規約に基づき、適切に実施されている。
・大会参加者数が増加していることから、地域における大会の定着化が伺える。

評価

評価	今後の取組【Action】	今後の目標・計画【Plan】
【1次評価】 継続	担当グループ 6市町の児童の交流と健全育成を図るため、継続して事業を行う。	目標 児童の健全育成を図るため、6市町の小学生を対象としたスポーツ大会の開催を支援する。
【2次評価】 継続	行政評価会議	計画 ・室蘭市、登別市、伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町及び（一財）室蘭市体育協会で構成される、西胆振6市町小学生スポーツ交流会実行委員会として西胆振6市町小学生スポーツ交流会を開催する。 ・開催にあたり、会議へ参加し、予算の決定や決算の承認を行う。
【3次評価】	総合	

事務事業名 青少年会館運営管理経費

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	生涯にわたるスポーツ振興の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	4	施設整備の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	スポーツ施設の確保と充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 レクリエーション活動等の推進を通じて、青少年の健全な育成を図ることを目的とする。

前回評価 改善

概要

目標 (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)
 青少年の健全育成を推進する場としての活用のほか、市民のスポーツ振興の場の一つとして、安心・安全に利用できる場を提供する。

計画 (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)
 市内2箇所（中央・富岸）の青少年会館の運営管理を委託により行う。
 【運営管理業務委託先】
 公益社団法人登別市シルバー人材センター
 指定管理者制度の導入を含め、事業の見直しを検討する。

根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)
 登別市青少年会館設置条例、登別市青少年会館運営規則

対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)
 青少年会館利用者

事業費（財源内訳）

名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金	千円					
道支出金	千円					
地方債	千円					
その他	千円	965	1,038	852	849	813
一般財源	千円	10,118	9,231	9,762	9,685	9,905
合計		11,083	10,269	10,614	10,534	10,718

事務事業の成果・改善の状況

平成28年度

(実績を簡潔に記入してください)
 市内2箇所（中央・富岸）の青少年会館の運営管理を委託により行った。
 【運営管理業務委託先】
 公益社団法人登別市シルバー人材センター
 指定管理者制度の導入について施設の性質や財政効果額を検討した結果、指定管理者制度は導入しないこととした。

指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
青少年会館使用人数	人	54,238	48,619	49,465	45,315	48,000

課題等の状況

平成28年度

(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
 施設及び備品の老朽化に伴い、点検及び修繕を行う必要がある。

評価

【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
継続	施設の状況を適宜把握し、必要な修繕等を実施する。	目標 青少年の健全育成を推進する場としての活用のほか、市民のスポーツ振興の場の一つとして、安心・安全に利用できる施設環境を維持する。
【2次評価】	行政評価会議	計画 市内2箇所（中央・富岸）の青少年会館の運営管理を委託により行う。 施設の状況を適宜把握し、必要な修繕等を実施する。 【運営管理業務委託先】 公益社団法人登別市シルバー人材センター
継続	総合	
【3次評価】		

事務事業名 陸上競技場整備事業

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	生涯にわたるスポーツ振興の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	4	施設整備の推進	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	スポーツ施設の確保と充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 市営陸上競技場を安全・快適に使用できるよう整備することにより、市民のスポーツを行う環境を充実させ、スポーツの振興を図ることを目的とする。

前回評価 維持

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) スポーツの振興を図るため、市営陸上競技場を安全・快適に使用できるよう整備することにより、市民のスポーツを行う環境を充実させる。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・市営陸上競技場のフィールド及びトラックの敷均し、転圧等整備を委託する。 ・市営陸上競技場周辺の樹木伐採を実施する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市体育施設設置条例	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 陸上競技場利用者

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		710	708	741	732	799
	合計			710	708	741	732	799

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・市営陸上競技場のフィールド及びトラックの敷均し、転圧等整備を委託により行った。 【委託先】 NPO法人おにスポ ・市営陸上競技場敷地内の樹木の伐採を実施した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		陸上競技場利用者数	人	9,710	15,130	13,397	8,192	14,000

課題等の状況 平成28年度 (事務事業の実施における課題点等を記入してください)
・市営陸上競技場内の排水設備の改修が必要。

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	施設を安心・快適に使用するため、割れている側溝の整備や排水溝を清掃するなど引き続き整備を行っていく。	目標 スポーツの振興を図るため、市営陸上競技場を安全・快適に使用できるよう整備することにより、市民のスポーツを行う環境を充実させる。 計画 ・市営陸上競技場のフィールド及びトラックの敷均し、転圧等整備を委託。 ・排水溝の清掃。 ・割れていたり、段ずれしている側溝の整備。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 岡志別の森運動公園等運営管理経費

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	生涯にわたるスポーツ振興の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	4	施設整備の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	スポーツ施設の確保と充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	岡志別の森運動公園及び川上公園（Bゾーン）を活用することにより、市民の健康増進と余暇活動の充実を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市民の健康増進と余暇活動の充実を図る施設として、安心・安全に利用できる場を提供する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 指定管理者への委託により、岡志別の森運動公園及び川上公園（Bゾーン）の運営管理を行う。 パークゴルフ場の運営に必要な老朽化した芝刈機の更新を行う。 【指定管理者】北海道曹達（株）幌別事業所 【指定期間】平成28年度～平成32年度	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市都市公園条例、登別市有料公園施設管理規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 岡志別の森運動公園及び川上公園利用者

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		14,315	14,232	14,223	14,173	13,601
合計				14,315	14,232	14,223	14,173	13,601

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 指定管理者への委託により、岡志別の森運動公園及び川上公園（Bゾーン）の運営管理を実施した。また、老朽化した芝刈り機を更新したほか、パークゴルフ場公認コースの更新を行った。 【指定管理者】北海道曹達（株）幌別事業所 【指定期間】平成28年度～平成32年度						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		岡志別の森運動公園利用人数	人	29,608	30,574	31,361	27,809	30,000
	川上公園野球場利用人数	人	14,937	4,446	4,648	5,288	5,000	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 施設の老朽化に伴い、計画的な修繕を行う必要がある。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	施設の老朽化が進んでいることから、計画的な修繕について検討していく。	目標 指定管理者と共に、市民の健康増進と余暇活動の充実を図る施設として、安心・安全に利用できる施設環境を維持する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 指定管理者への委託により、岡志別の森運動公園及び川上公園（Bゾーン）の運営管理を実地する。計画的な修繕について引き続き検討する。 【指定管理者】北海道曹達（株）幌別事業所 【指定期間】平成28年度～平成32年度
【3次評価】	総合		

事務事業名 **登山道維持管理経費**

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	生涯にわたるスポーツ振興の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	4	施設整備の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	スポーツ施設の確保と充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	安心・安全な登山のため登山道を維持管理することにより、豊かな自然を利用した市民のスポーツ振興や健康増進を促進することを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	-----------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 登山道の整備を行い、利用者が安心・安全に登山できる場を維持する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 安心・安全な登山道の維持を図るため、登別山岳会などに委託し、登山道の笹刈りなどの整備を行う。 【実施登山道】 カムイヌプリ登山道（幌別ダムコース） 来馬岳登山道（カルルス・鉱山コース） カムイヌプリ登山道の鎖場の整備を実施する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) カムイヌプリ登山者及び来馬岳登山者

事業費 (財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
	道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源		千円	704	580	627	624	626
合計				704	580	627	624	626

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 安心・安全な登山道の維持を図るため、登別山岳会などに委託し、登山道の笹刈りなどの整備を行った。 【実施登山道】 カムイヌプリ登山道（幌別ダムコース） 来馬岳登山道（カルルス・鉱山コース） カムイヌプリ登山道の鎖場の整備を実施した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		登山道整備実施回数	回	3	3	3	5	3
		カムイヌプリ・来馬岳登山道利用者数	人	1,512	1,871	2,088	2,082	2,000

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
--------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	引き続き安心・安全な登山道の維持を図るため、登別山岳会などに委託し、登山道の笹刈りなどの整備を行う。	目標 登山道の整備を行い、利用者が安心・安全に登山を楽しめるようにする。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 安心・安全な登山道の維持を図るため、登別山岳会などに委託し、登山道の笹刈りなどの整備を行う。 【実施登山道】 カムイヌプリ登山道（幌別ダムコース） 来馬岳登山道（カルルス・鉱山コース）
【3次評価】	総合		

事務事業名 市民プール整備事業

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす	開始年度	平成 25 年度
施策	1	生涯にわたるスポーツ振興の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	4	施設整備の推進	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	スポーツ施設の確保と充実	大型事業推進プラン	登載事業

目的	市民プールの設備等を整備することにより、市民が安全・安心にプールを利用できるよう、施設環境の改善を図ることを目的とする。	前回評価
----	--	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 日常点検の結果や市民ニーズを把握し、施設の設備等の改修を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 日常点検や定期点検の結果などを踏まえ、設備等の大規模改修を実施する。 【改修箇所】 熱交換器プレート 【工事箇所】 機械室内ポンプ	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別市民プール

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円				2,200	2,200	4,700
その他		千円						
一般財源		千円				3,552	3,432	2,256
	合計			0	0	5,752	5,632	6,956

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 日常点検や定期点検の結果などを踏まえ、設備等の大規模改修を実施した。 【改修箇所】 熱交換器プレート 【工事箇所】 機械室内ポンプ						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		市民プール利用人数	人	116,087	118,028	118,687	119,868	120,000

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点を記入してください) 施設建設から10年以上経過し、経年劣化していることから、計画的な改修等について引き続き実施していく必要がある。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	必要な修繕箇所を把握し、計画的な改修等を実施する。	目標 日常点検の結果や市民ニーズを把握し、施設の設備等の改修を行う。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 日常点検や定期点検の結果などを踏まえ、設備等の大規模改修を実施する。 【改修箇所】 市民プール室内床、リラクゼーションプール寝浴ベッド
【3次評価】	総合		

事務事業名 岡志別の森運動公園等整備事業

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす	開始年度	平成 26 年度
施策	1	生涯にわたるスポーツ振興の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	4	施設整備の推進	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	スポーツ施設の確保と充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 岡志別の森運動公園及び川上公園（Bゾーン）の設備等について、利用者のニーズ、施設の老朽化等に対応した改修を行うことにより、利用者の安全・安心・快適な施設利用を図ることを目的とする。

前回評価

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市都市公園条例、登別市有料公園施設管理規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 岡志別の森運動公園及び川上公園（Bゾーン）

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円						
合計				0	0	0	0	

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 未実施						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		岡志別の森運動公園利用人数	人	29,608	30,574	31,361	27,809	30,000
	川上公園野球場利用人数	人	14,937	4,446	4,648	5,228	5,000	

Check
課題等の状況 平成28年度 (事務事業の実施における課題点等を記入してください)

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	休止	・施設の老朽化状況を把握し、大規模な修繕を伴う場合については、その必要性や優先順位を検討のうえ、事業を行う。	目標 施設の老朽化状況を把握し、施設機能の維持・向上を図る。 計画 施設の老朽化状況を把握する。 計画的な修繕について、検討する。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 総合体育館維持管理経費

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	会計種別	一般会計
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす	開始年度	平成27年度
施策	1	生涯にわたるスポーツ振興の推進	終了年度	平成—年度
基本的な方向	4	施設整備の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	スポーツ施設の確保と充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	総合体育館の維持管理等を行うことにより、生涯スポーツの振興と市民の健康増進を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 利用者が安心・快適に利用できるスポーツ環境の維持に努め、生涯スポーツの振興と市民の健康増進を支援する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・契約書に基づき、AEDを設置する。 ・防災資機材譲渡代金償還年次表に基づき、バスケットゴールの購入費用を償還する。 ・スポーツ振興くじ助成金を活用し、バスケットゴールを購入する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市総合体育館条例、登別市総合体育館条例施行規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 総合体育館利用者

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他	行政財産使用料、スポーツ振興くじ助成金※平成28年度のみ	千円	43	15	5,244	4,182	60
一般財源		千円	2,132	2,159	2,815	3,875	1,918
合計			2,175	2,174	8,059	8,057	1,978

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 施設に設置するAEDのリースや平成25年度に購入したバスケットゴール(1対)の費用の償還を行ったほか、スポーツ振興くじ助成金を用いてバスケットゴール1対を購入し、備品の更新を行った。 (AEDリース期間：平成30年度まで) (バスケットゴール償還期間：平成29年度まで)					
	指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	総合体育館利用者数	人	61,104	58,408	22,924	55,750	59,000

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・平成27年度に施設の大規模改修工事を実施したものの、設備や備品は更新されていないため、計画的な更新が必要である。
--------	--------	---

評価	今後の取組【Action】	今後の目標・計画【Plan】
【1次評価】	担当グループ	目標 利用者が安心・快適に利用できるスポーツ環境の維持に努め、生涯スポーツの振興と市民の健康増進を支援する。 計画 ・契約書に基づき、AEDを設置する。 ・スポーツ振興くじ助成金の活用に伴う実績報告を行う。 ・施設案内看板を設置する。 ・設備や備品の状態等について把握を行い、今後、必要に応じて更新を検討する。
継続	・設備や備品の状態等について把握を行い、今後、必要に応じて更新を検討する。	
【2次評価】	行政評価会議	
継続	総合	
【3次評価】		

事務事業名 学校体育施設開放事業

区分	No.	名称	部・グループ
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	教育委員会社会教育G
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす	会計種別 一般会計
施策	1	生涯にわたるスポーツ振興の推進	開始年度 昭和 54 年度
基本的な方向	4	施設整備の推進	終了年度 平成 ー 年度
主要な施策	2	スポーツ施設の有効活用	事業区分 ソフト事業
			大型事業推進プラン 非登載事業

目的	学校の体育施設を開放することにより、地域におけるスポーツ活動を促進し、市民の健康・体力づくりの増進を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市民の健康・体力づくりの増進を図るために必要なスポーツ活動の場を提供する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 市内小、中学校等の体育施設を市民に開放する。 また、すべての開放校にて、利用団体による自主管理を実施する。 【開放校】 (小学校) 青葉、登別、幌別、幌別東、幌別西、富岸、若草、鷺別、(中学校) 登別、(公共施設) のぼりべつ文化交流館 計10校	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市立学校体育施設開放事業の管理運営に関する規則、登別市立学校体育施設(屋内運動場) 開放事業実施要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 学校開放事業利用者

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他	学校開放事業利用団体実費負担金	千円		352	18	342	39	337
一般財源		千円						
	合計			352	18	342	39	337

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 市内小、中学校等の体育施設を市民に開放した。 また、すべての開放校にて、利用団体による自主管理を実施した。 【開放校】 (小学校) 青葉、登別、幌別、幌別東、幌別西、富岸、若草、鷺別、(中学校) 登別、(公共施設) のぼりべつ文化交流館 計10校						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		開放日数(年度延べ)	日	1,500	1,561	1,510	1,535	1,650
		利用者数(年度延べ)	人	24,296	25,414	24,370	23,195	26,000

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 平成26年度より実施している団体の自主管理により、運営の効率化が図られている。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	運営の効率化を図るため、団体の自主管理を引き続き行う。	目標 市民の健康・体力づくりの増進を図るために必要なスポーツ活動の場を提供する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 市内小、中学校等の体育施設を市民に開放する。 また、すべての開放校にて、利用団体による自主管理を実施する。 【開放校】 (小学校) 青葉、登別、幌別、幌別東、幌別西、富岸、若草、鷺別、(中学校) 登別、(公共施設) のぼりべつ文化交流館 計10校
【3次評価】	総合		